

令和6年度 Well-Beingアンケート調査結果

— 「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」のための地域幸福度調査—

本取組について

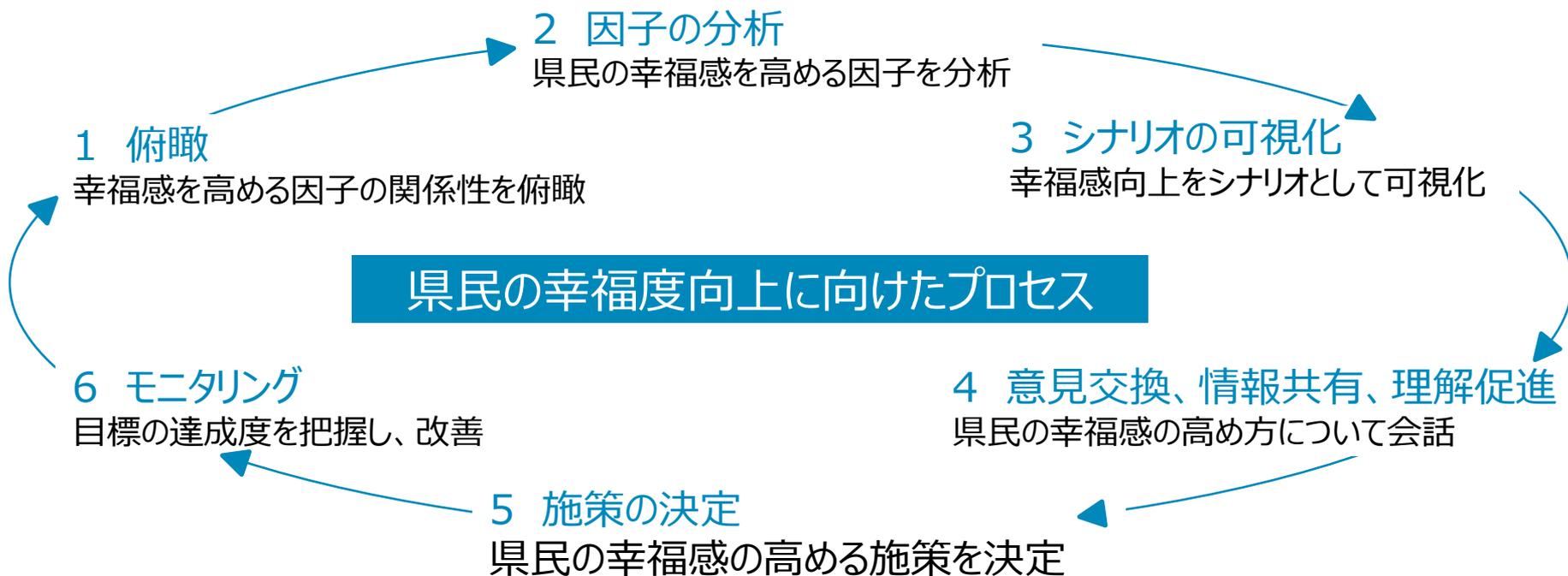
- 石川県成長戦略で目指す「**幸福度日本一に向けた石川の未来の創造**」に向け、地域の幸福度を測るため、『※地域幸福度（Well-Being）指標』を活用する。客観的に測定できるデータと県民の主観によるアンケートデータの両方を活用する。
- 取り組む施策は「手段」であり、Well-Being指標を活用し、**※アウトプット（活動）指標 及び そこから導かれるアウトカム（成果）指標から、施策の効果を測定する。**

デジタル化やデータ活用は手段であり、県民の幸福感（Well-being）の向上に向けた取り組み、地域づくりを始める。

※県民視点で「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化・可視化する指標
WHO等の国際的な基準と整合させた枠組みであり、データ(根拠)に基づいた政策立案・検証や、政策効果が乏しい歳出から政策効果の高い歳出への転換に活用する。

※アウトプット指標：活動の実行状況や成果の数量を測定する指標
アウトカム指標：活動の影響や地域の変化やもたらした効果を評価する指標
施策が意味のある結果をもたらしているかの判断する上で重要

幸福度日本一の石川県に向け、県民の意見とデータを活用して、県民の幸福度を高める因子を分析し、因子に関連する施策を整理、シナリオとして可視化することで、県民の幸福感（Well-being）の向上に向けた取組み、地域づくりを始める。

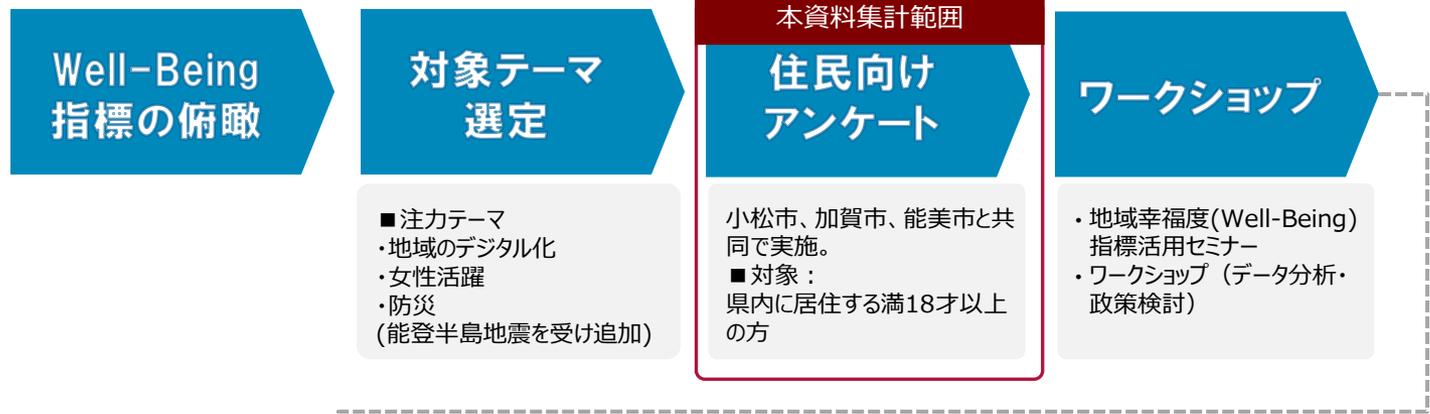


状況と実施方針

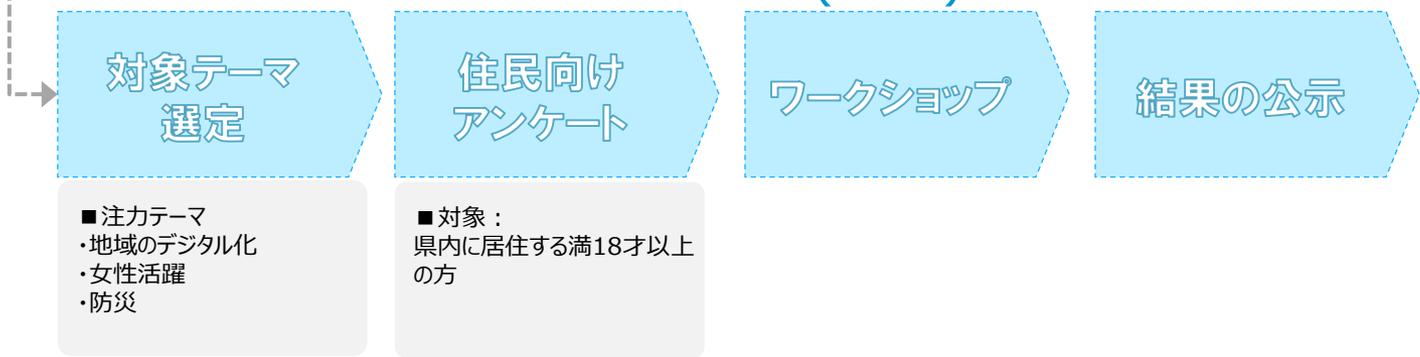
- 小松市、加賀市、能美市と連携して実施。
- 石川県はデジタル庁のLWCI活用の注力自治体に選定。

※LWCI：Liveable Well-Being City指標

令和6年度



令和7年度(予定)





LWCI 標準 項目 (51問)

・地域における幸福度・満足度

★：11段階での回答となります（無印は5段階）

No.	因子	設問	回答形式	回答
1	幸福度・満足度	現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。	★	とても幸せ=10～とても不幸=0
2	幸福度・満足度	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。	★	とても満足=10～とても不満足=0
3	幸福度・満足度	あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけお答えください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。	★	とても幸せ=10～とても不幸=0
4	幸福度・満足度	自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う		非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1
5	幸福度・満足度	今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。	★	とても幸せ=10～とても不幸=0

・生活環境 ・地域の人間関係・自分らしい生き方

独自 項目 (14問)

例：設問は別ページに記載

No	観点	設問	選択肢	選択方法	背景と狙い
1	女性活躍 (男女の家事・育児・介護負担)	家庭での男女の家事／育児／介護負担は平等になっていると思いますか。	1. 男性の方が負担が少ないように感じる 2. どちらかといえば男性の方が負担が少ないように感じる 3. 平等と感じる 4. どちらかといえば女性の方が負担が少ないように感じる 5. 女性の方が負担が少ないように感じる	単数	回答者の基本属性の把握と、施策に落とす際の参考とするため
2	社会のデジタル化	デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。	1. 怖いからとても否定的 2. 怖いから否定的 3. 面倒くさいからとても否定的 4. 面倒くさいから否定的 5. どちらでもない 6. 肯定的 7. とても肯定的	単数	
3	防災対策	あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）	1. 個人や地域で行うべき防災対策（防災訓練や講習会など） 2. 地震や津波などの災害に備えた建物や住宅の耐震性に関する情報 3. 避難所の場所や設備に関する情報 4. 避難所や避難経路のバリアフリー化に関する情報 5. 災害時のペットや家畜の避難や保護に関する情報 6. 雨水の利用や節水に関する情報（水害対策） 7. 災害時の心のケアやストレス対策に関する情報 8. 災害ボランティアについて 9. 災害支援制度、法制度 10. 避難所生活で気を付けること 11. 避難所運営のポイント 12. 災害時の情報収集方法（LINE, X, ホームページなどの手段） 13. その他（自由記載）	複数	

結果概要

令和6年度のWell-Being指標



令和6年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法	成果物																												
<p>■ アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間：令和6年度8月13日～9月12日 対象者：県内に居住する満18才以上の方 実施方法：WEBアンケート (設問数 LWCI標準51問+独自設問14問) 	<p>カテゴリ別</p>																												
<p>調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果</p>	<p>【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査</p>																												
<ul style="list-style-type: none"> 全体：昨年度に続き文化・芸術、健康状態の主観指標が高い一方で、移動・交通、雇用・所得の主観が客観指標よりも低い傾向にある。 注力指標（女性活躍・デジタル化・防災）： 女性活躍については昨年度に引き続き男女の家事・育児・介護に対する認識差異が大きく、環境整備だけではなく全世代の意識改革も含めて改善が必要ながかった。デジタル化は昨年度と同様に肯定派の割合が多いものの、否定派が増加。また、年代により求められるデジタルサービスにおいても違いがみられた。防災については県民が取り組みたいと考える対策、取得したい防災関連情報が明らかとなった。 客観>主観 因子： ギャップが大きい移動・交通、雇用・所得因子は特に居住エリアによる差異が大きいことが明確になった。住みやすさにつながる指標であるため、今後も注視および深掘りを検討する。 	<p>主観指標と客観指標の上位・下位3因子、および主観客観ギャップの上位3因子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>主観上位</th> <th>主観下位</th> <th>客観上位</th> <th>客観下位</th> <th>客観 > 主観</th> <th>主観 > 客観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文化・芸術</td> <td>移動・交通</td> <td>健康状態</td> <td>環境共生</td> <td>移動・交通</td> <td>文化・芸術</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>健康状態</td> <td>遊び・娯楽</td> <td>移動・交通</td> <td>都市景観</td> <td>雇用・所得</td> <td>地域とのつながり</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>自己効力感</td> <td>買物・飲食</td> <td>地域行政</td> <td>地域とのつながり</td> <td>遊び・娯楽</td> <td>環境共生</td> </tr> </tbody> </table> <p>※客観指標は2024年12月公開のデータ</p>	No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観	1	文化・芸術	移動・交通	健康状態	環境共生	移動・交通	文化・芸術	2	健康状態	遊び・娯楽	移動・交通	都市景観	雇用・所得	地域とのつながり	3	自己効力感	買物・飲食	地域行政	地域とのつながり	遊び・娯楽	環境共生
No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観																							
1	文化・芸術	移動・交通	健康状態	環境共生	移動・交通	文化・芸術																							
2	健康状態	遊び・娯楽	移動・交通	都市景観	雇用・所得	地域とのつながり																							
3	自己効力感	買物・飲食	地域行政	地域とのつながり	遊び・娯楽	環境共生																							

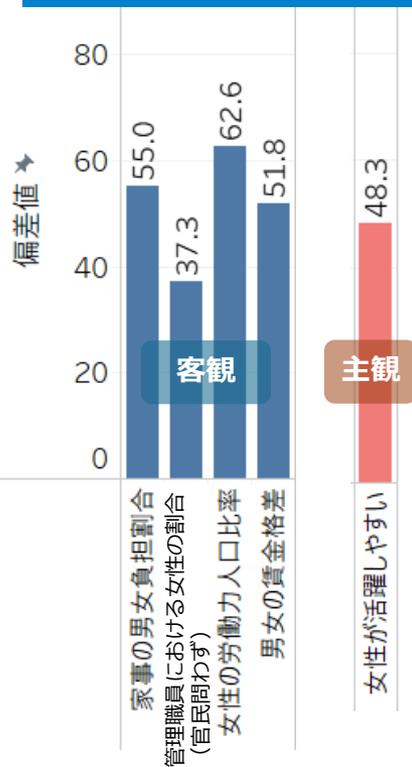
令和5年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法	成果物																												
<p>■ アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間：令和5年度12月14日～1月8日 対象者： <ul style="list-style-type: none"> 石川県 県政モニター / 公式Line登録者 加賀市 公式Line登録者 実施方法：WEBアンケート <ul style="list-style-type: none"> (設問数 LWCI標準51問 + 独自設問15問) 	<p>主観指標と客観指標のギャップの大きな上位3項目</p>																												
<p>調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>主観上位</th> <th>主観下位</th> <th>客観上位</th> <th>客観下位</th> <th>客観 > 主観</th> <th>主観 > 客観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文化・芸術</td> <td>移動・交通</td> <td>事故・犯罪</td> <td>都市景観</td> <td>移動・交通</td> <td>文化・芸術</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>健康状態</td> <td>雇用・所得</td> <td>健康状態</td> <td>環境共生</td> <td>雇用・所得</td> <td>自然景観</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>地域とのつながり</td> <td>遊び・娯楽</td> <td>地域行政</td> <td>自然景観</td> <td>遊び・娯楽</td> <td>健康状態</td> </tr> </tbody> </table>	No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観	1	文化・芸術	移動・交通	事故・犯罪	都市景観	移動・交通	文化・芸術	2	健康状態	雇用・所得	健康状態	環境共生	雇用・所得	自然景観	3	地域とのつながり	遊び・娯楽	地域行政	自然景観	遊び・娯楽	健康状態
No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観																							
1	文化・芸術	移動・交通	事故・犯罪	都市景観	移動・交通	文化・芸術																							
2	健康状態	雇用・所得	健康状態	環境共生	雇用・所得	自然景観																							
3	地域とのつながり	遊び・娯楽	地域行政	自然景観	遊び・娯楽	健康状態																							

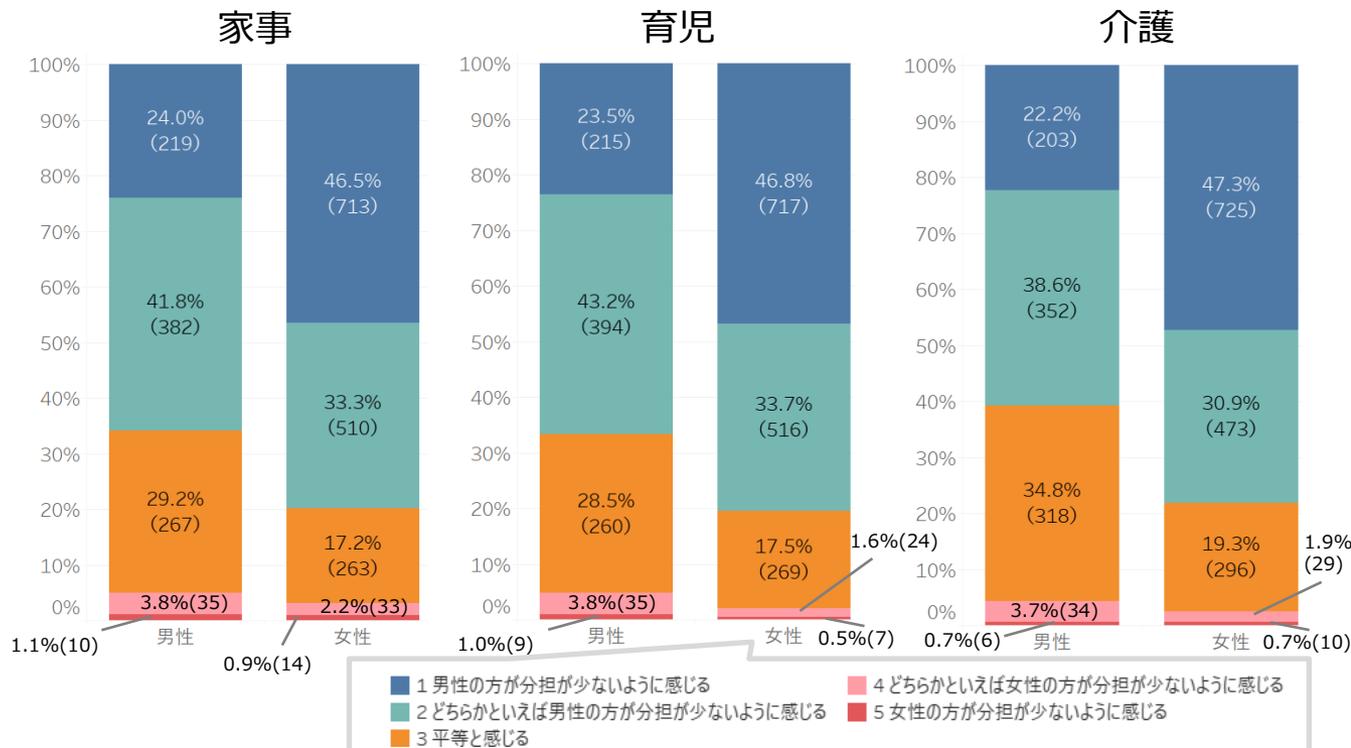


● 分析ツール等を活用した結果（女性活躍）

LWCI関連指標



家庭での男女の家事・育児・介護分担は平等か(独自設問)



上記結果に対する分析・コメント

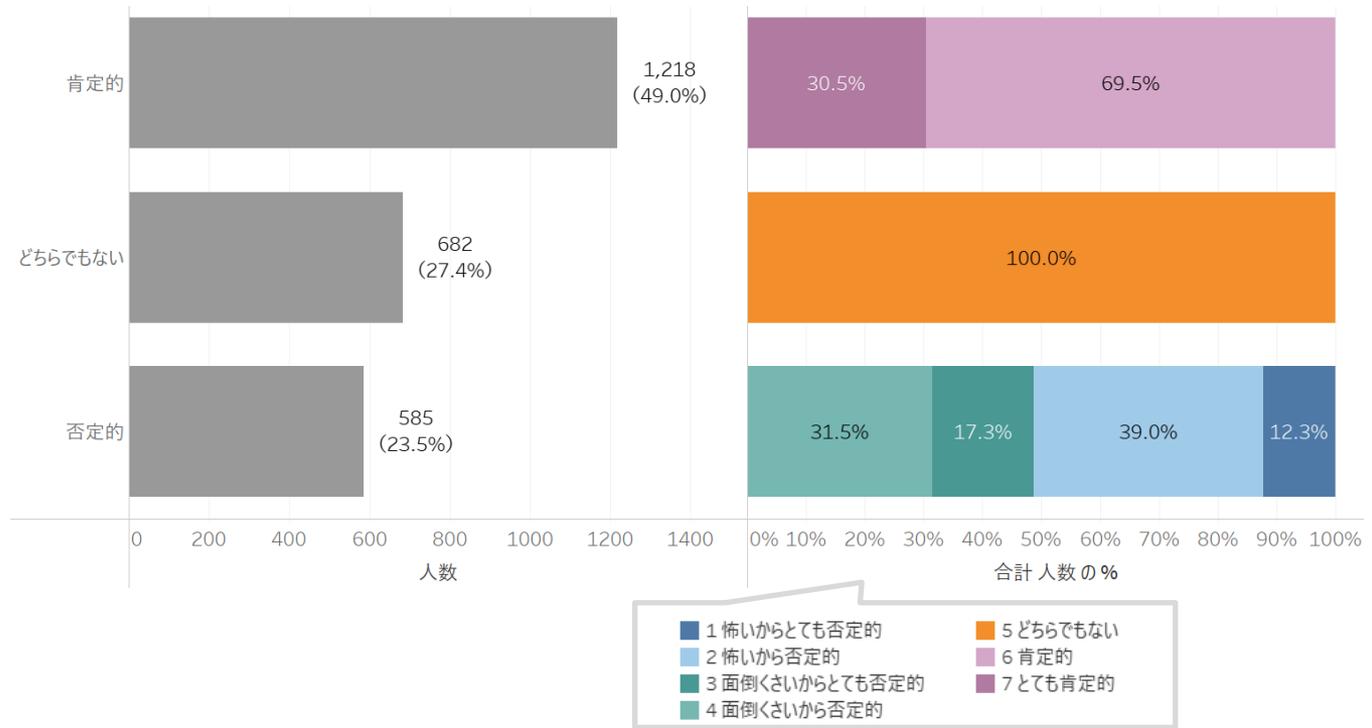
- 家庭での男女の家事・育児・家事分担は平等かどうかについて、男女間で「平等と感じる」割合には差があり、いずれも「男性の方が負担が少ない」と感じている女性の割合が多い。
- 家事、育児、介護間での違いは少なく、男女ともに同様の傾向である。
- 調査全体を通して、男性が家事・育児に積極的に参加するために、夫婦間での話し合いと、職場環境の整備がより必要と考える人が多いことも分かった。さらに、作られた制度を利用しやすい職場環境の実現のためには、全世代の意識改革を同時に促していく必要性が見えてきた。

● 分析ツール等を活用した結果（デジタル化）

LWCI指標(デジタル生活)



デジタル化に対する意向とその理由(独自設問)



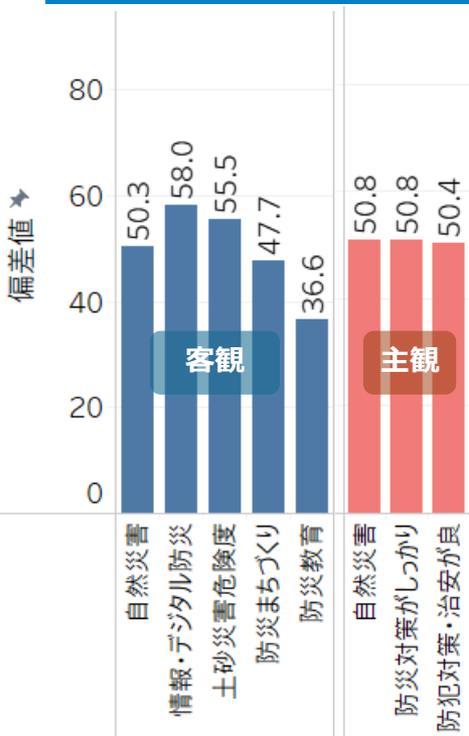
上記結果に対する分析・コメント

- デジタル化に「肯定的」「とても肯定的」を合わせた、肯定派の人は全体の49%であり、デジタル化についておよそ半数の人が前向きに捉えていると言える。
- 否定的な人の理由は「怖いから」と「面倒くさいから」が半々に近い。特に「面倒くさいから」を理由とする人たちに対しては、デジタルサービス利用にあたっての煩雑さを減らす工夫等で否定的なイメージを減らすことができる可能性がある。

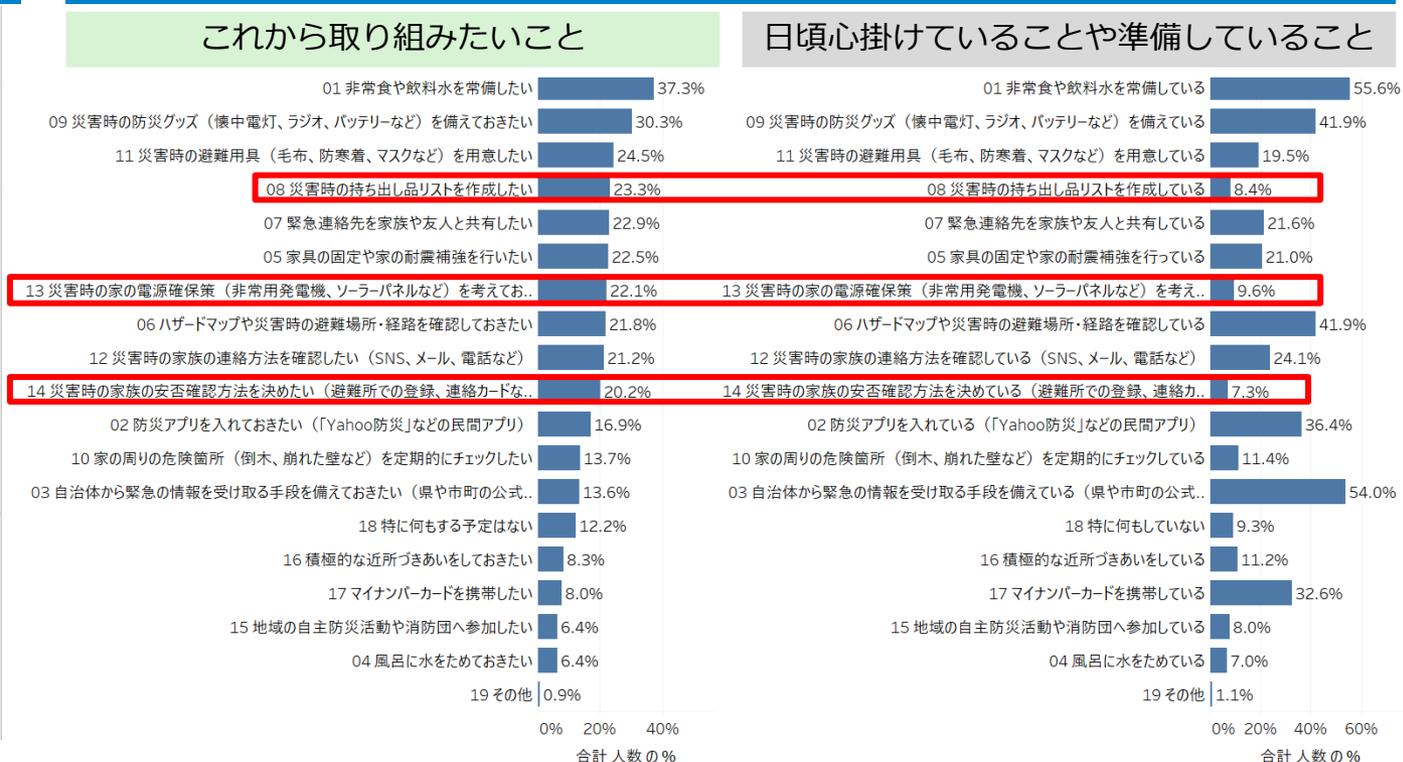


● 分析ツール等を活用した結果（防災）

LWCI指標(デジタル生活)



災害に向けて準備していることとこれから取り組みたいこと (独自設問)



上記結果に対する分析・コメント

- 日頃準備していることとして多くの人が選んだものは「非常食や飲料水の常備」「自治体からの緊急の情報を受け取る手段の備え」である。
- 取り組みたいと思っているが準備している人の割合が低いものは、「災害時の持ち出し品リストの作成」「災害時の家の電源確保策を考えておく」「災害時の安否確認方法を定める」である。

アンケート設問

アンケート設問（基本属性、LWCI設問）



属性設問

1	性別をご回答ください	男性,女性,回答しない
2	年代をご回答ください	10代,20代,30代,40代,50代,60代,70代,80代,90代以上
3	お住まいの地域をご回答ください	県：1.金沢市,2.七尾市,3.小松市,4.輪島市,5.珠洲市,6.加賀市,7.羽咋市,8.かほく市,9.白山市,10.能美市,11.野々市市,12.川北町,13.津幡町,14.内灘町,15.志賀町,16.宝達志水町,17.中能登町,18.穴水町,19.能登町 加賀市：大聖寺,山代,別所,庄,勅使,東谷口,片山津,作見,金明,湖北,勸橋,分校,橋立,三木,三谷,南郷,塩屋,山中温泉,河南,西谷,東谷
4	職業をご回答ください	会社員,公務員,自営業/個人事業,会社役員,自由業,専業主婦・主夫,学生,アルバイト/パート,無職,その他
5	業種をご回答ください	農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）、その他

LWCI設問（非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1）

地域における幸福度・満足度（1因子、5問）

因子	設問
1 幸福度・満足度	現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。
2 幸福度・満足度	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。
3 幸福度・満足度	あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけお答えください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。
4 幸福度・満足度	自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う。
5 幸福度・満足度	今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

生活環境（16因子、27問）

因子	設問
6 医療・福祉	暮らしている地域は、医療機関が充実している
7 医療・福祉	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい
8 買物・飲食	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない
9 買物・飲食	私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している
10 住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある
11 住宅環境	【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている
12 住宅環境	私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる
13 移動・交通	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる
14 遊び・娯楽	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある
15 子育て	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い
16 子育て	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる
17 初等・中等教育	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている
18 初等・中等教育	私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある
19 地域行政	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う
20 地域行政	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である
21 デジタル生活	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる
22 デジタル生活	私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい
23 公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
24 公共空間	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある
25 都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある
26 自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある
27 自然の恵み	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる
28 自然の恵み	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる
29 環境共生	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである
30 自然災害	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている
31 事故・犯罪	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
32 事故・犯罪	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である

地域の間人間関係（2因子、10問）

因子	設問
33 地域とのつながり	私は、同じ町内（集落）に住む人々を信頼している
34 地域とのつながり	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
35 地域とのつながり	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる
36 地域とのつながり	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする
37 地域とのつながり	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている
38 多様性と寛容性	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
39 多様性と寛容性	私は、見知らぬ他者であっても信頼する
40 多様性と寛容性	私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
41 多様性と寛容性	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある
42 多様性と寛容性	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある

自分らしい生き方（6因子、9問）

因子	設問
43 自己効力感	自分のことを好ましく感じる
44 健康状態	私は、身体的に健康な状態である
45 健康状態	私は、精神的に健康な状態である
46 文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
47 文化・芸術	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
48 教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある
49 雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい
50 雇用・所得	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある
51 事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

アンケート設問（男女の家事・育児・介護分担）



独自設問：男女の家事・育児・介護分担に関する設問

52	家庭での男女の家事分担は平等になっていると思いますか
選択肢	男性の方が負担が少ないように感じる
	どちらかといえば男性の方が負担が少ないように感じる
	平等と感じる
	どちらかといえば女性の方が負担が少ないように感じる
	女性の方が負担が少ないように感じる
53	家庭での男女の育児分担は平等になっていると思いますか
選択肢	男性の方が負担が少ないように感じる
	どちらかといえば男性の方が負担が少ないように感じる
	平等と感じる
	どちらかといえば女性の方が負担が少ないように感じる
	女性の方が負担が少ないように感じる
54	家庭での男女の介護分担は平等になっていると思いますか
選択肢	男性の方が負担が少ないように感じる
	どちらかといえば男性の方が負担が少ないように感じる
	平等と感じる
	どちらかといえば女性の方が負担が少ないように感じる
	女性の方が負担が少ないように感じる
55	男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）
選択肢	男性が家事・育児・介護などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
	男性が家事・育児・介護などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
	夫婦や家族間で家事・育児・介護などの分担について、十分に話し合うこと
	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
	男性が家事・育児・介護などを行うことについて、社会的に高く評価すること
	育児・介護のための休暇を取得しやすい職場環境が整備されること
	労働時間の短縮や休暇制度により、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
	在宅勤務やフレックスタイム制度により、柔軟な働き方が可能となること
	男性の家事・育児・介護などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
	男性が家事・育児・介護などを行うための、仲間（ネットワーク）づくりをすすめること
	その他（自由記載）
	特に必要なことはない

アンケート設問（社会のデジタル化）



独自設問：社会のデジタル化に関する設問

56	デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください
選択肢	怖いからとても否定的
	怖いから否定的
	面倒くさいからとても否定的
	面倒くさいから否定的
	どちらでもない
	肯定的
	とても肯定的
57	設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	セキュリティ（パスワード流出による不正利用等）が不安だから
	スマートフォン、パソコン等が故障した時に利用できなくなるから
	システム障害や大規模な通信障害が起こった時に利用できなくなるから
	デジタル化することのデメリット面まで政府や自治体は正確に説明してくれないから
	その他（自由記載）
58	設問56について「めんどくさいから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	使える場面や機会が少ないから
	IDやパスワードが管理しにくいから
	複数のデジタルサービスが存在していて煩雑だから
	アプリ等をインストールするのが手間だから
	使いづらいから
	やり方がわからないから
	スマートフォン、パソコン等を持っていないから
	デジタルに苦手意識を持っているから
	対面や電話の方が便利だから
	周囲の人（高齢の家族等）が使えない可能性があるから
その他（自由記載）	

59	設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	現状に不便を感じていないから
	メリットデメリットの両方を感じるから
	その他（自由記載）
60	あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）
選択肢	行政サービス（オンライン申請、リモートでの窓口対応、コンビニ交付（複合機での証明書発行）など）
	住民サービス（電子閲覧板、住民向けポータルアプリ、公共施設のオンライン予約など）
	教育（AIドリル等の個別最適化学習、オンライン授業など）
	文化・スポーツ（電子図書館（電子書籍の貸出）、デジタルミュージアムなど）
	医療・福祉（健康管理アプリ、オンライン診療など）
	子育て（母子健康手帳アプリ、保護者連絡システム、通学路アプリなど）
	交通・物流（オンデマンド交通システム、ドローンやロボットを活用した物流配送など）
	農林水産（環境モニタリングシステム、鳥獣捕獲確認・通知システムなど）
	防災・インフラメンテナンス（道路修理・補修伝達（住民投稿）システム、除雪状況の見える化など）
	産業振興（地域通貨、地域ポイント、地域クーポンなど）
観光（VRコンテンツ、観光周遊ポータル・アプリなど）	
防犯（防犯ポータル・アプリ、カメラ・タグ等を活用した見守りサービスなど）	
その他（自由記載）	

アンケート設問（防災対策）



独自設問：防災対策に関する設問

選択肢	61	災害に向けて日頃心掛けていることや準備していることを教えてください（当てはまるものを全て選択）
		非常食や飲料水を常備している
		防災アプリを入れている（「Yahoo防災」などの民間アプリ）
		自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている（県や市町の公式LINEなど）
		風呂に水をためている
		家具の固定や家の耐震補強を行っている
		ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認している
		緊急連絡先を家族や友人と共有している
		災害時の持ち出し品リストを作成している
		災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えている
		家の周りの危険箇所（倒木、崩れた壁など）を定期的にチェックしている
		災害時の避難用具（毛布、防寒着、マスクなど）を用意している
		災害時の家族の連絡方法を確認している（SNS、メール、電話など）
		災害時の家の電源確保策（非常用発電機、ソーラーパネルなど）を考えている
		災害時の家族の安否確認方法を決めている（避難所での登録、連絡カードなど）
		地域の自主防災活動や消防団へ参加している
		積極的な近所づきあいをしている
	マイナンバーカードを携帯している	
	特に何もしていない	
	その他（自由記載）	
選択肢	62	これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）
		非常食や飲料水を常備したい
		防災アプリを入れておきたい（「Yahoo防災」などの民間アプリ）
		自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えておきたい（県や市町の公式LINEなど）
		風呂に水をためておきたい
		家具の固定や家の耐震補強を行いたい
		ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認しておきたい
		緊急連絡先を家族や友人と共有したい
		災害時の持ち出し品リストを作成したい
		災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えておきたい
		家の周りの危険箇所（倒木、崩れた壁など）を定期的にチェックしたい
		災害時の避難用具（毛布、防寒着、マスクなど）を用意したい
		災害時の家族の連絡方法を確認したい（SNS、メール、電話など）
		災害時の家の電源確保策（非常用発電機、ソーラーパネルなど）を考えておきたい
		災害時の家族の安否確認方法を決めたい（避難所での登録、連絡カードなど）
		地域の自主防災活動や消防団へ参加したい
		積極的な近所づきあいをしておきたい
	マイナンバーカードを携帯したい	
	特に何もする予定はない	
	その他（自由記載）	

選択肢	63	あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）	
		個人や地域で行うべき防災対策（防災訓練や講習会など）	
		地震や津波などの災害に備えた建物や住宅の耐震性に関する情報	
		避難所の場所や設備に関する情報	
		避難所や避難経路のバリアフリー化に関する情報	
		災害時のペットや家畜の避難や保護に関する情報	
		雨水の利用や節水に関する情報（水害対策）	
		災害時の心のケアやストレス対策に関する情報	
		災害ボランティアについて	
		災害支援制度、法制度	
		避難所生活で気を付けること	
		避難所運営のポイント	
		災害時の情報収集方法（LINE, X, ホームページなどの手段）	
		その他（自由記載）	
	選択肢	64	あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）
			自分の暮らす地域は災害に強い地域だ
			自治体の防災・減災への取組みに安心感がある
		災害が起きても自分の地域は協力し合えると思う	
		自分は物資や食料の備蓄ができています	
		自分は災害時に必要な情報を受け取ることができる	
		発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供してもよい	
		どれもあてはまらない	
選択肢		65	地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）
			防災教育の充実化
			避難所や避難経路の整備
			防災訓練や演習の実施
			平時からの県・市町・自治会・世帯・個人間の情報連携・共有の検討
			防災情報の迅速な伝達体制の確立
			地域住民の協力体制の構築（自治会・町内会などでの自主防災）
			防災施設や設備の充実化
			地域の特性やリスクの分析と対策の立案
		防災関連法律や規制の見直し	
		情報通信技術の活用	
		予算や資金の適切な配分	
		その他（自由記載）	

- 本アンケート実施後、以下の観点による分析を行った。

1 石川県民の幸福感（Well-being）の状況を把握

LWCI設問の結果集計および可視化

2 注指標（女性活躍・デジタル化・防災）に関する県民の声把握

独自設問の結果から、県民のリアルな思いを収集および分析し、施策検討のための示唆を得る

3 幸福感（Well-being）の昨年度比較

LWCI設問の昨年度と今年度結果を比較し、県民の幸福感（Well-being）の変化を見る

4 幸福感（Well-being）の主観・客観のギャップが大きい因子の把握

Well-Being指標において「客観>主観」のギャップが大きい因子を特定し、該当因子の特徴を様々な視点から分析・把握する

4-1 移動・交通因子の分析

移動・交通因子のLWCI設問結果分析

4-2 雇用・所得因子の分析

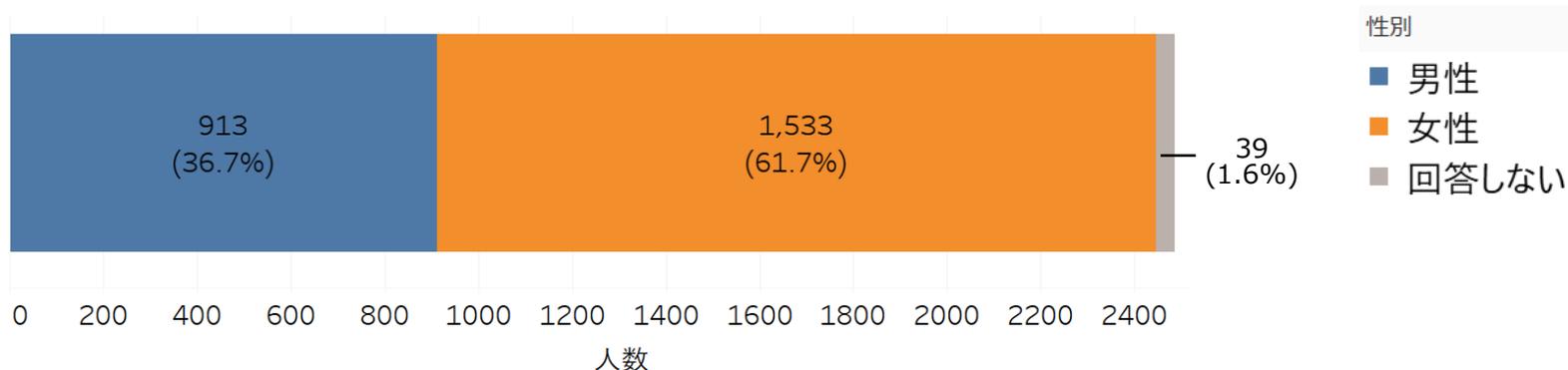
雇用・所得因子のLWCI設問結果分析

1. 石川県民の幸福感（Well-being）の状況を把握

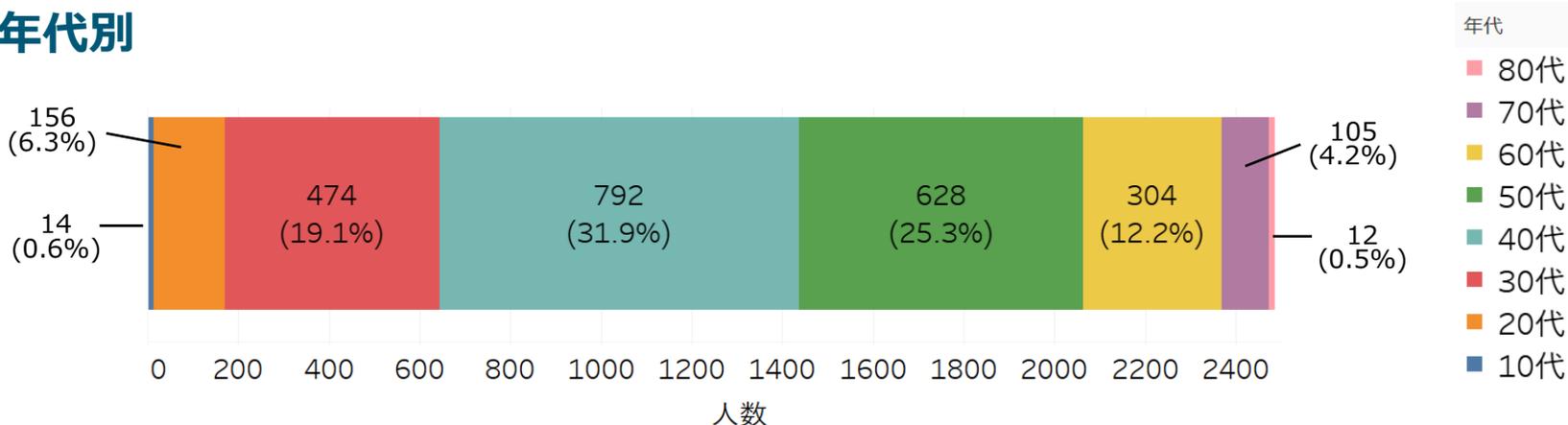
アンケート回答者の基本属性

【回答者】 全体2485人（うち一般2030人、県政モニター455人）

性別



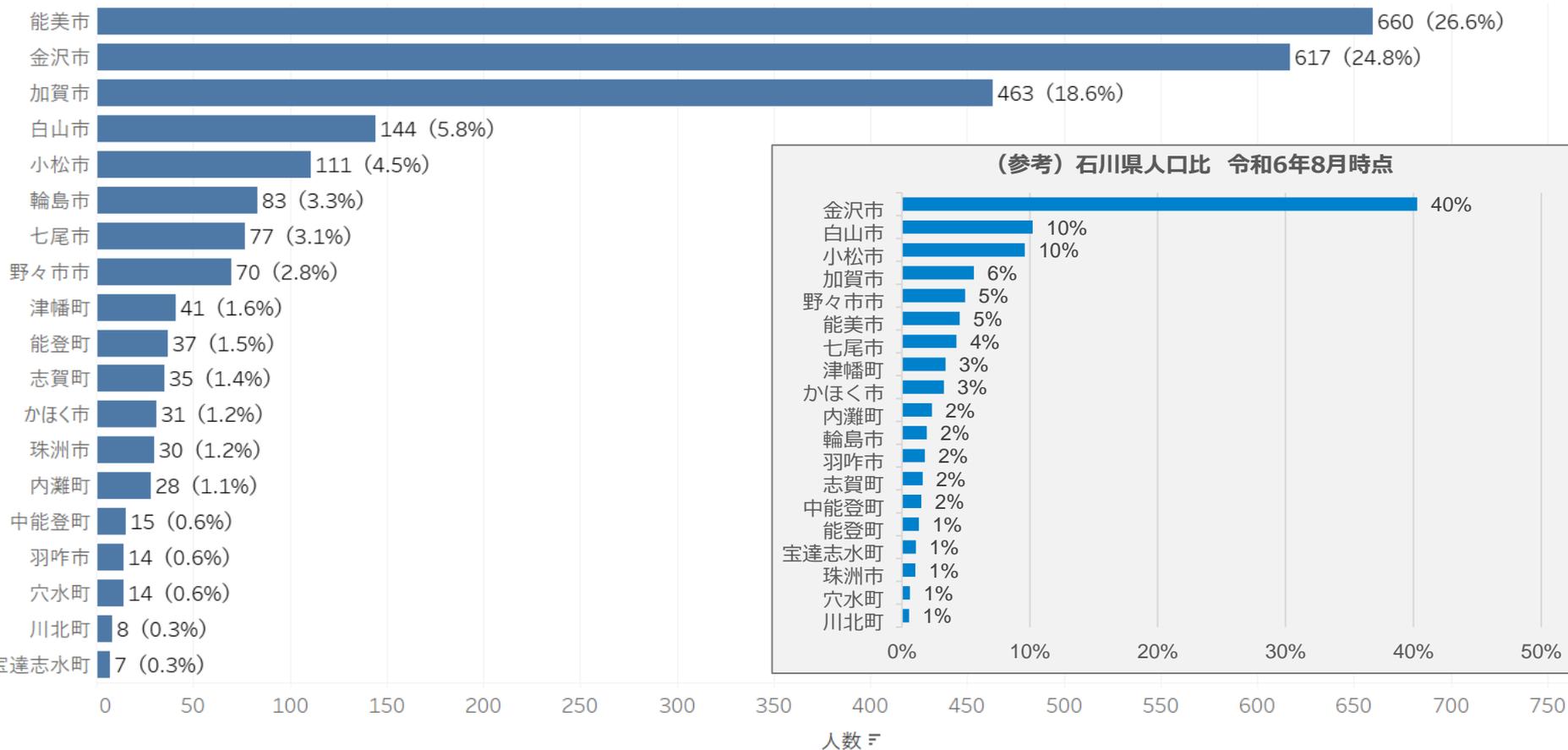
年代別



アンケート回答者の基本属性



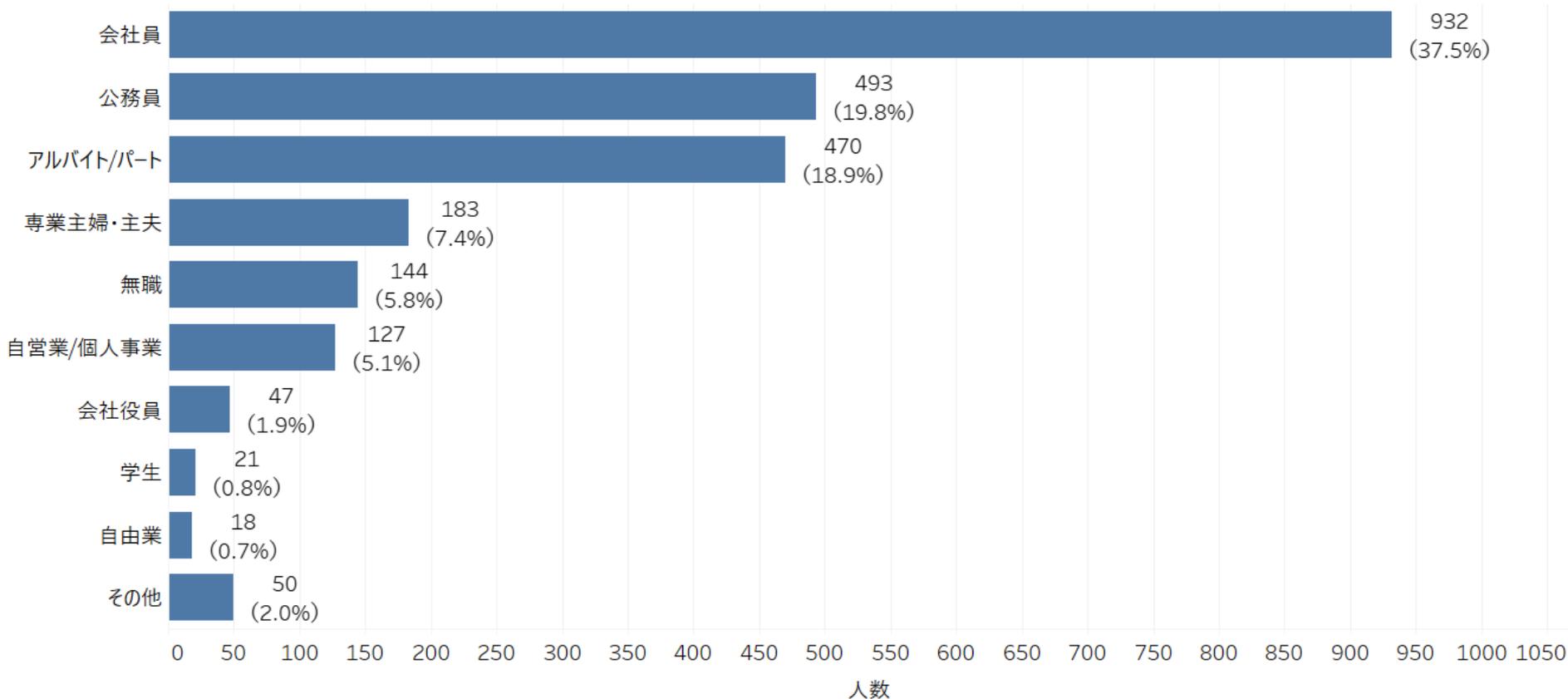
お住いの地域



アンケート回答者の基本属性



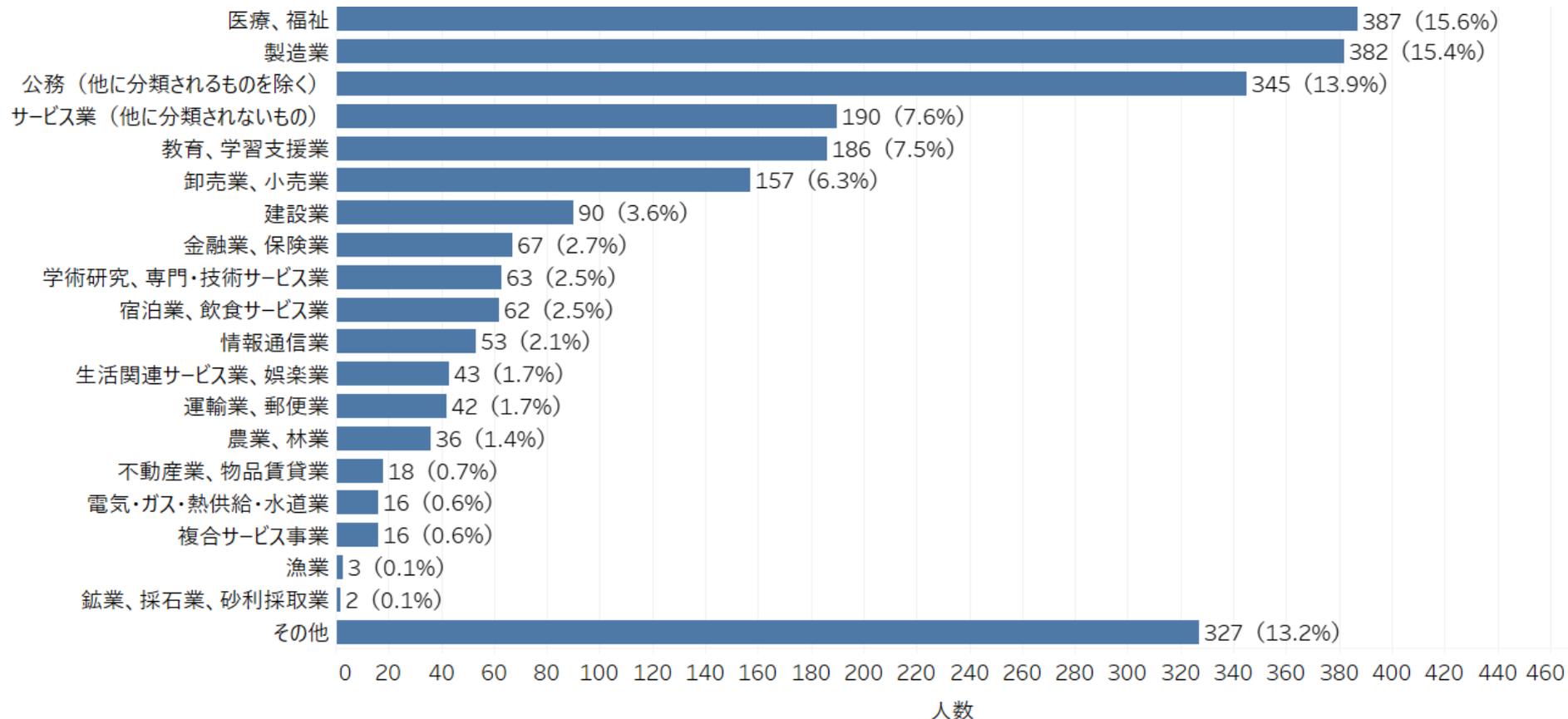
職業



アンケート回答者の基本属性



業種



1. 現在、あなたはどの程度幸せですか。

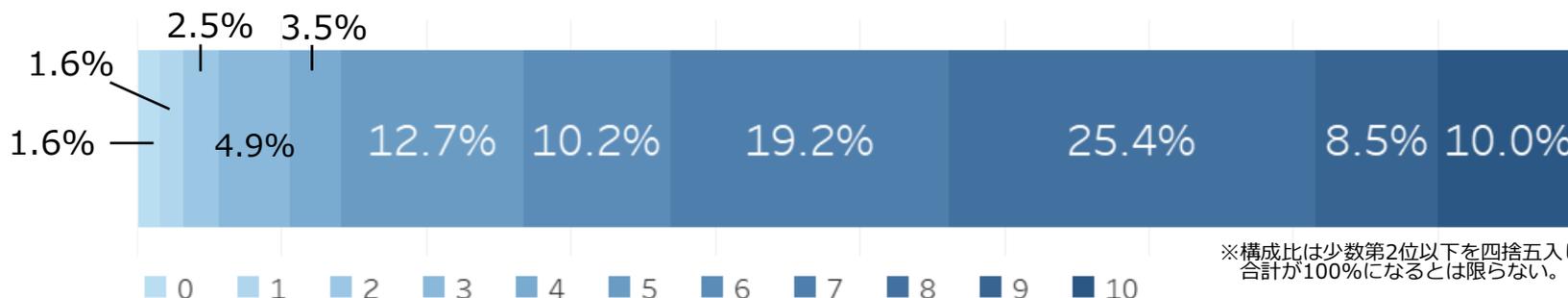
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

全体では「8点」が最も多く25.4%、次いで「7点」が19.2%

平均値



回答全体



※構成比は少数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%になるとは限らない。以降のグラフも同様。

回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	39	40	61	122	88	315	253	478	631	210	248

2. 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

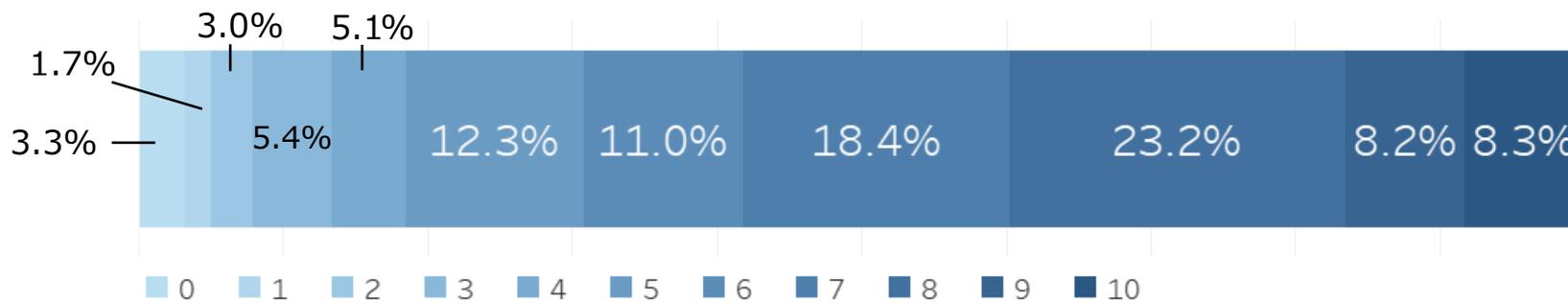
「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになるとお思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

全体では「8点」が最も多く23.2%、次いで「7点」が18.4%

平均値



回答全体



回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	81	43	74	135	127	306	274	458	577	204	206

幸福度・満足度

3. あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。

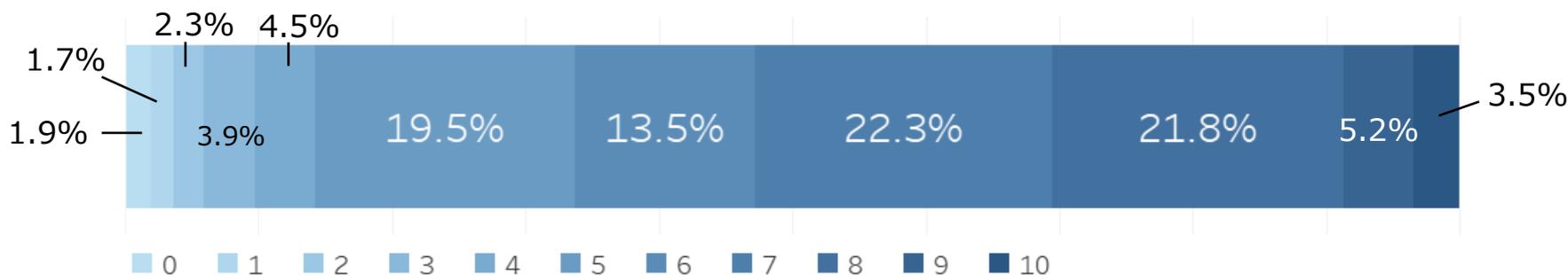
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、いずれかの数字を1つだけお答えください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。

全体では「7点」が最も多く22.3%、次いで「8点」が21.8%

平均値



回答全体



回答	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
回答数	48	42	56	96	111	484	335	554	542	130	87

4. 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思う

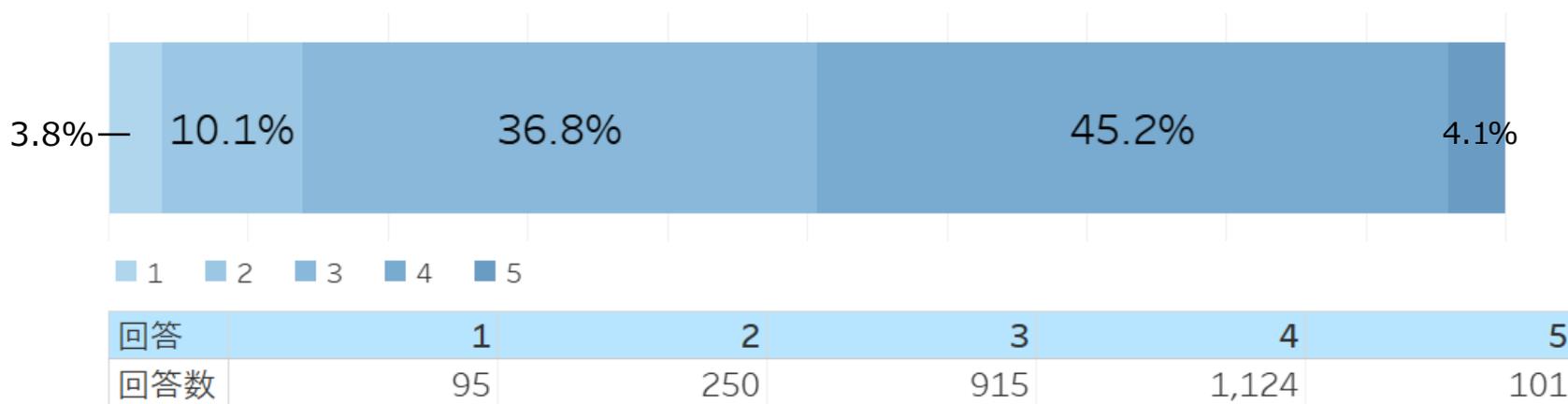
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く45.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が36.8%

平均値



回答全体



5. 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

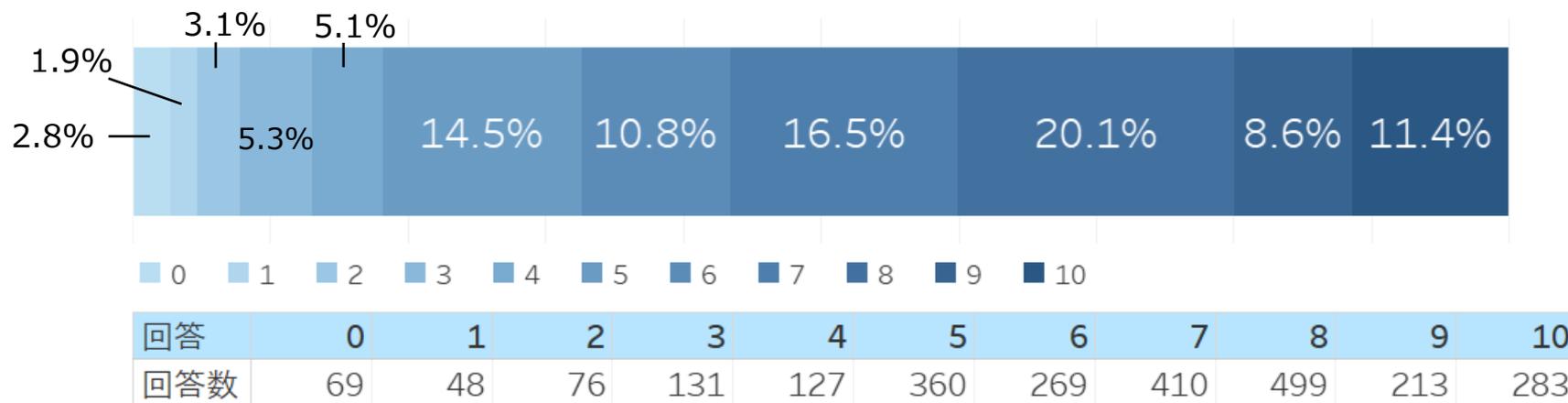
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。いずれかの数字を1つだけお答えください。

- ・全体では「8点」が最も多く20.1%、次いで「7点」が16.5%
- ・女性は男性に比べて平均が0.3高く、今から5年後が幸せだと考えている人が多い傾向

平均値



回答全体



6. 暮らしている地域は、医療機関が充実している

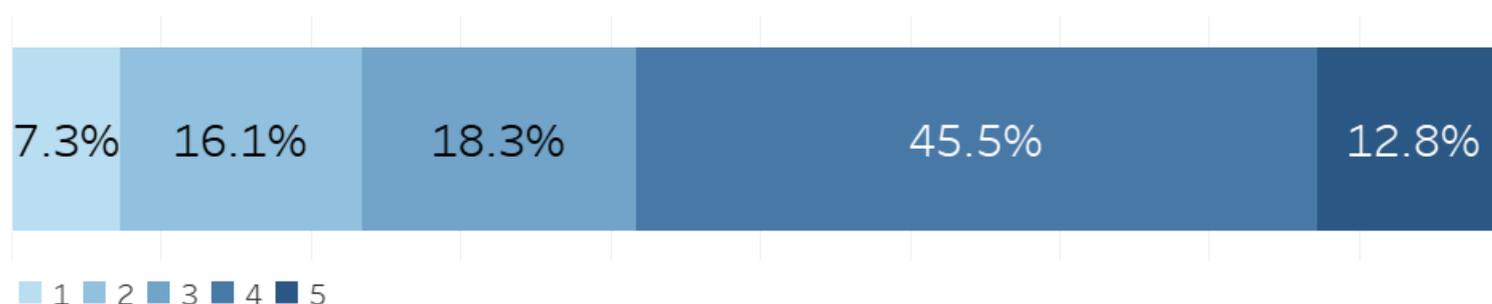
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く45.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が18.3%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	182	400	455	1,130	318

7. 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい

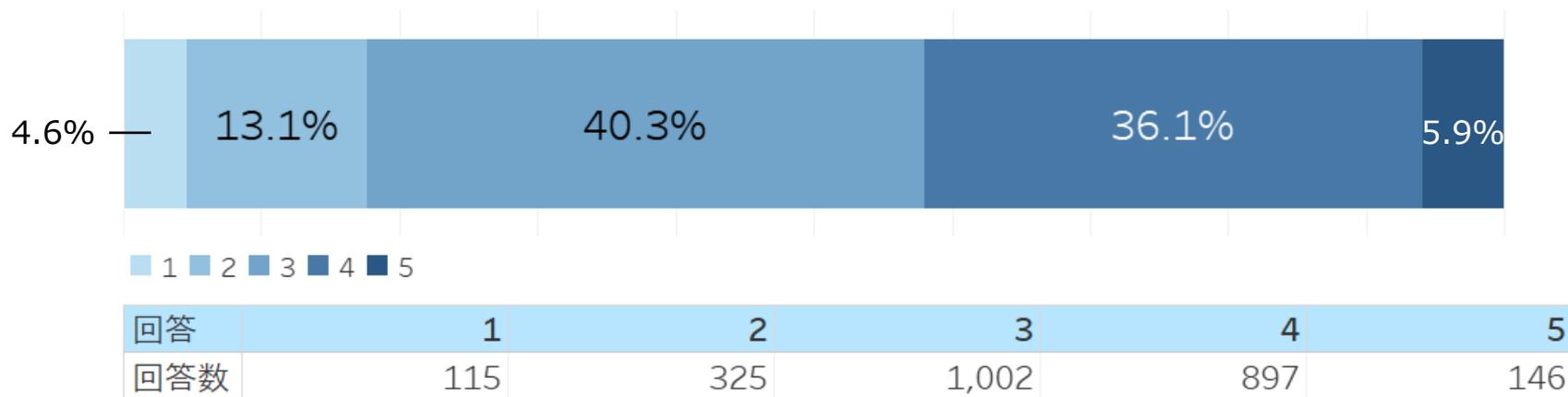
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く40.3%、次いで「ある程度あてはまる=4」が36.1%

平均値



回答全体



8. 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない

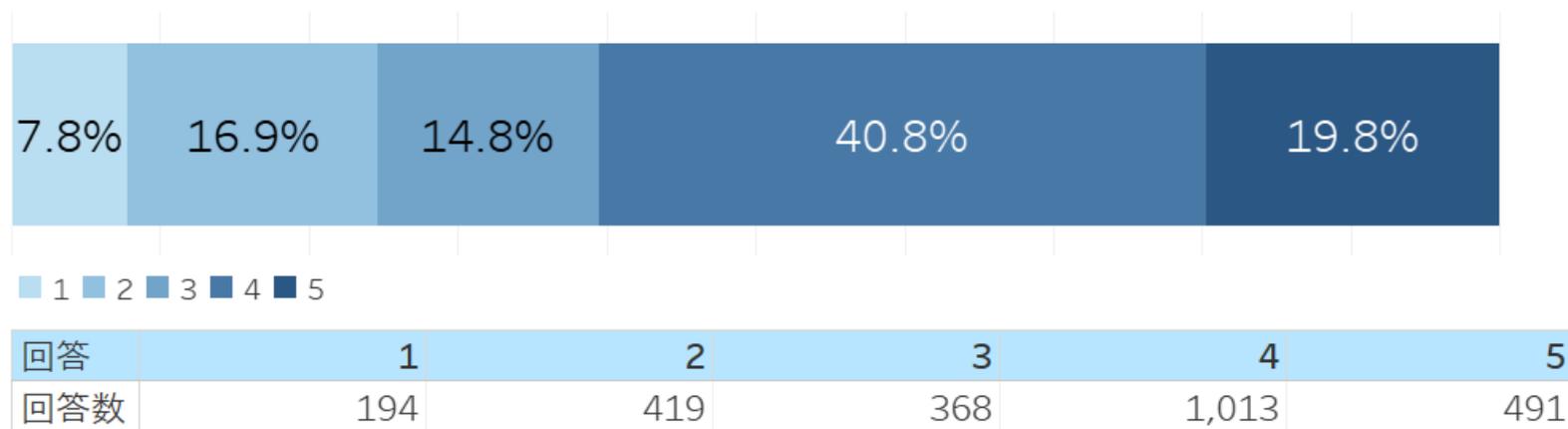
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く40.8%、次いで「非常にあてはまる=5」が19.8%

平均値



回答全体



9. 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している

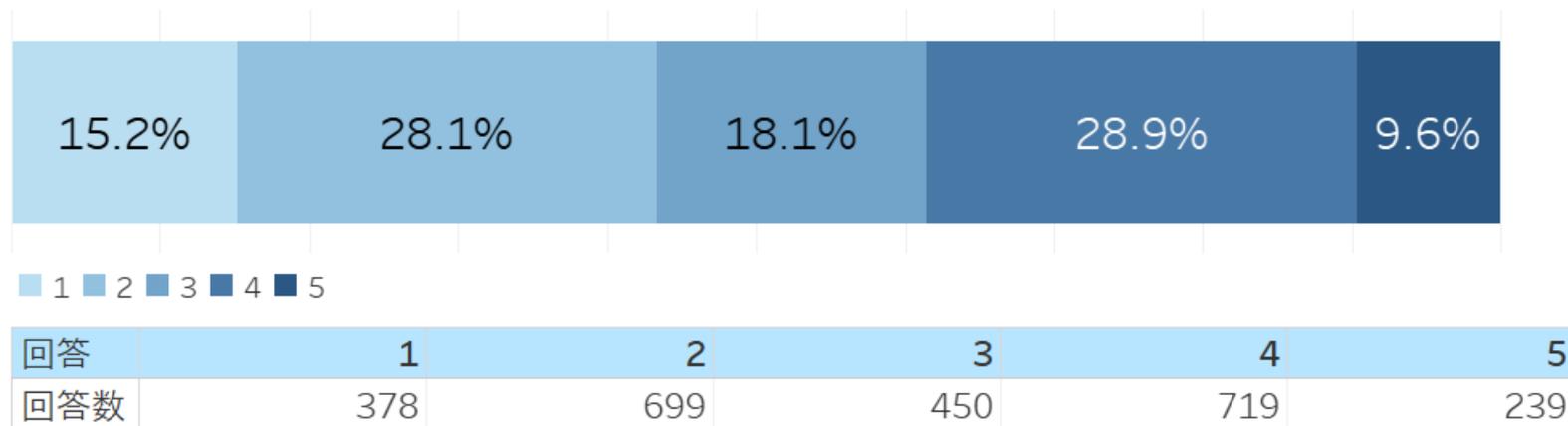
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- ・全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く28.9%、次いで「あまりあてはまらない=2」が28.1%
- ・2と4に回答が分かれていることから、充実している場所とそうでない場所が県内に混在することが伺える

平均値

平均	2.9	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
			3.2	2.9	3.0	2.9	2.8	3.0	2.9	2.8
性別			回答しない			女性			男性	
			2.4			2.9			2.9	

回答全体



10. 自宅には、心地のいい居場所がある

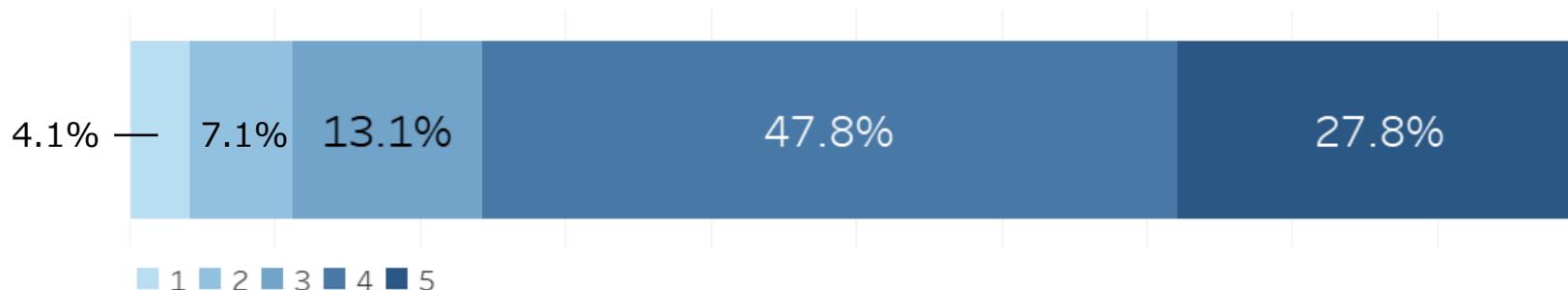
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く47.8%、次いで「非常にあてはまる=5」が27.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	103	177	325	1,188	692

11. 【数逆転設問】 自宅の近辺では、騒音に悩まされている

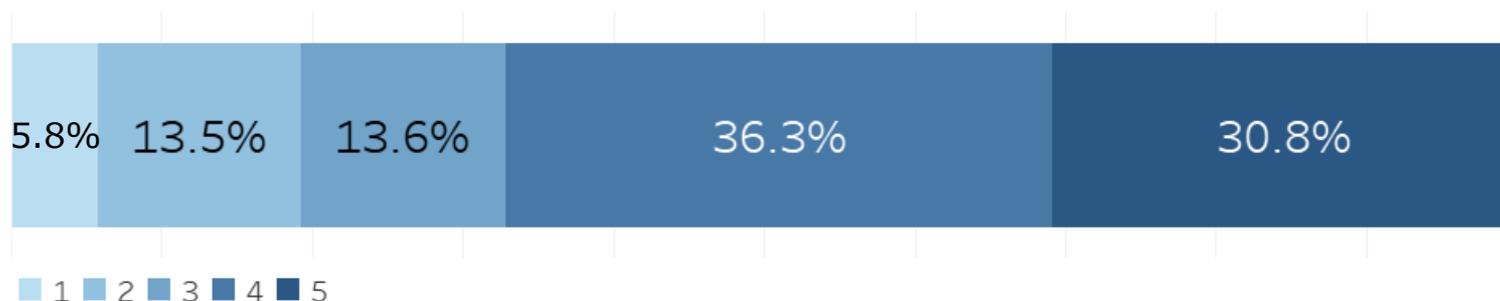
非常にあてはまる=1、ある程度あてはまる=2、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=4、全くあてはまらない=5

全体では「あまりあてはまらない=4」が最も多く36.3%、次いで「全くあてはまらない=5」が30.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	143	335	338	903	766

12. 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる

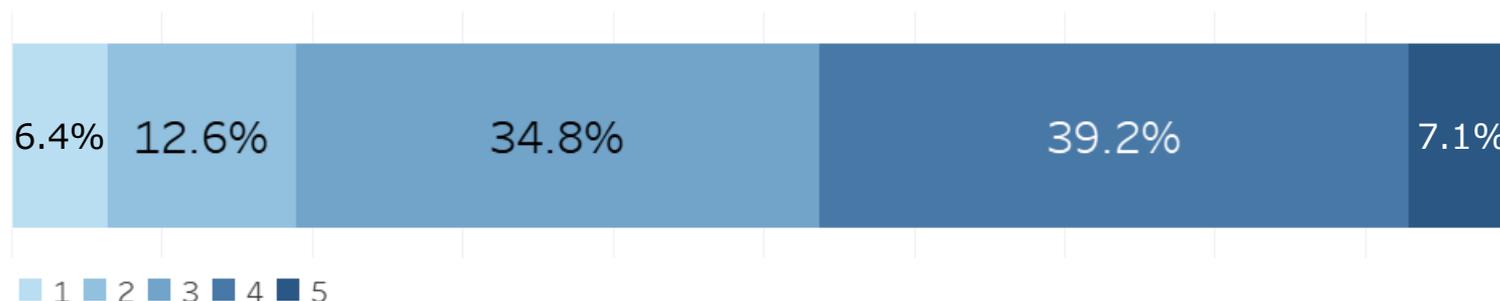
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が34.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	159	312	864	974	176

13. 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる

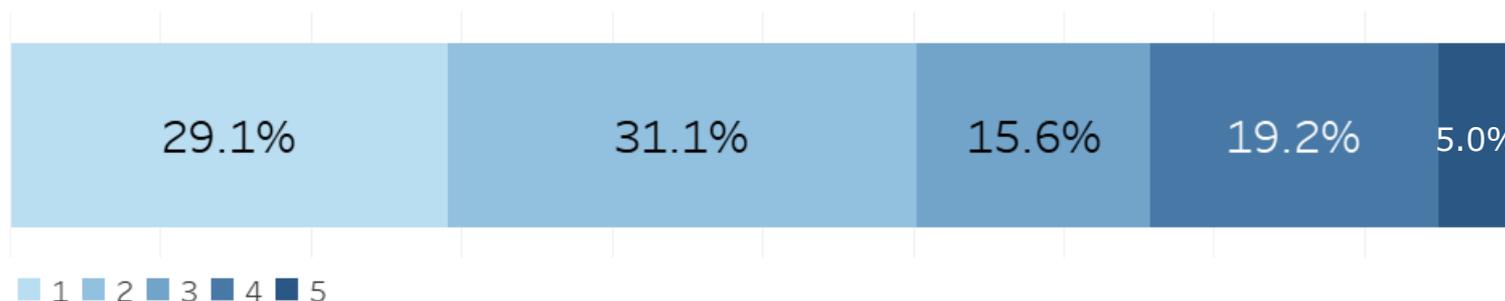
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く31.1%、次いで「全くあてはまらない=1」が29.1%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	724	773	387	476	125

14. 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

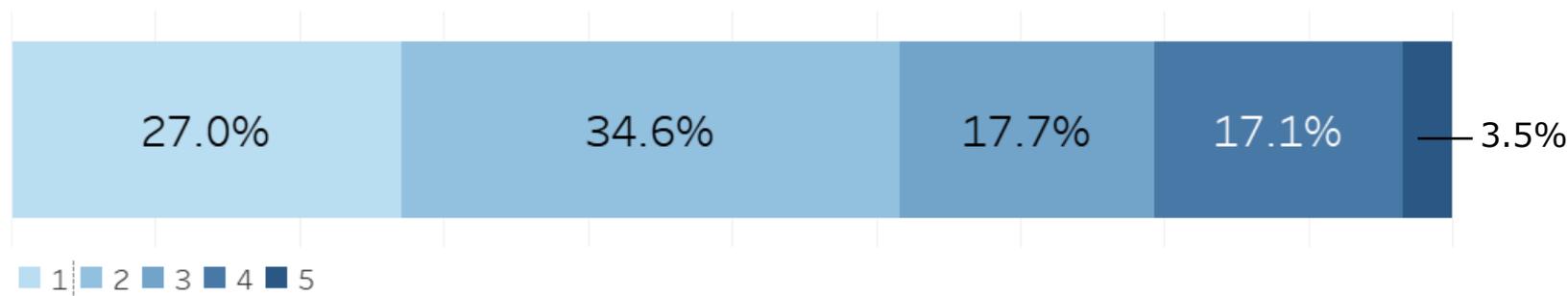
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く34.6%、次いで「全くあてはまらない=1」が27.0%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	672	860	440	426	87

15. 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い

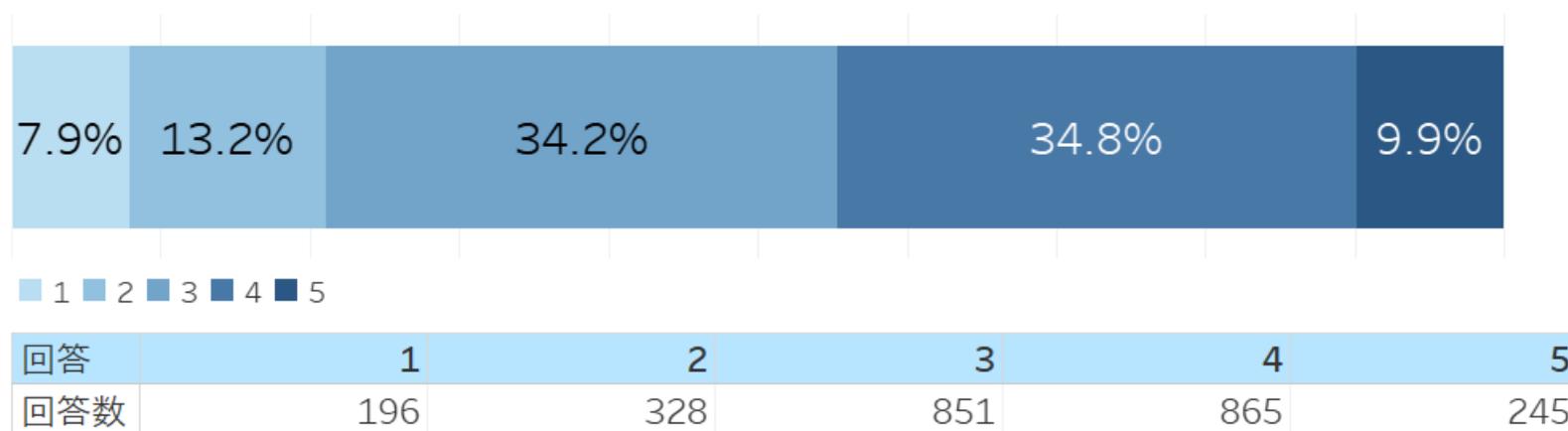
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く34.8%、次いで「どちらとも言えない=3」が34.2%

平均値



回答全体



16. 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる

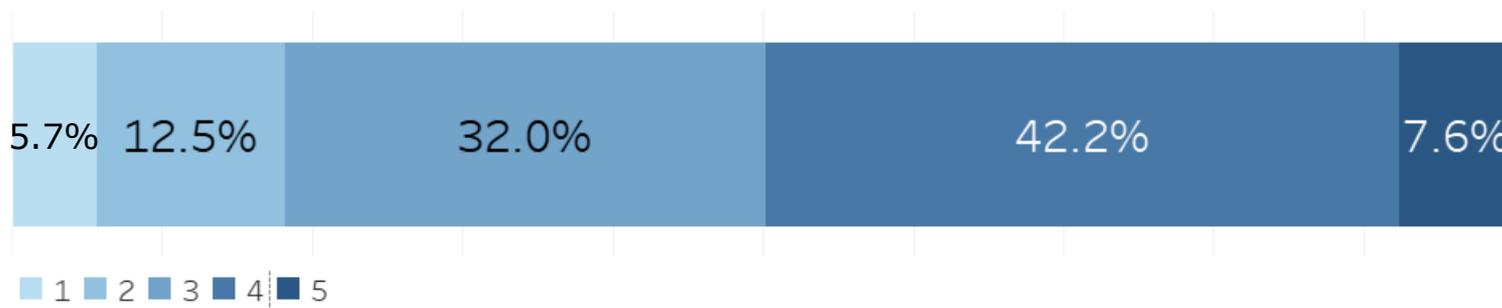
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く42.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が32.0%

平均値

平均	3.3	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
			3.6	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3
		性別	回答しない		女性			男性		
			2.8		3.3			3.3		

回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	141	311	796	1,048	189

17. 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている

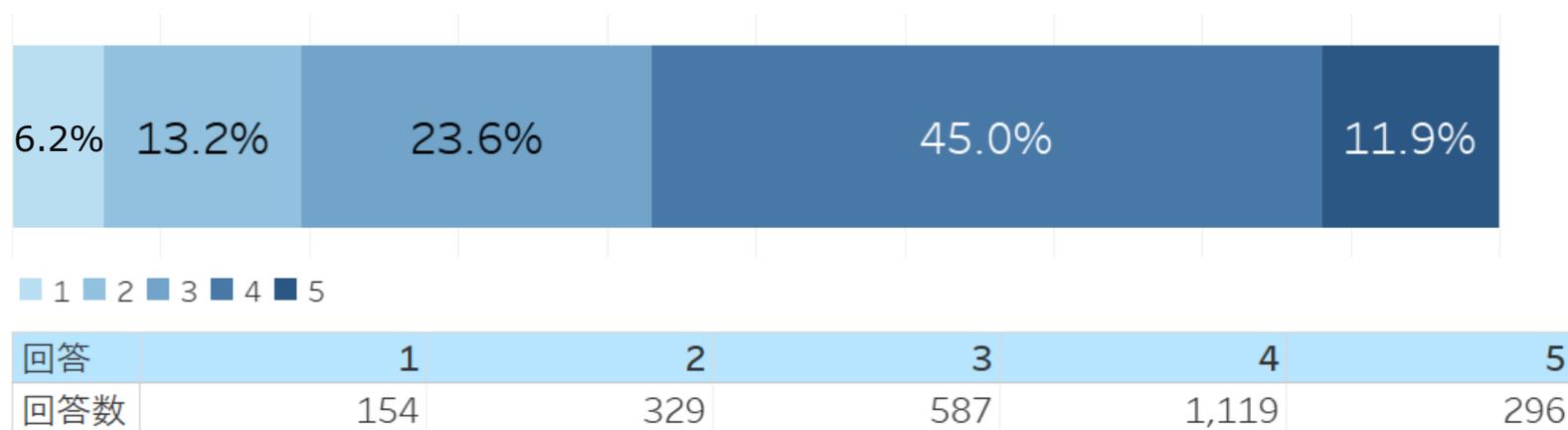
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く45.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が23.6%

平均値



回答全体



18. 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある

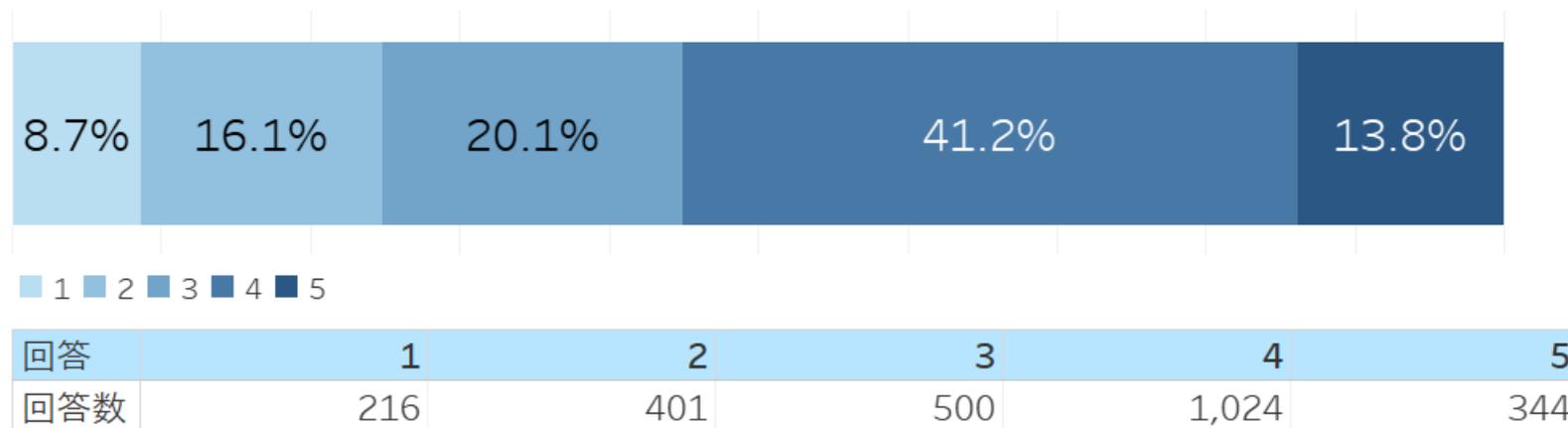
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く41.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が20.1%

平均値



回答全体



19. 暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う

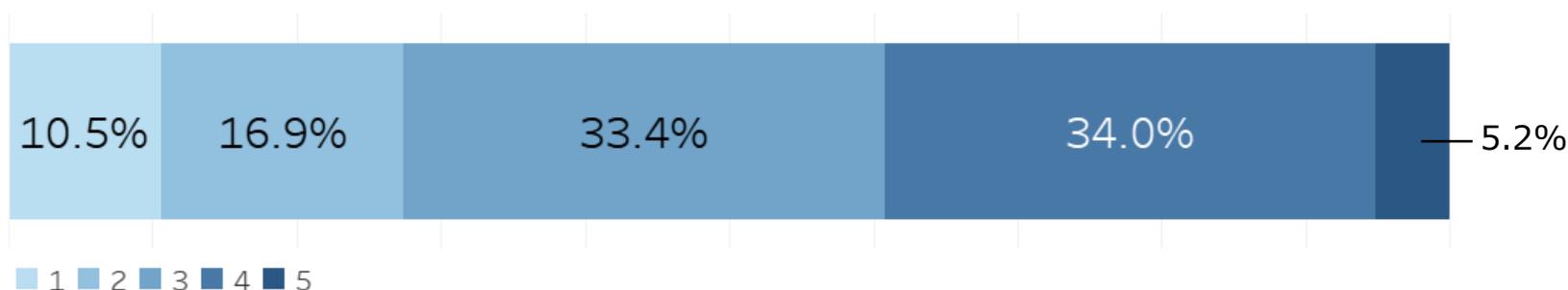
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く34.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が33.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	262	419	830	845	129

20. 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である

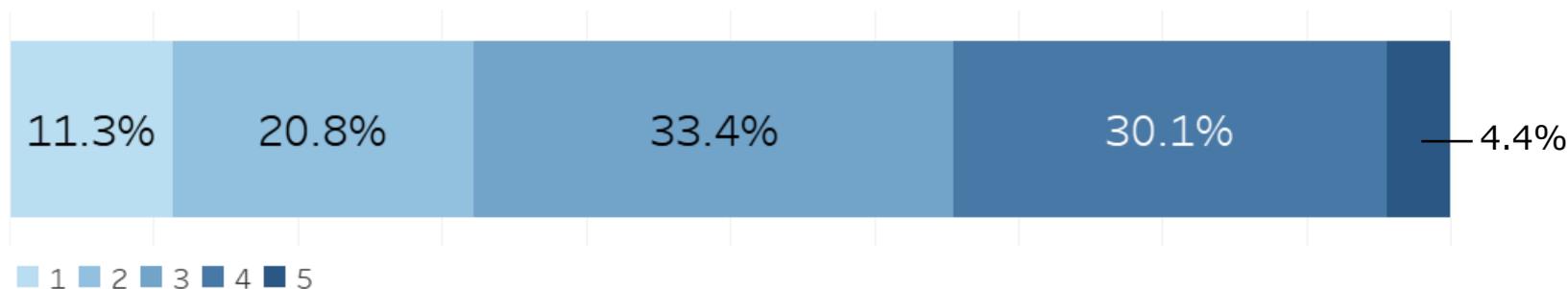
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く33.4%、次いで「ある程度あてはまる=4」が30.1%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	282	518	829	747	109

21. 私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる

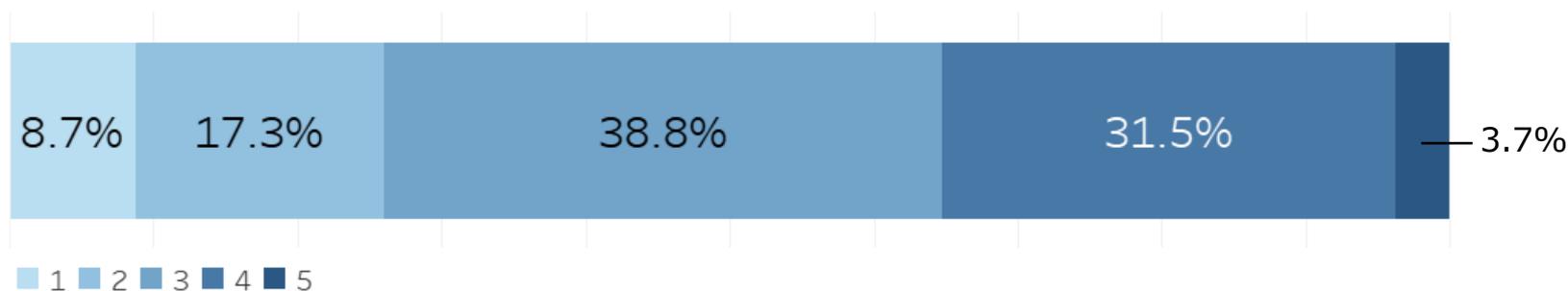
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く38.8%、次いで「ある程度あてはまる=4」が31.5%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	217	429	964	782	93

22. 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

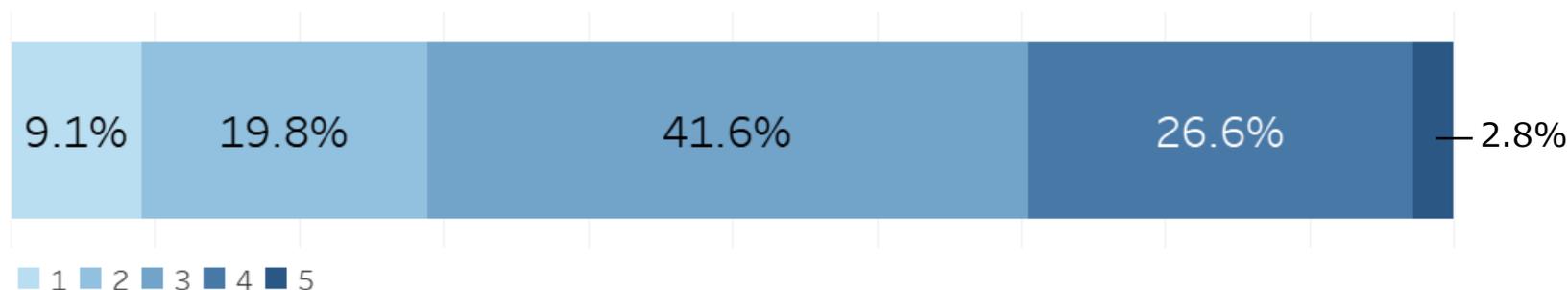
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く41.6%、次いで「ある程度あてはまる=4」が26.6%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	226	493	1,035	662	69

23. 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい

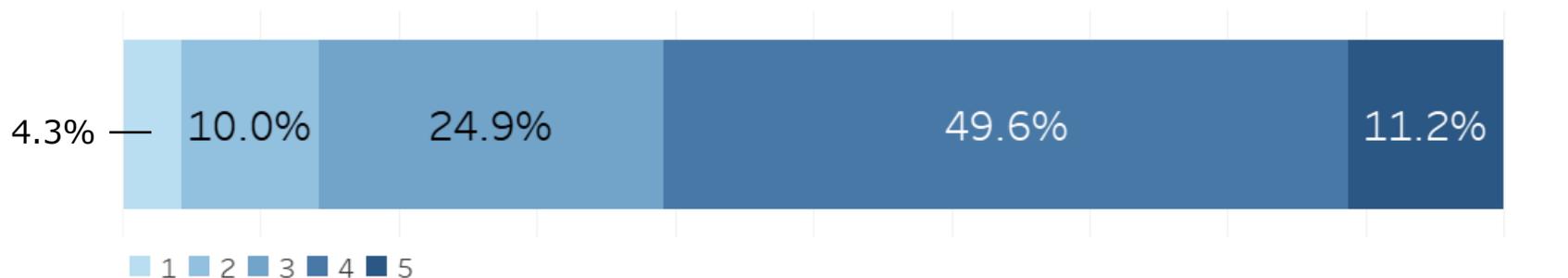
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く49.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が24.9%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	106	248	619	1,233	279

24. 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

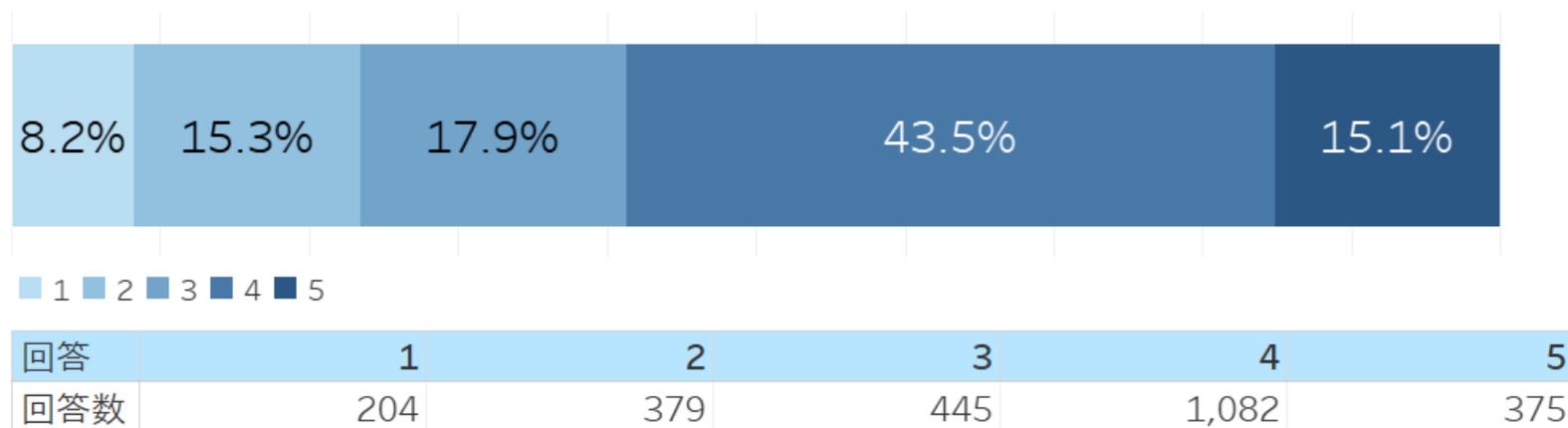
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く43.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が17.9%

平均値



回答全体



25. 私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある

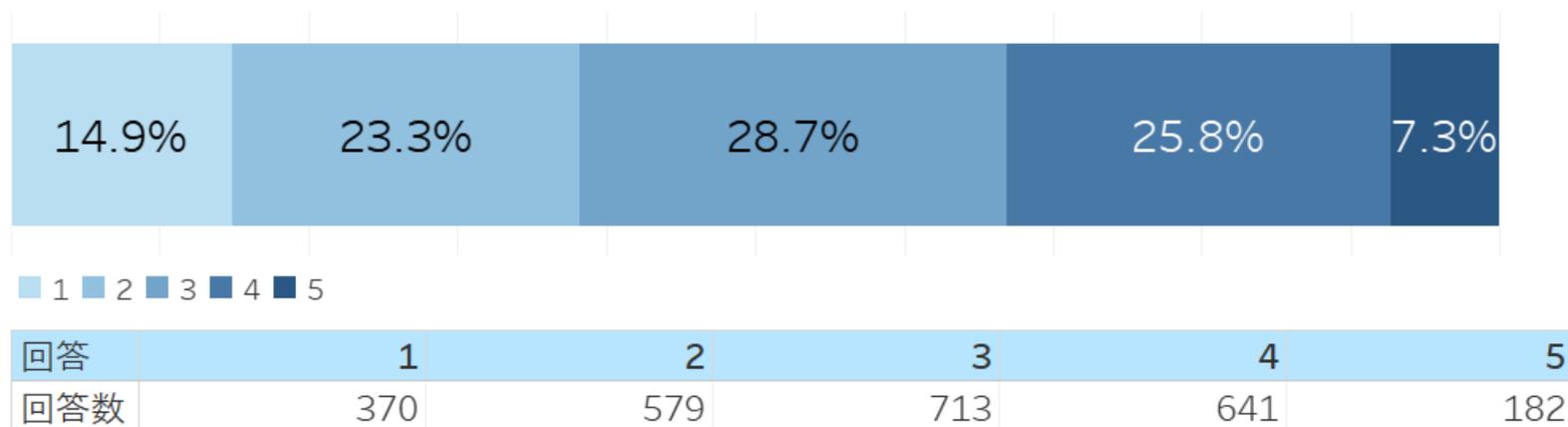
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く28.7%、次いで「ある程度あてはまる=4」が25.8%

平均値



回答全体



26. 私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある

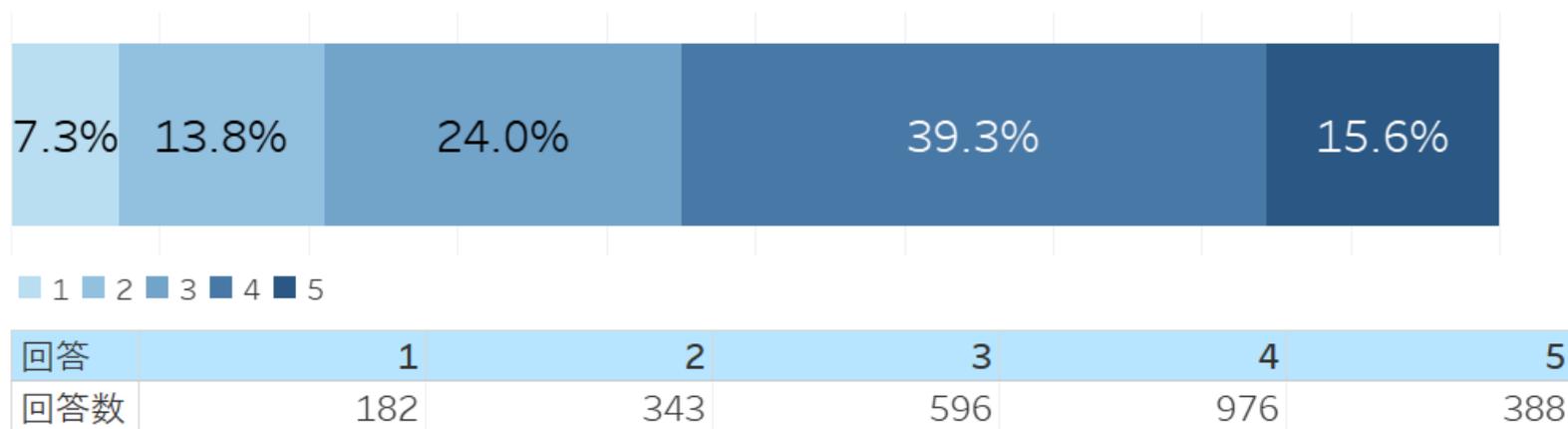
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.3%、次いで「どちらとも言えない=3」が24.0%

平均値



回答全体



27. 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる

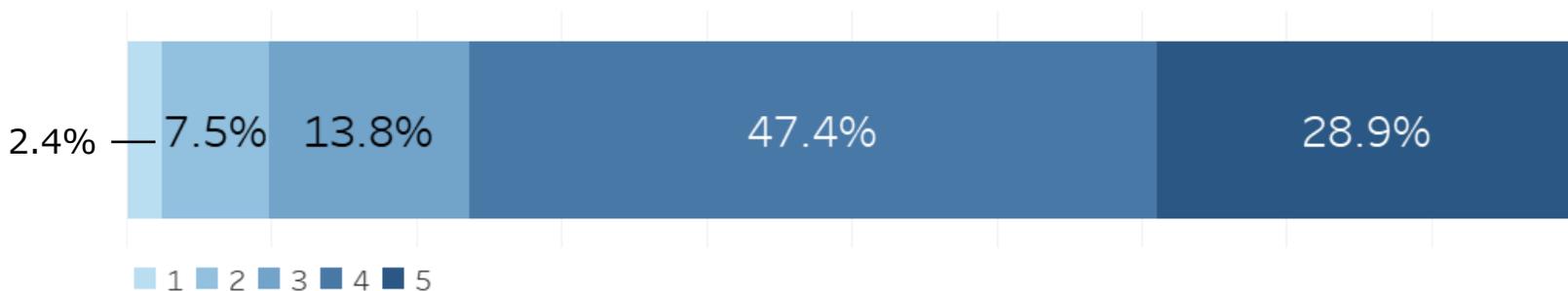
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- 全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く47.4%、次いで「非常にあてはまる」が28.9%
- 年代別では20代以下の平均が高い傾向

平均値

平均	3.9	年代別							
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
		回答しない		女性			男性		
		3.6		4.0			3.9		

回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	60	186	342	1,178	719

28. 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

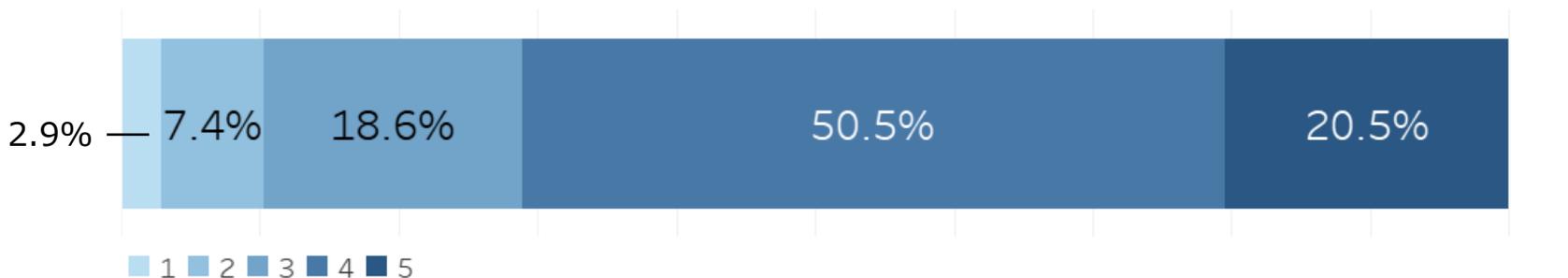
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く50.5%、次いで「非常にあてはまる=5」が20.5%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	71	185	463	1,256	510

29. 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

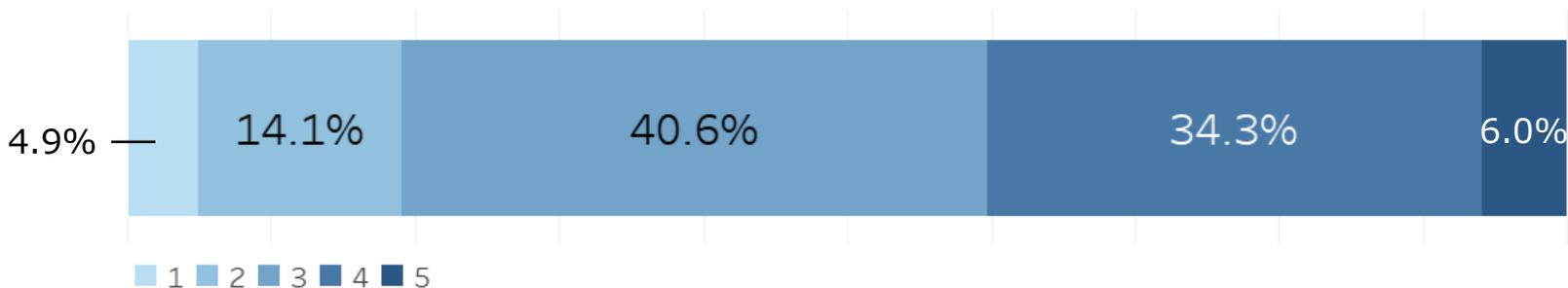
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く40.6%、次いで「ある程度あてはまる=4」が34.3%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	123	351	1,010	853	148

30. 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている

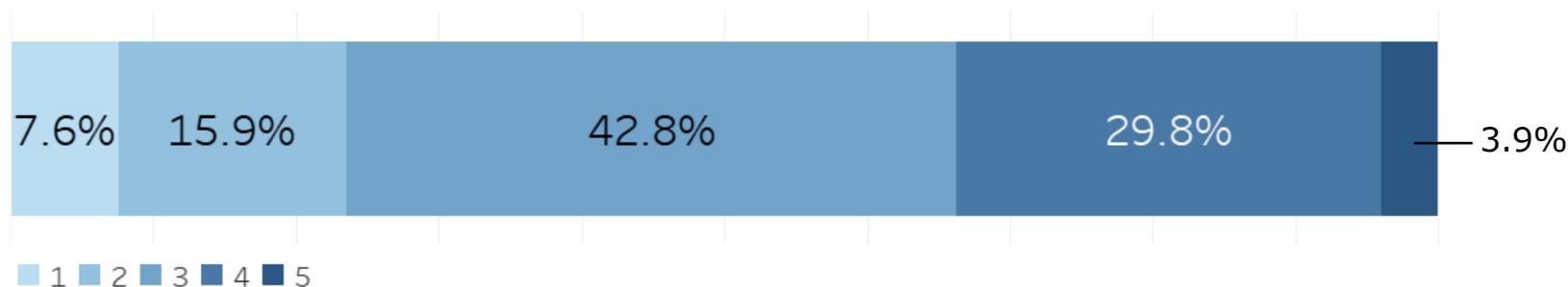
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く42.8%、次いで「ある程度あてはまる=4」が29.8%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	188	396	1,063	740	98

31. 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街燈・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい

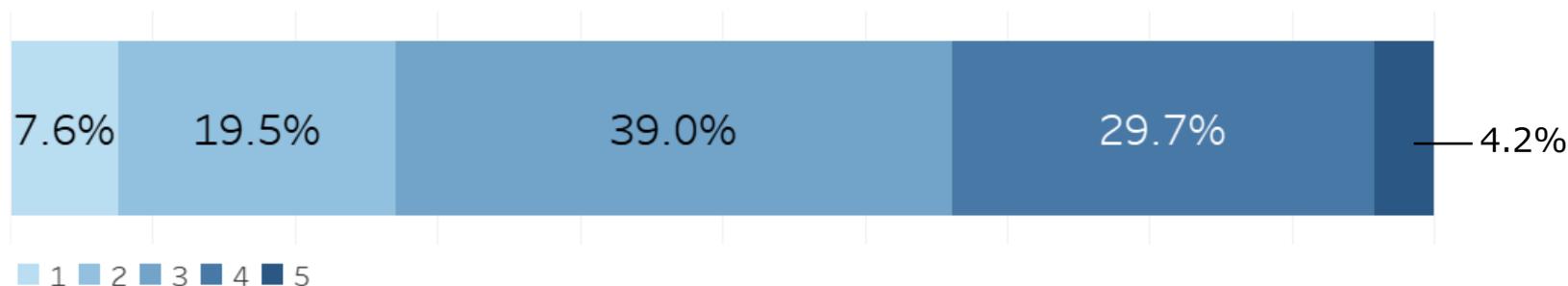
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く39.0%、次いで「ある程度あてはまる=4」が29.7%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	189	485	969	737	105

32. 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である

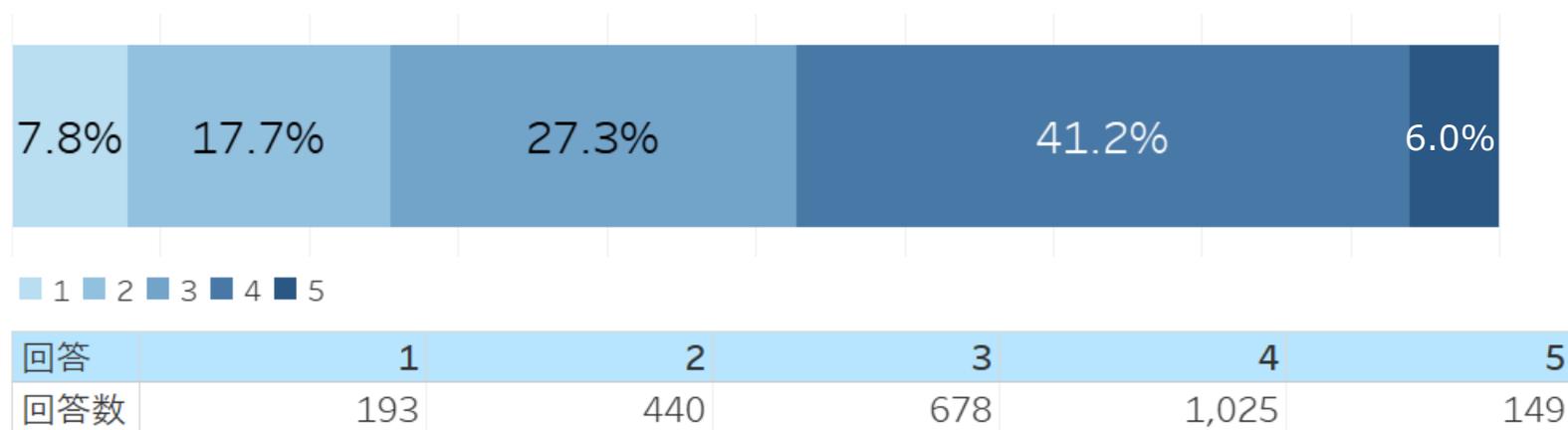
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く41.2%、次いで「どちらとも言えない=3」が27.3%

平均値



回答全体



33. 私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している

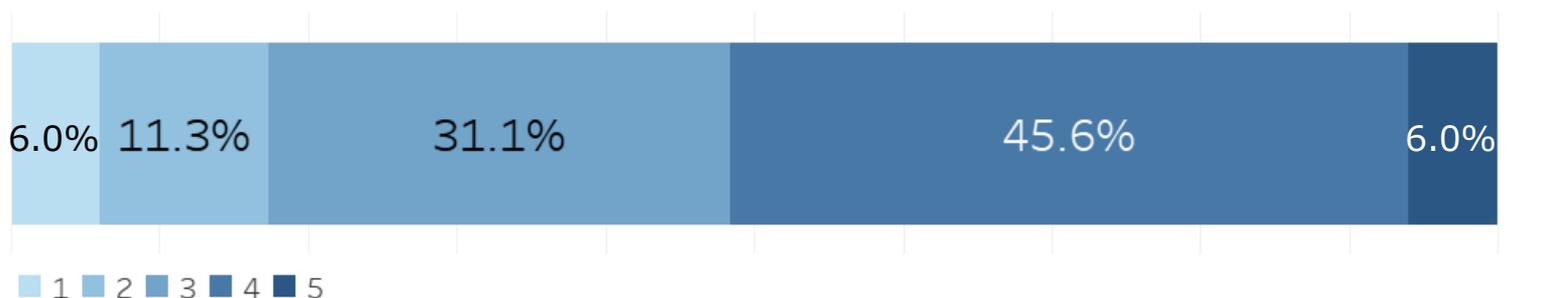
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く45.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が31.1%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	149	281	772	1,134	149

34. 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである

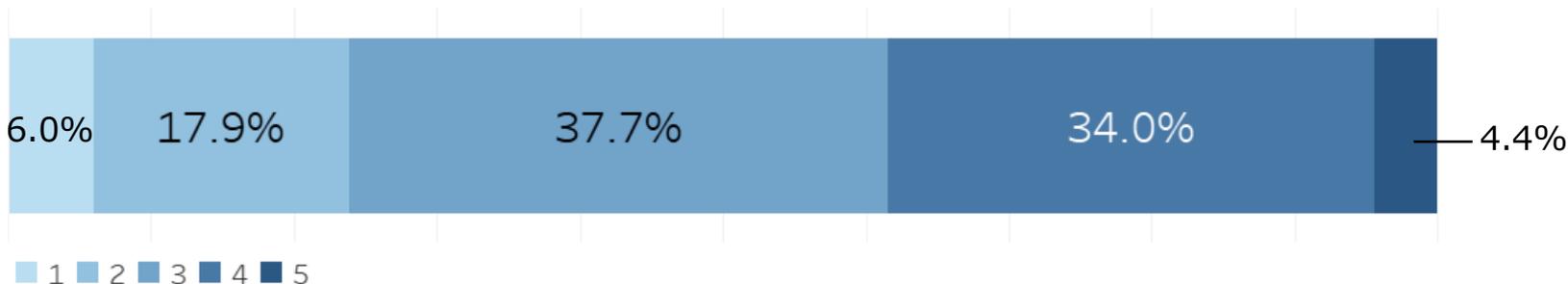
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く37.7%、次いで「ある程度あてはまる=4」が34.0%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	149	444	937	845	110

35. 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる

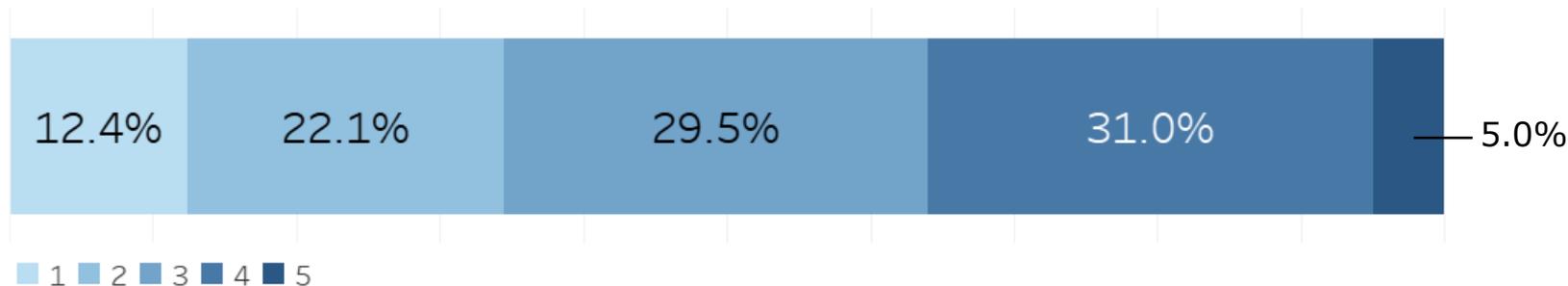
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く31.0%、次いで「どちらとも言えない=3」が29.5%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	309	548	733	771	124

36. 私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする

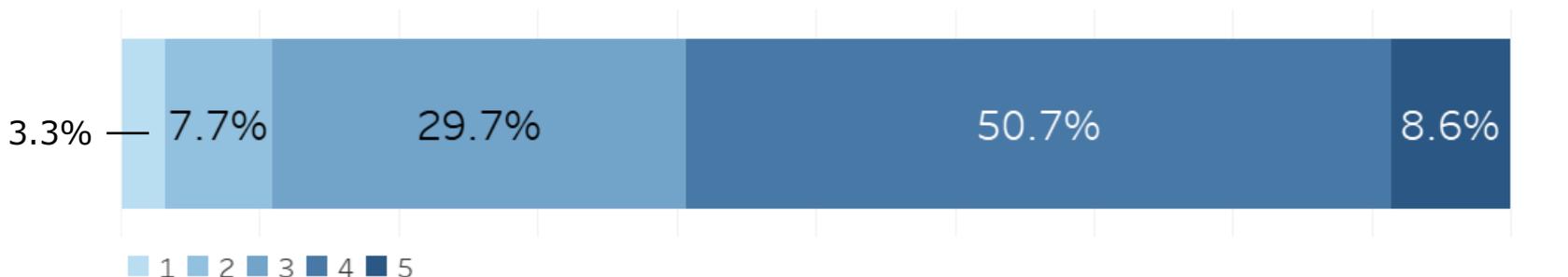
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く50.7%、次いで「どちらとも言えない=3」が29.7%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	81	191	739	1,261	213

37. 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている

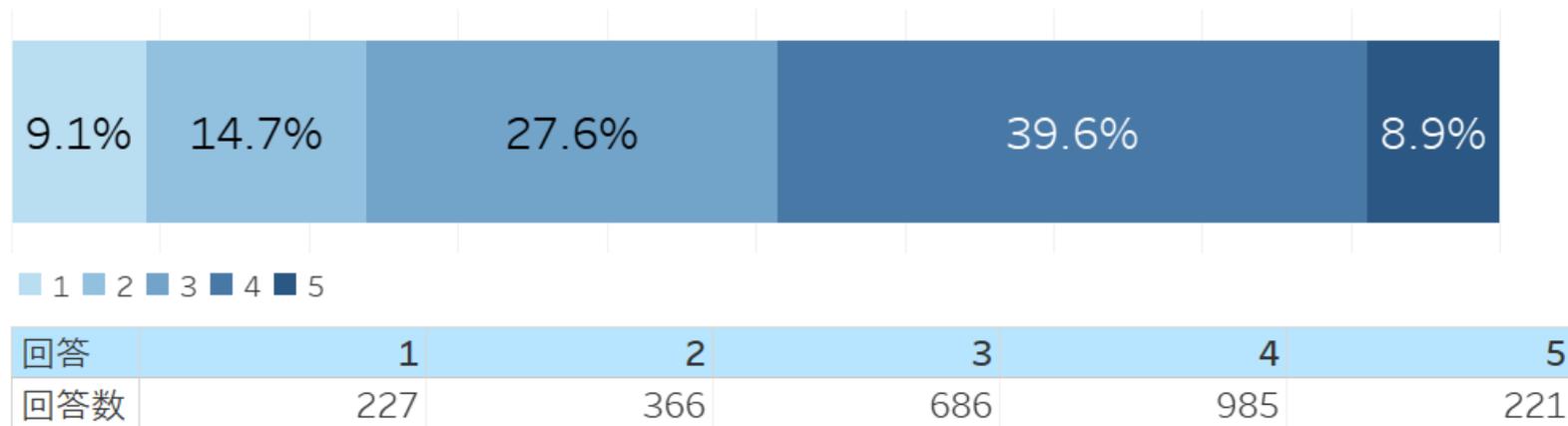
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- 全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く39.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が27.6%
- 年代別では20,30代よりも60代以降の平均が高い傾向

平均値

平均	3.2	年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
			3.6	3.1	3.1	3.2	3.3	3.4	3.7	4.0
		性別	回答しない		女性			男性		
			2.7		3.2			3.4		

回答全体



38. この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある

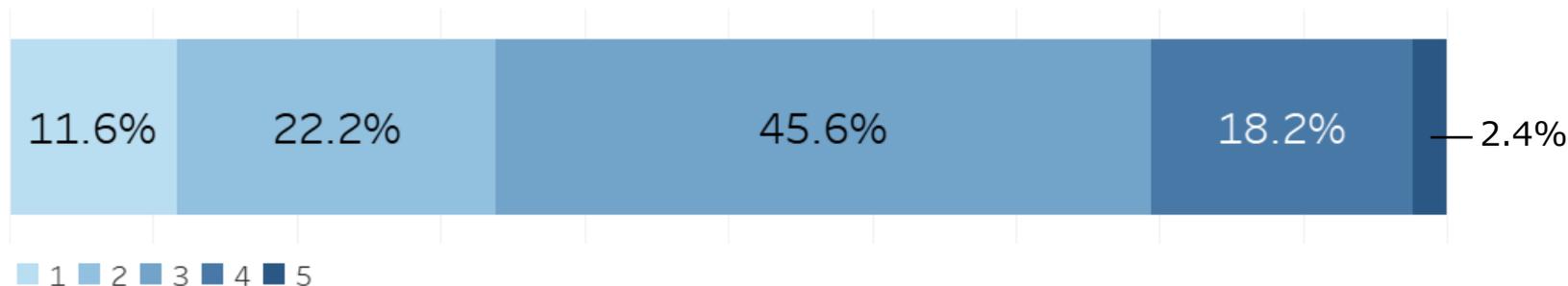
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く45.6%、次いで「あまりあてはまらない=2」が22.2%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	289	552	1,132	452	60

39. 私は、見知らぬ他者であっても信頼する

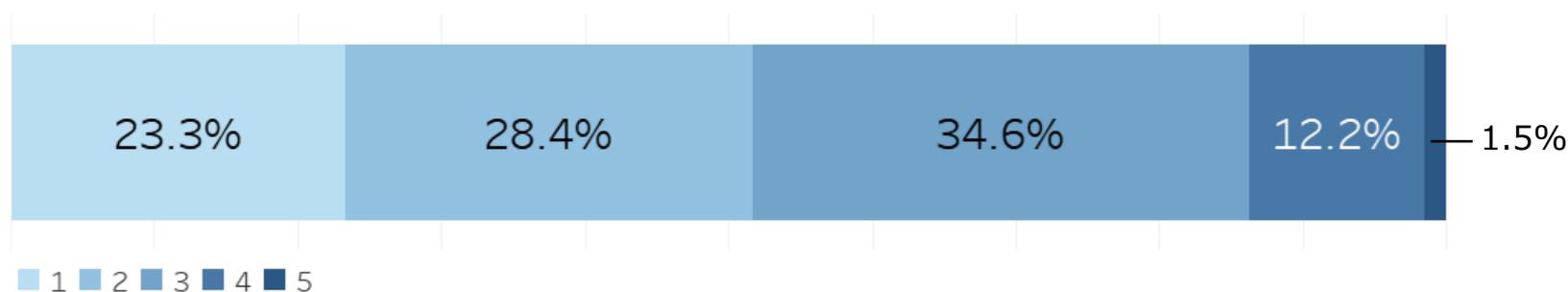
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

- 全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く34.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が28.4%
- 年代別では20,30代よりも60代以降の平均が高い傾向

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	579	705	860	303	38

40. 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる

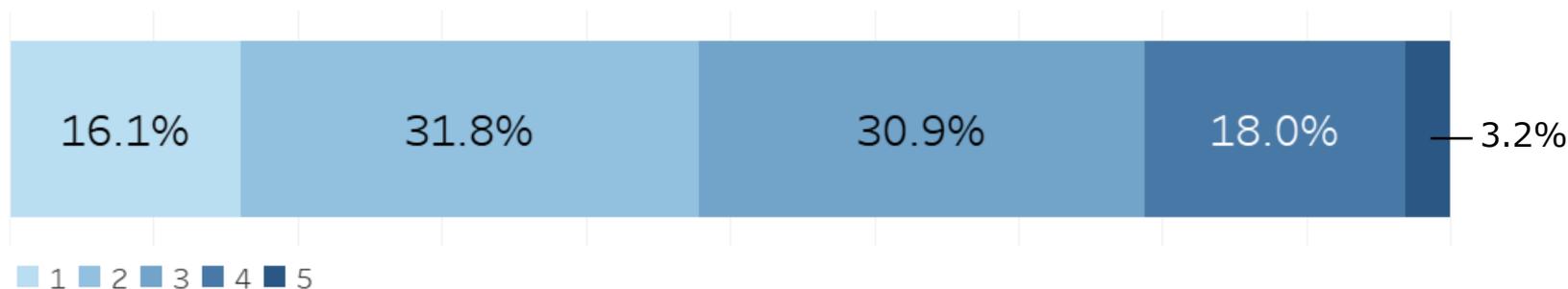
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「あまりあてはまらない=2」が最も多く31.8%、次いで「どちらとも言えない=3」が30.9%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	400	789	769	448	79

41. 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある

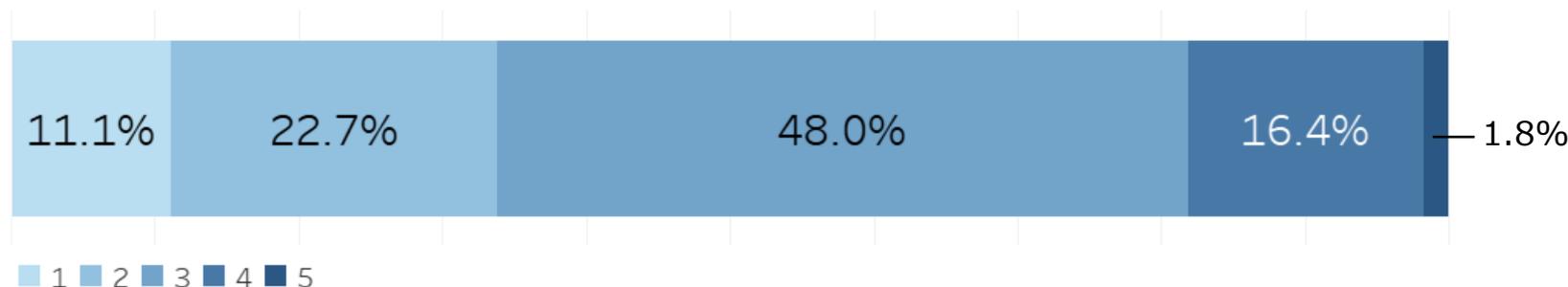
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く48.0%、次いで「あまりあてはまらない=2」が22.7%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	276	565	1,193	407	44

42. 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある

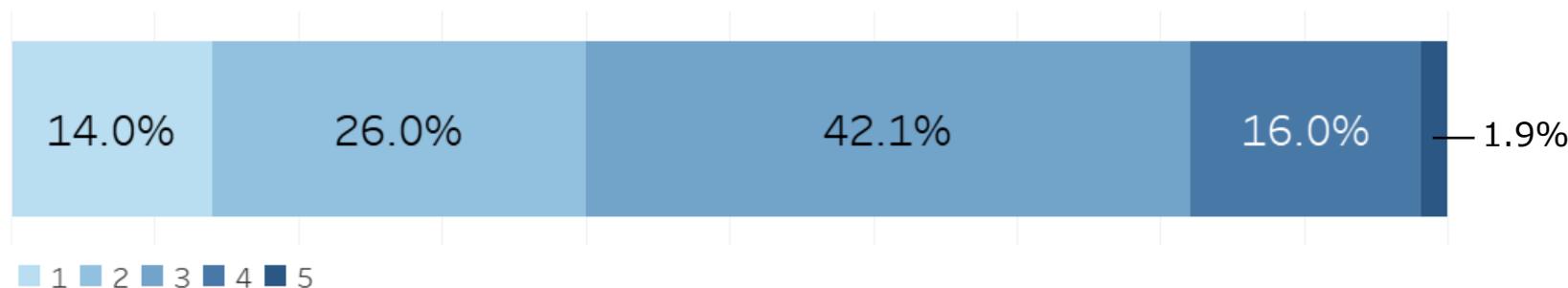
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く42.1%、次いで「あまりあてはまらない=2」が26.0%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	348	646	1,046	398	47

43. 自分のことを好ましく感じる

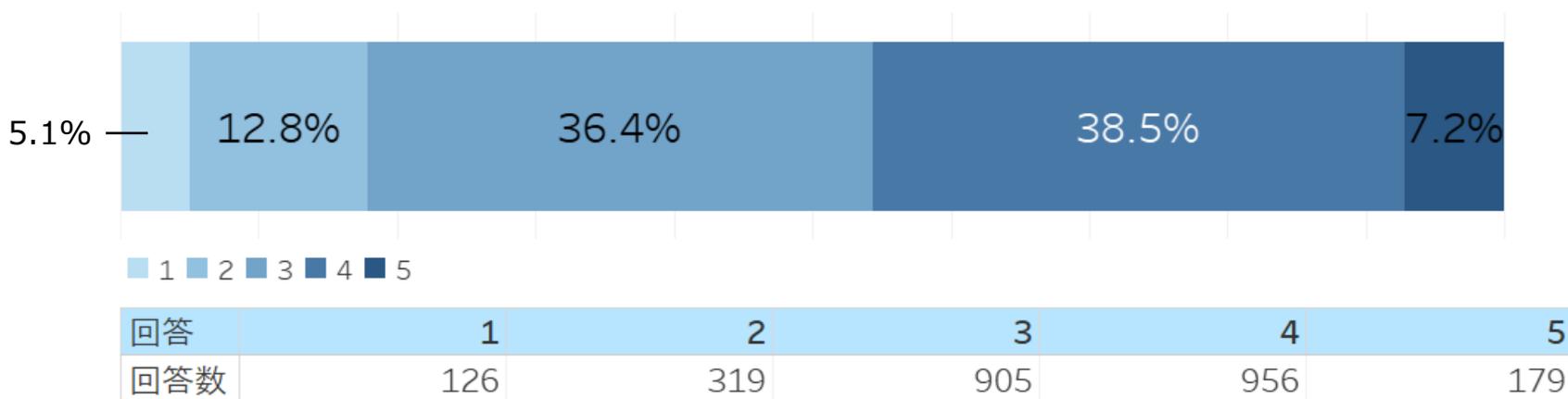
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く38.5%、次いで「どちらとも言えない=3」が36.4%

平均値



回答全体



44. 私は、身体的に健康な状態である

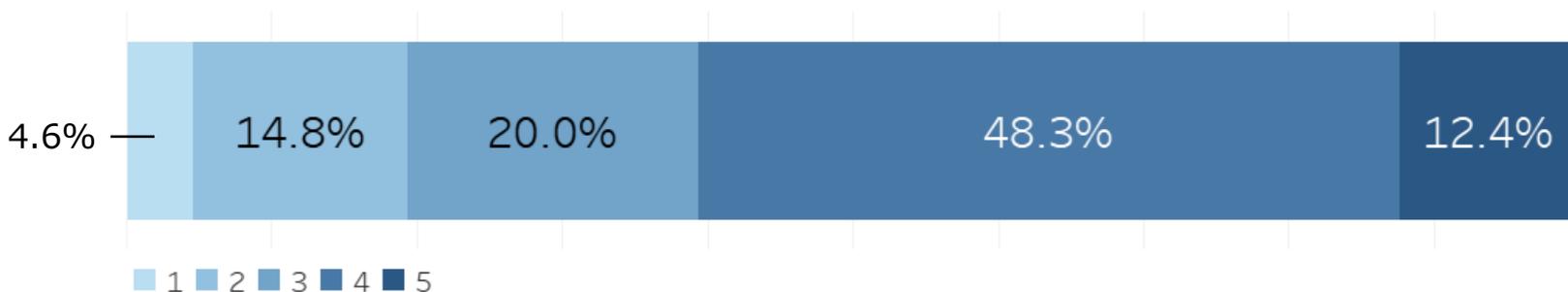
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く48.3%、次いで「どちらとも言えない=3」が20.0%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	114	368	496	1,200	307

45. 私は、精神的に健康な状態である

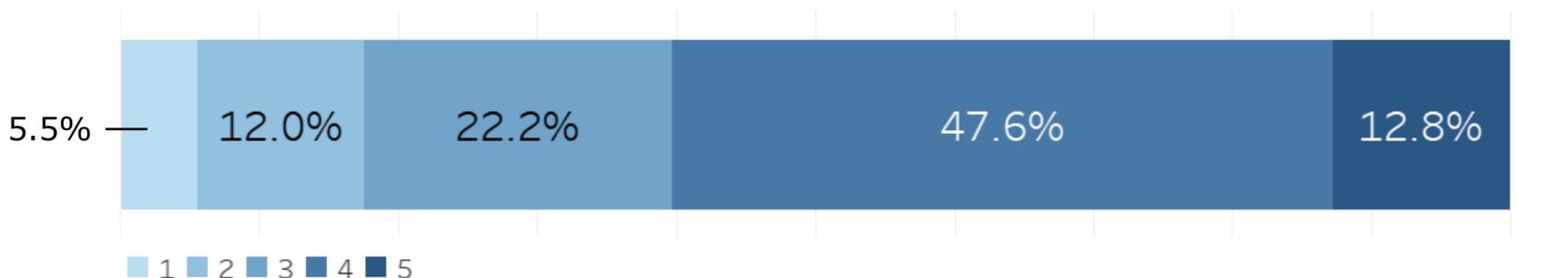
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く47.6%、次いで「どちらとも言えない=3」が22.2%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	137	298	551	1,182	317

46. 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい

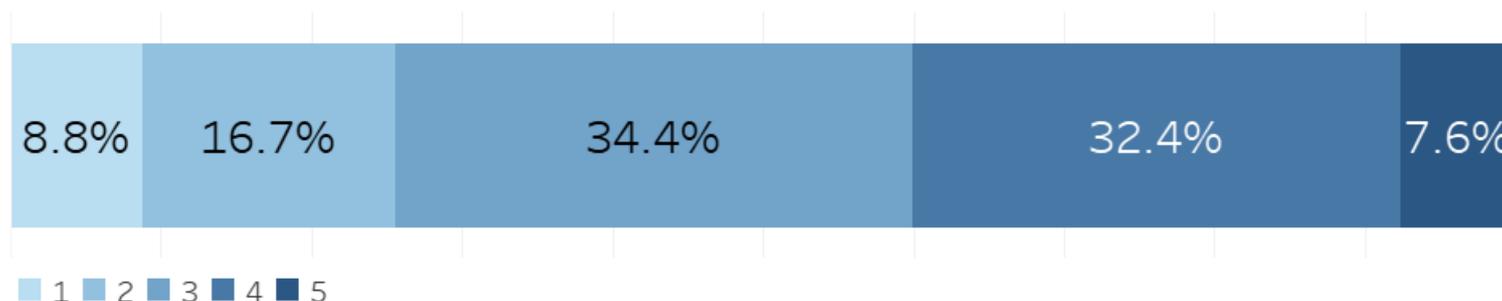
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く34.4%、次いで「ある程度あてはまる=4」が32.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	219	416	855	806	189

47. 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

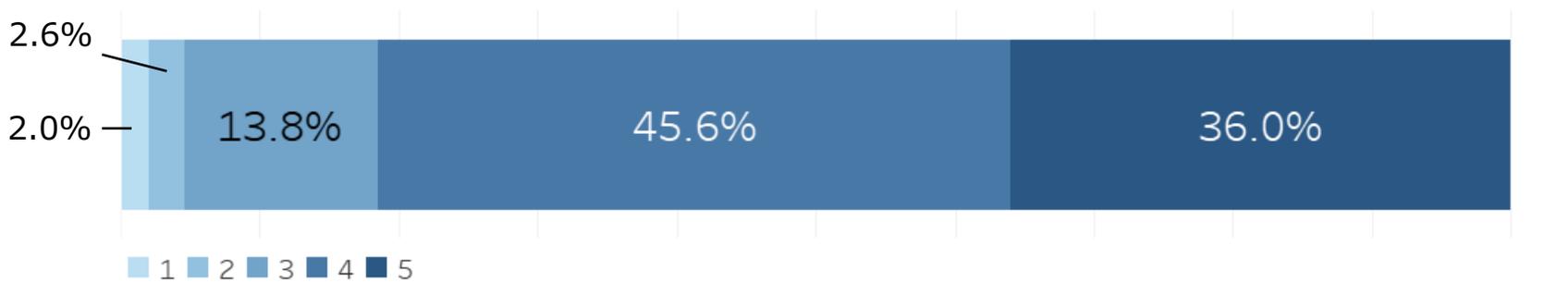
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「ある程度あてはまる=4」が最も多く45.6%、次いで「非常にあてはまる=5」が36.0%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	50	65	344	1,132	894

48. 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある

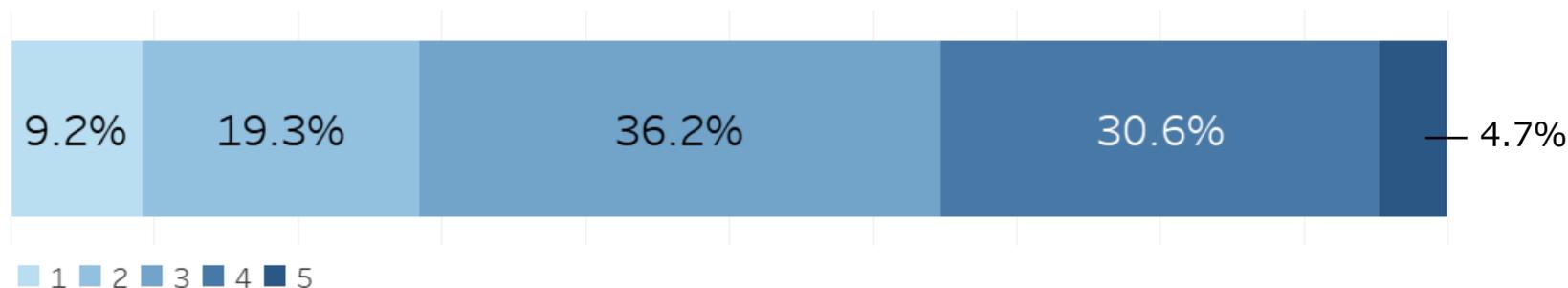
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く36.2%、次いで「ある程度あてはまる=4」が30.6%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	228	480	900	760	117

49. 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい

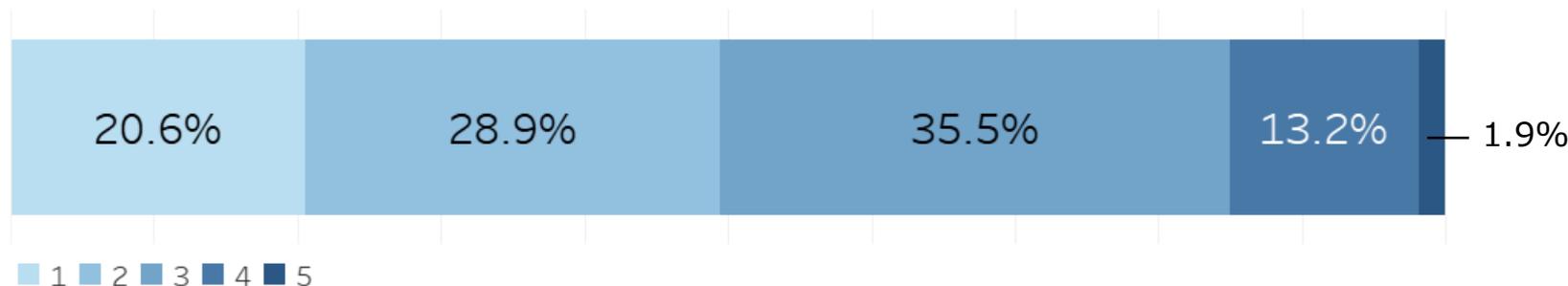
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く35.5%、次いで「あまりあてはまらない=2」が28.9%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	511	718	882	328	46

50. 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある

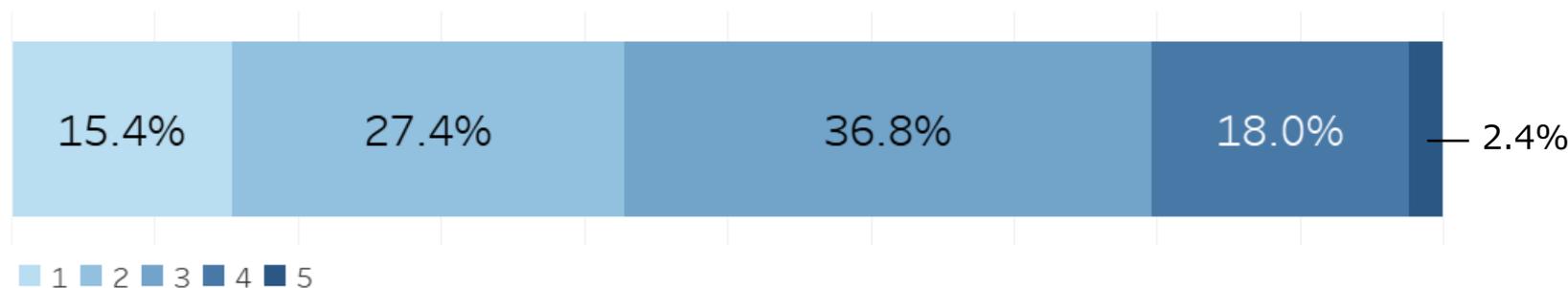
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く36.8%、次いで「あまりあてはまらない=2」が27.4%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	382	681	915	448	59

51. 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

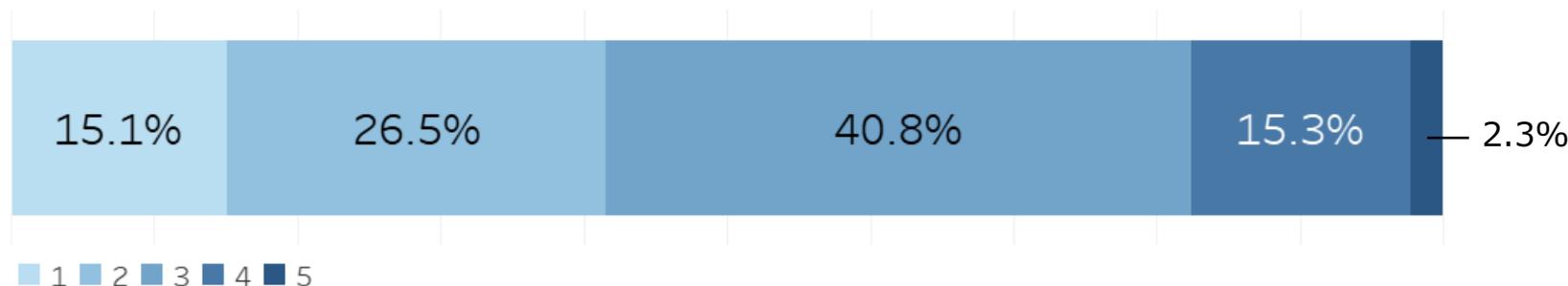
非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

全体では「どちらとも言えない=3」が最も多く40.8%、次いで「あまりあてはまらない=2」が26.5%

平均値



回答全体



回答	1	2	3	4	5
回答数	374	659	1,015	380	57

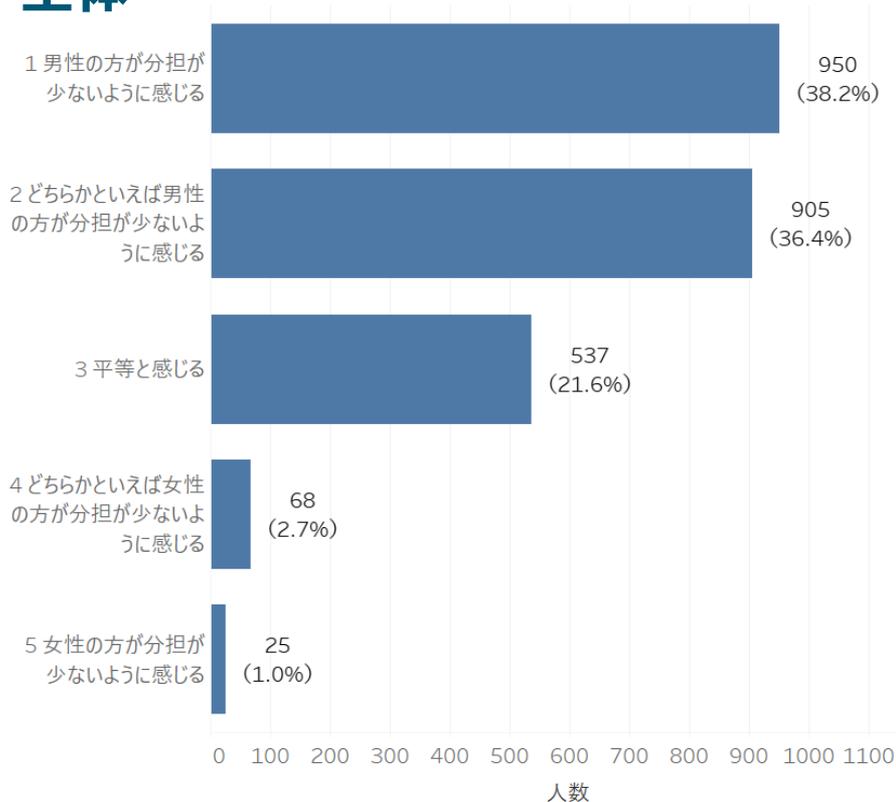
2. 注目指標（女性活躍・デジタル化・防災） に関する設問による県民の声把握

男女の家事・育児・介護分擔

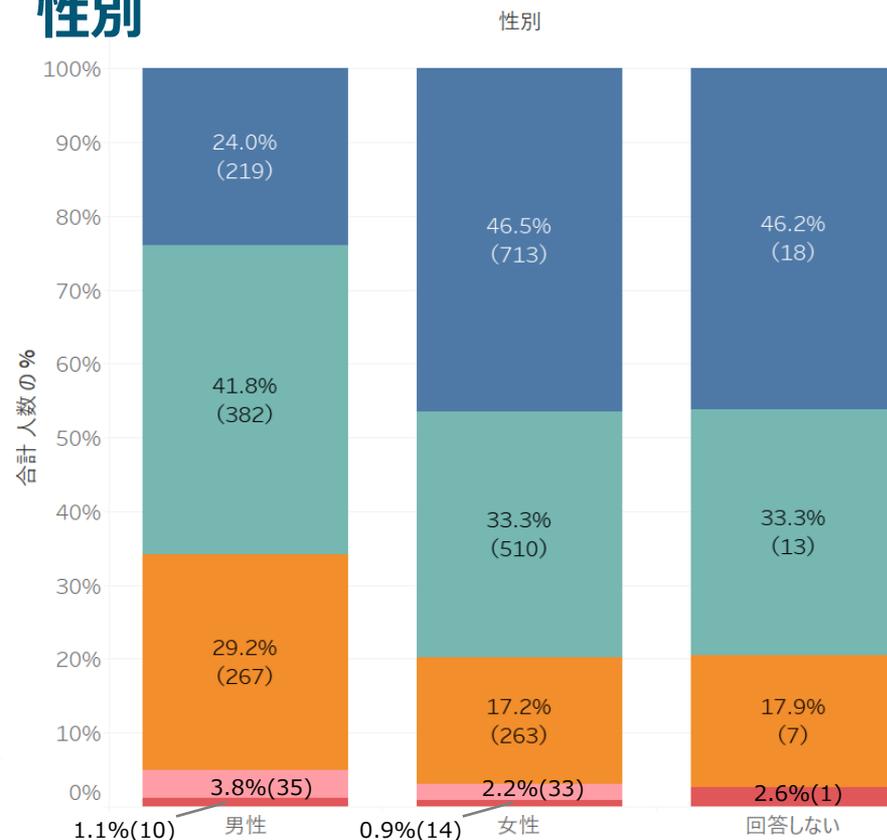
52. 家庭での男女の家事分擔は平等になっていると思いますか

- 全体では「男性の方が分擔が少ないように感じる」が最も多く38.2%
- 男女間で「平等と感じる」割合には大きな差があり、「男性の方が分擔が少ない」と感じている女性の割合が多い

全体



性別

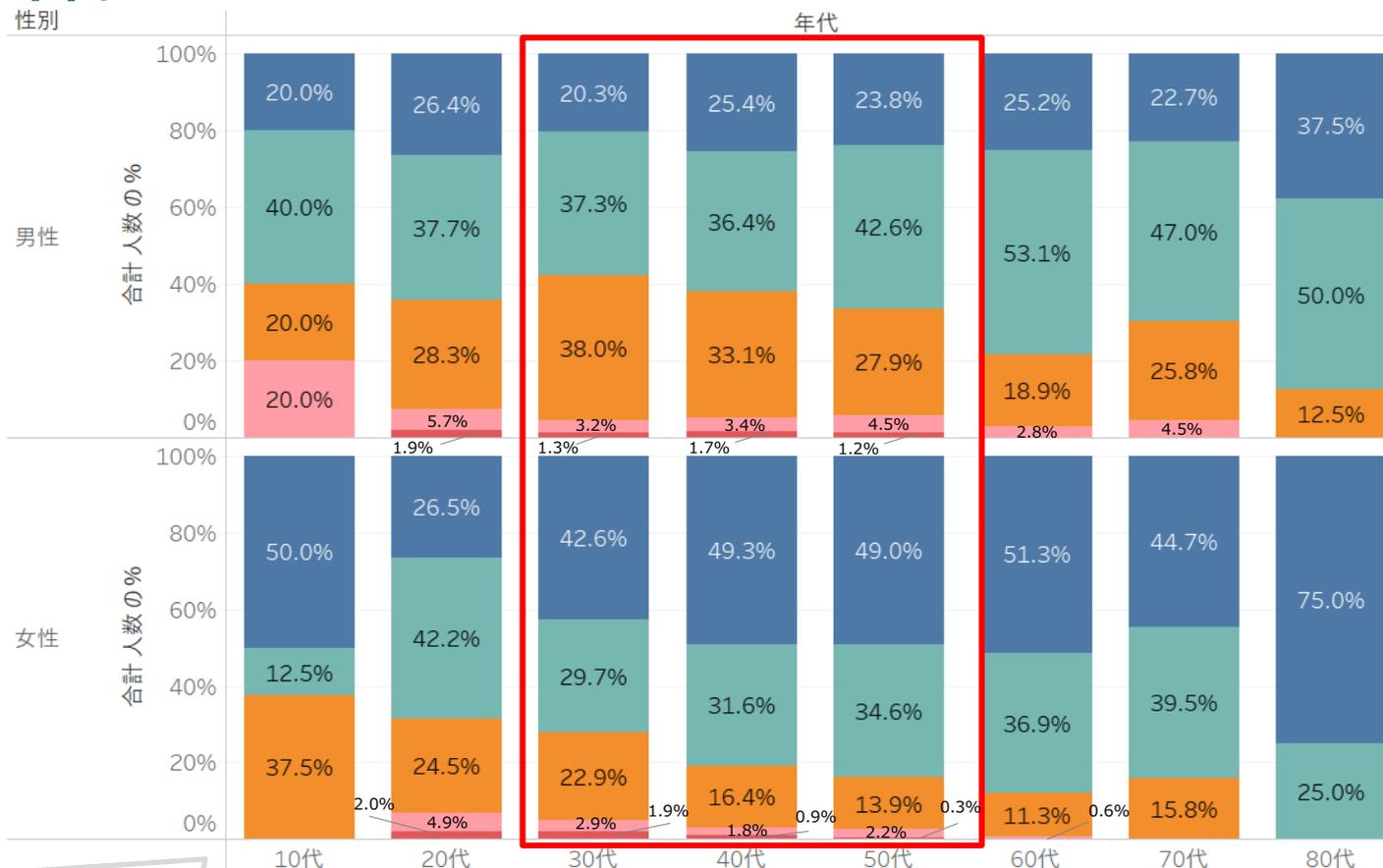


男女の家事・育児・介護分担

52. 家庭での男女の家事分担は平等になっていると思いますか

家庭を持つ人が増えると思われる30代以降において、平等と感じる割合に男女間の差が出ている

性別×年代



- 1 男性の方が分担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
- 5 女性の方が分担が少ないように感じる

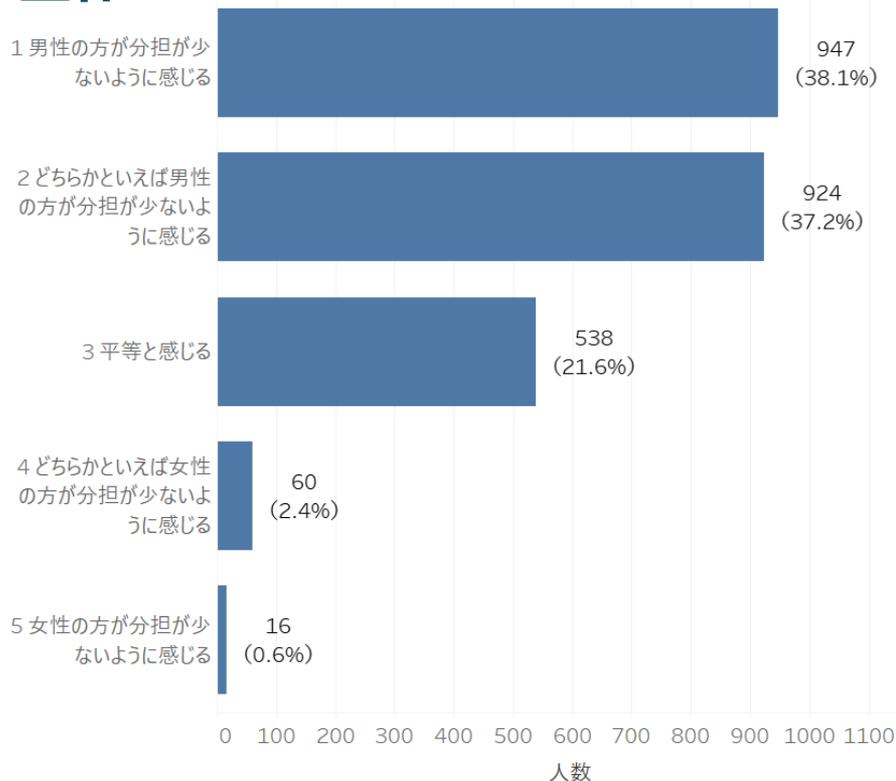
※ 性別「回答しない」を除く
 ※ 10代、80代は回答人数が少ないため参考値

男女の家事・育児・介護分擔

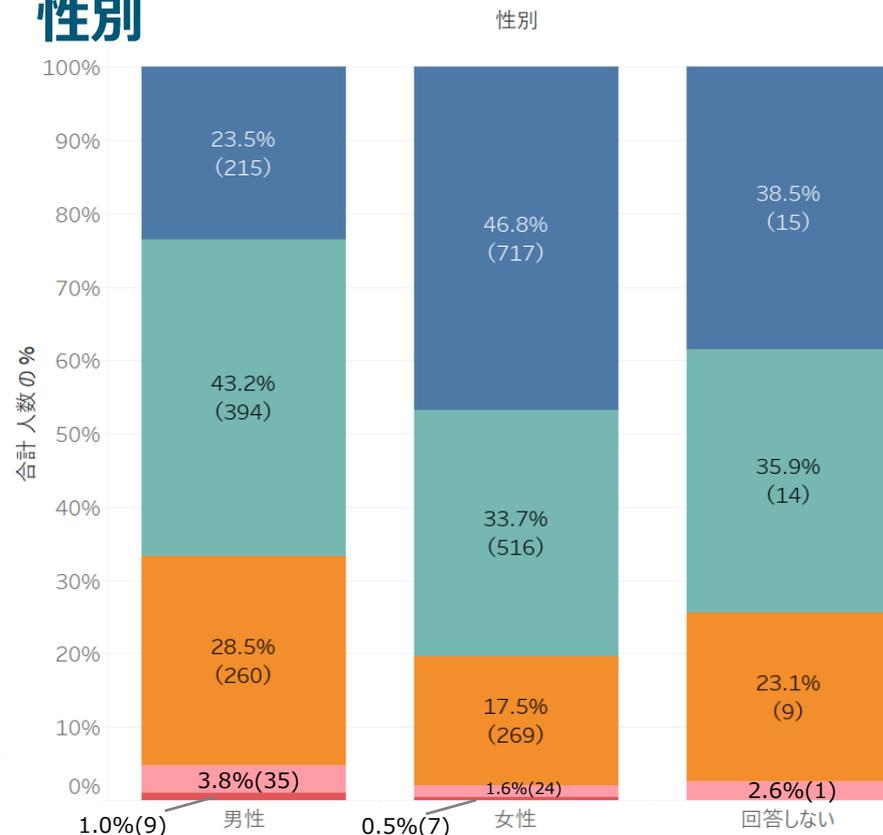
53. 家庭での男女の育児分擔は平等になっていると思いますか

- 全体では「男性の方が分擔が少ないように感じる」が最も多く38.1%
- 次いで「どちらかといえば男性の方が分擔が少ないように感じる」が多く37.2%

全体



性別



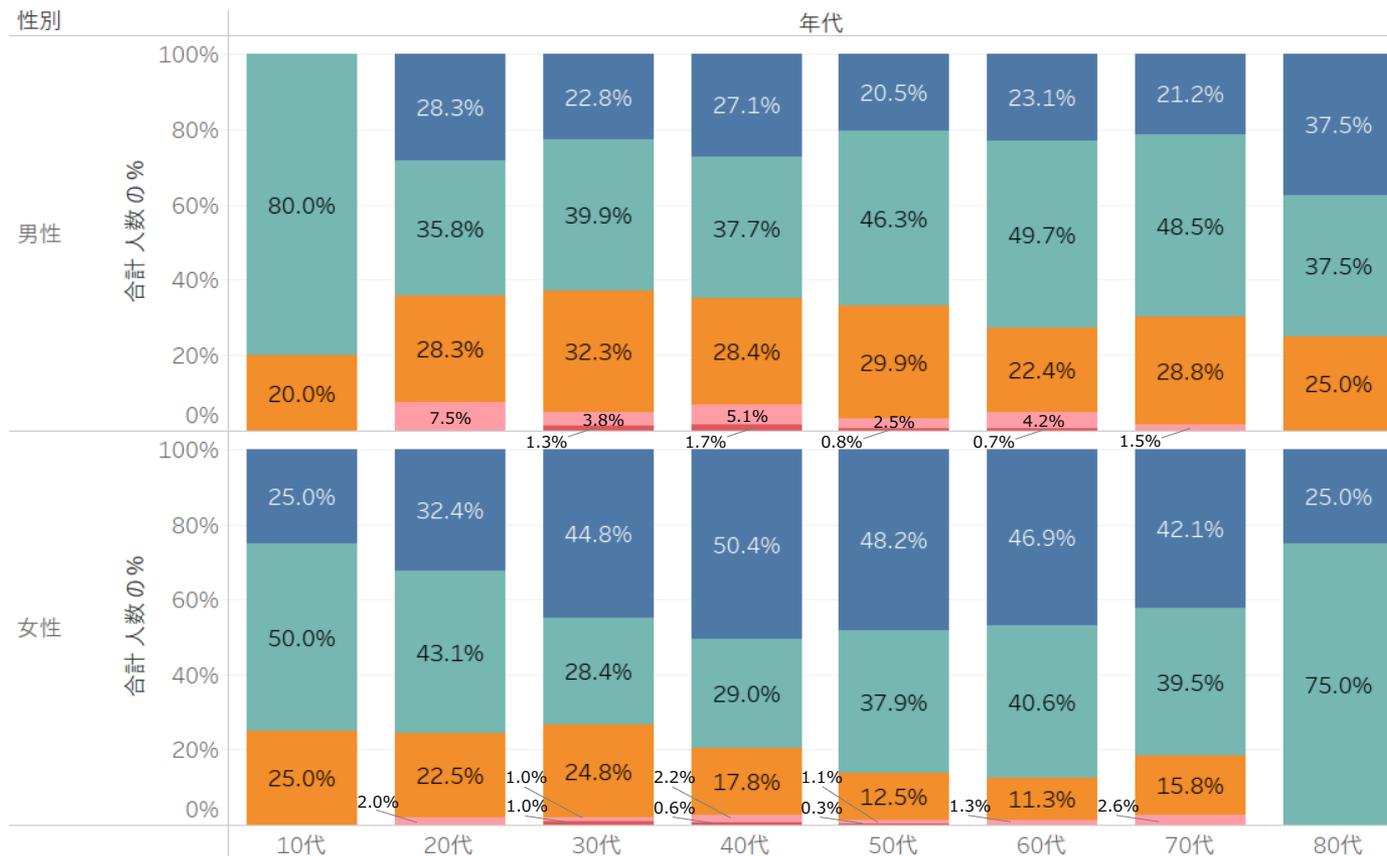
- 1 男性の方が分擔が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分擔が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分擔が少ないように感じる
- 5 女性の方が分擔が少ないように感じる

男女の家事・育児・介護分担

53. 家庭での男女の育児分担は平等になっていると思いますか

家事分担と傾向は似ているが、平等と感じる割合は40代から特に男女差が広がっている

性別×年代



- 1 男性の方が分担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
- 5 女性の方が分担が少ないように感じる

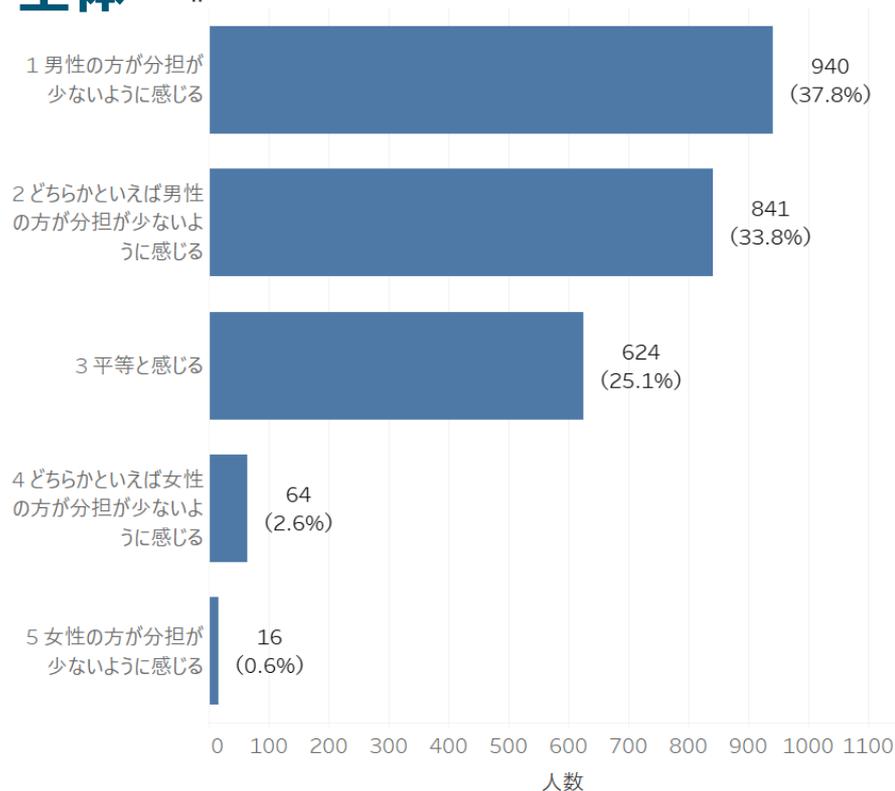
※ 性別「回答しない」を除く
 ※ 10代、80代は回答人数が少ないため参考値

男女の家事・育児・介護分擔

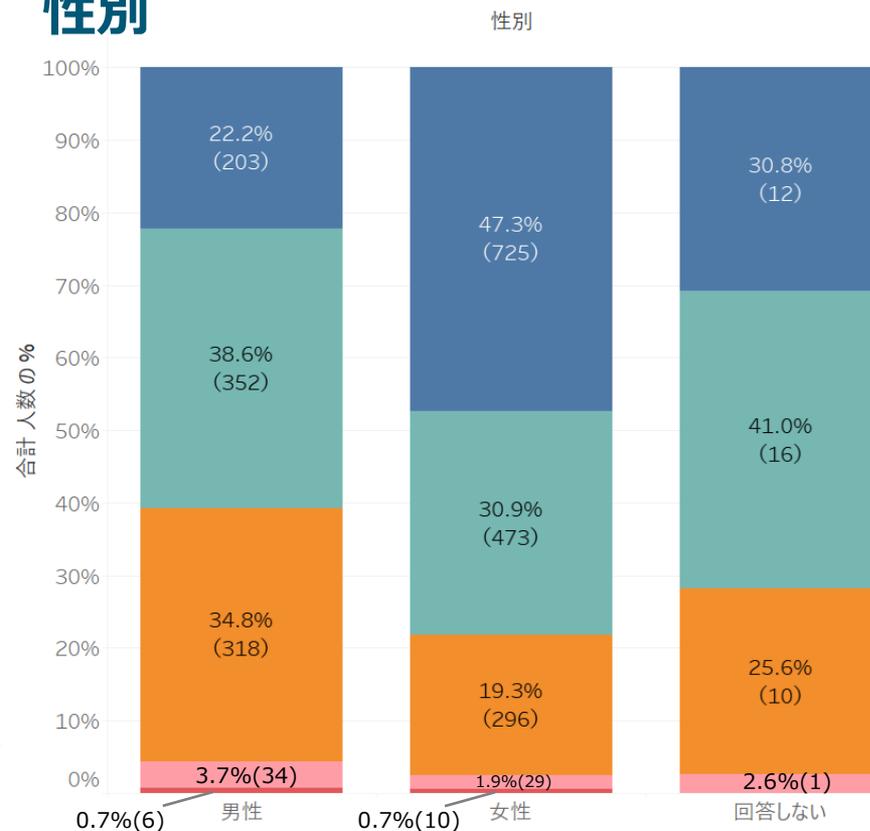
54. 家庭での男女の介護分擔は平等になっていると思いますか

- 全体では「男性の方が分擔が少ないように感じる」が最も多く37.8%
- 次いで「どちらかといえば男性の方が分擔が少ないように感じる」が多く33.8%

全体



性別

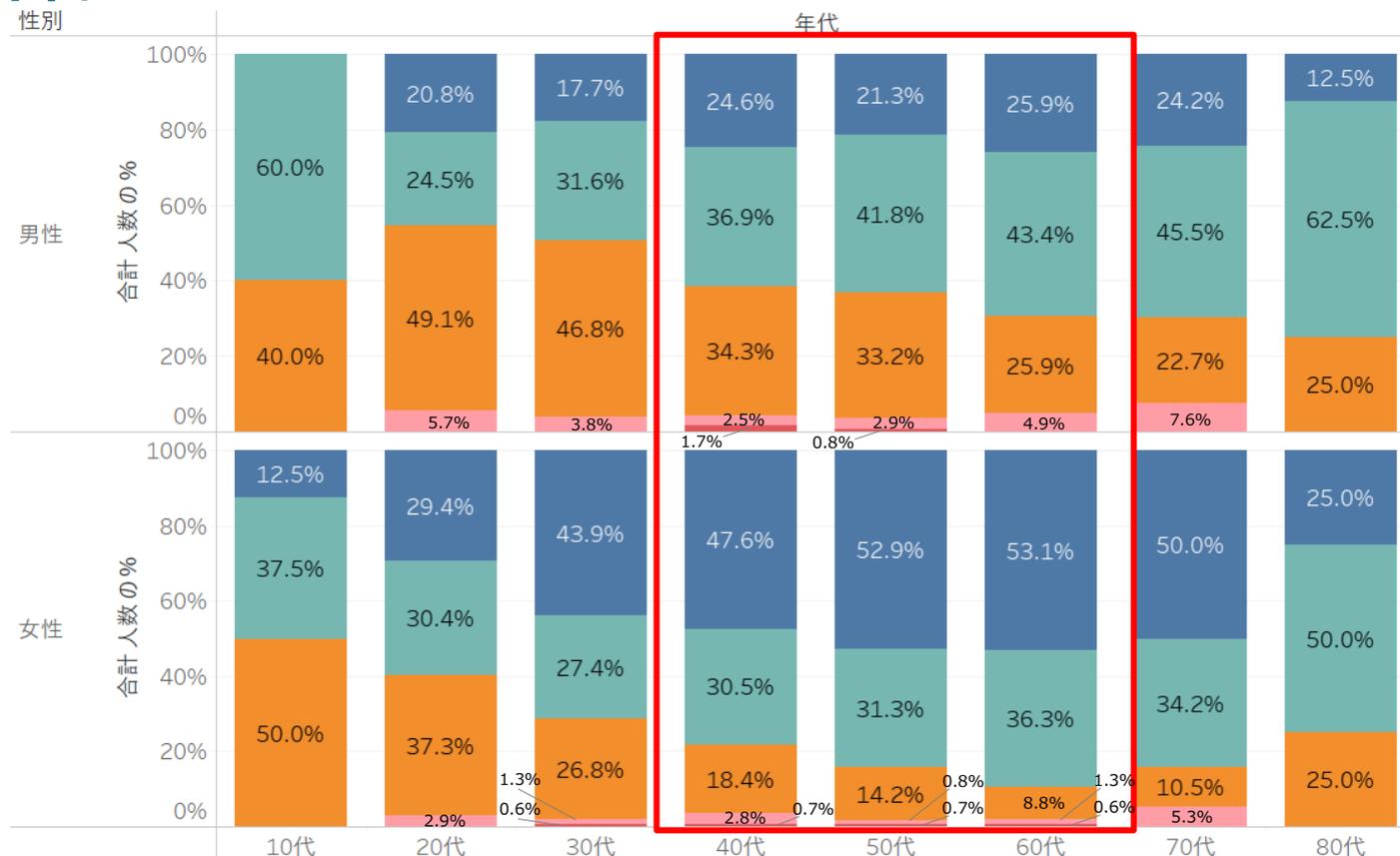


男女の家事・育児・介護分担

54. 家庭での男女の介護分担は平等になっていると思いますか

- ・ 介護をしている割合が高い40～60代において、特に女性の「平等と感じる」割合が下がる
- ・ 家事・育児に比べて40～60代の男女差が大きい

性別×年代



- 1 男性の方が分担が少ないように感じる
- 2 どちらかといえば男性の方が分担が少ないように感じる
- 3 平等と感じる
- 4 どちらかといえば女性の方が分担が少ないように感じる
- 5 女性の方が分担が少ないように感じる

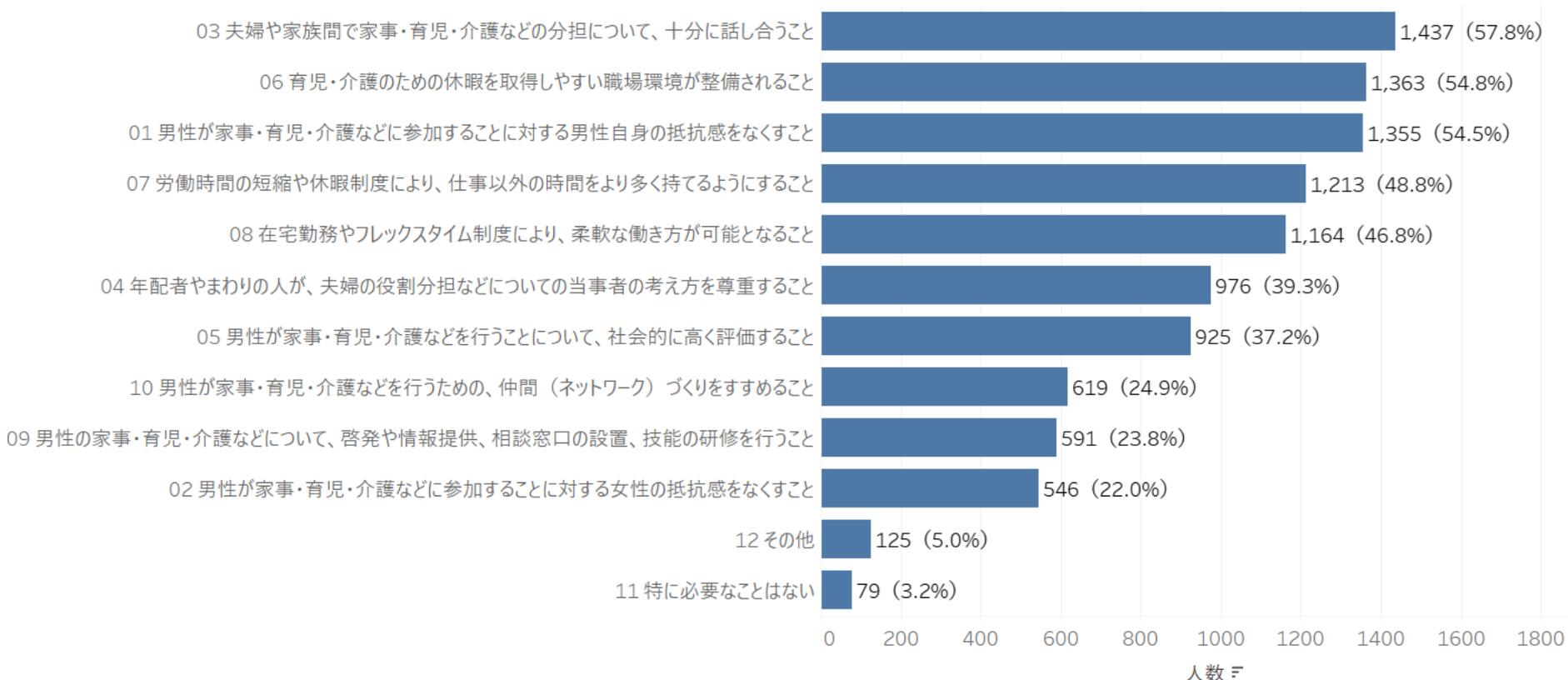
※ 性別「回答しない」を除く
 ※ 10代、80代は回答人数が少ないため参考値

男女の家事・育児・介護分担

55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

- 「夫婦や家族間で家事・育児・介護などの分担について、十分に話し合うこと」が最も多く57.8%
- 次いで「育児・介護のための休暇を取得しやすい職場環境が整備されること」が54.8%

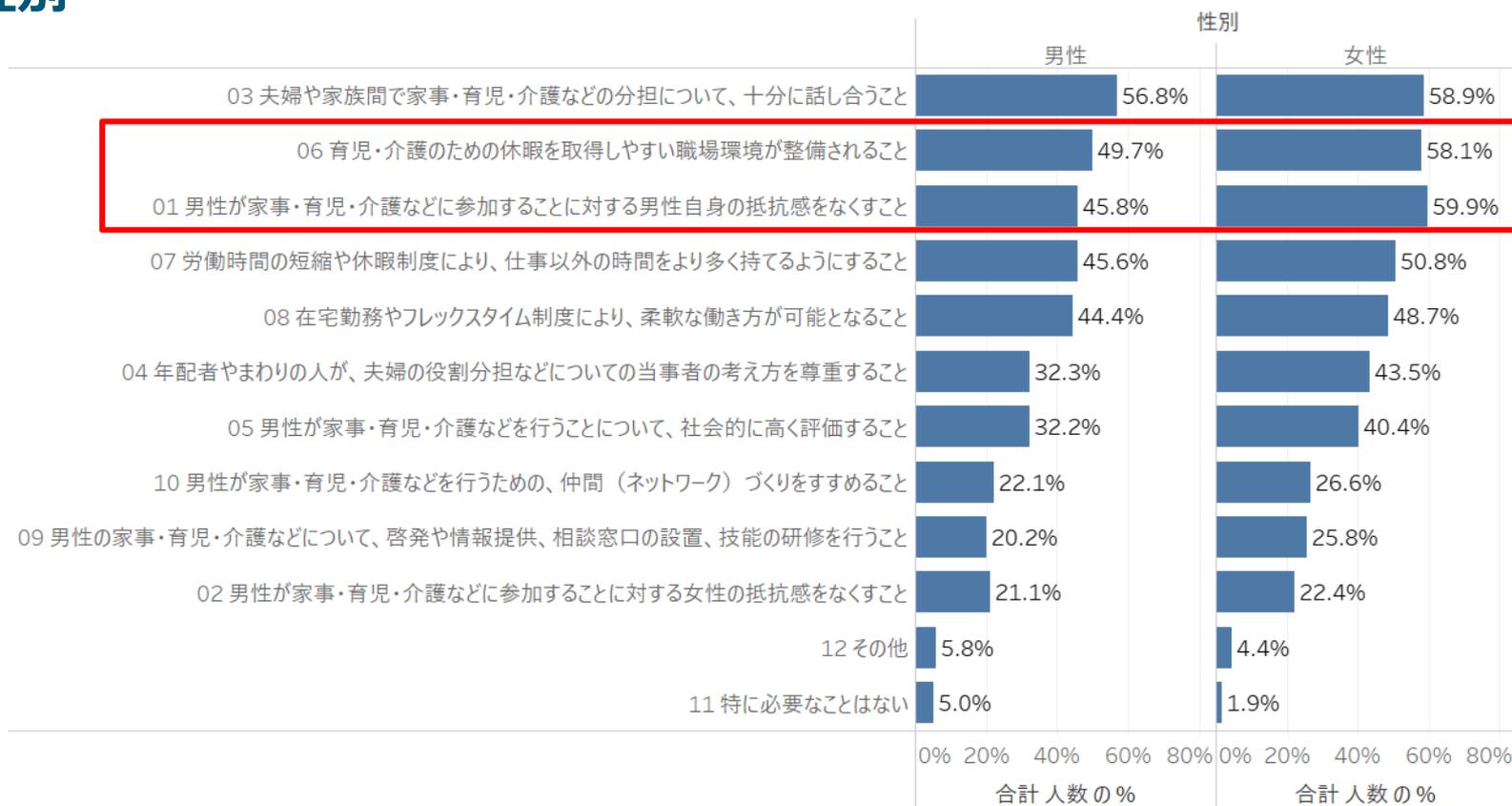
全体



55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

女性は上位3つの選択割合が同程度。そのうち職場環境の整備と男性自身の抵抗感をなくすことについては男性よりも選択割合が高い。

性別



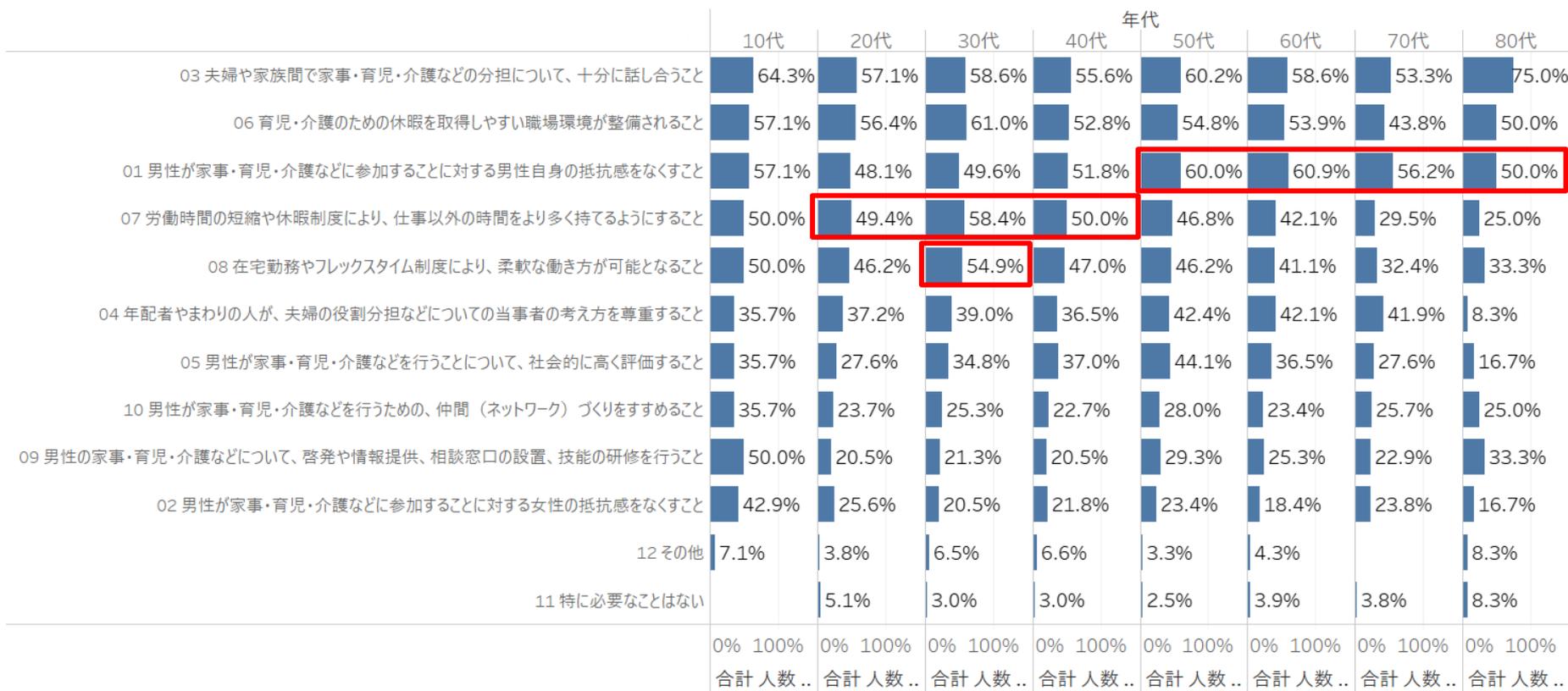
※ 性別「回答しない」を除く

男女の家事・育児・介護分担

55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

- 50代以上は意識の変化を求める声が多い傾向がある
- 一方で30代を中心とした世代は、労働時間の短縮や制度の改革などを求める声が多い

年代



※10代、80代は回答人数が少ないため参考値



男女の家事・育児・介護分担

55. 男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

どの年代においても意識改革と経済的支援を求める声があがっている。回答項目の「男性の抵抗感をなくす」よりもさらに、参加を「当たり前」とする意識改革の必要性を訴える人と、経済的理由から仕事を減らしてまで参加しづらい人がいることがうかがえる。

その他（自由記述）※生成AIによる傾向整理

生成AIを用いて30-50代の自由記述回答に記入されたキーワードを整理

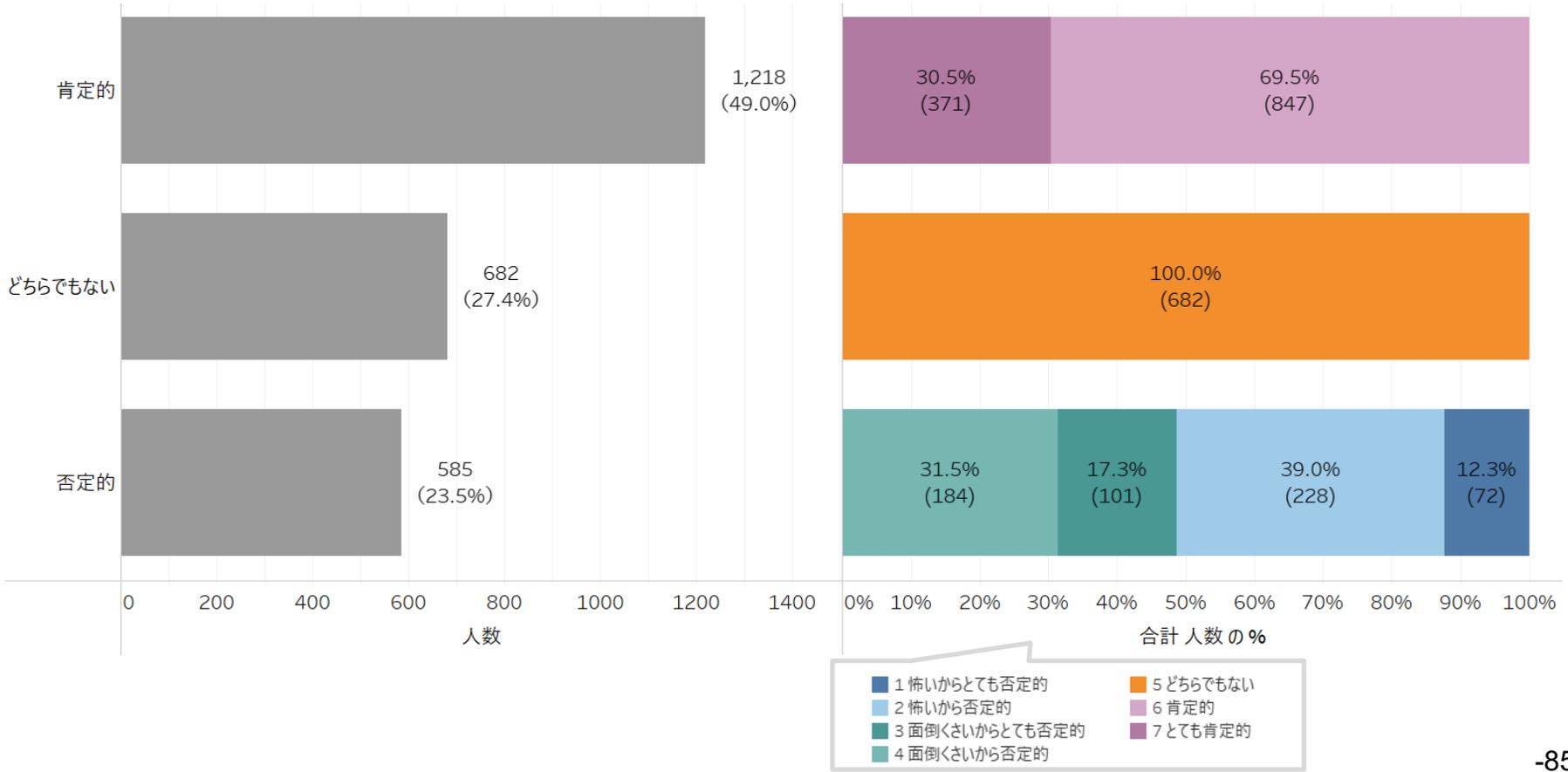
年代	性別	キーワード1	キーワード2	キーワード3	キーワード4	キーワード5	傾向のまとめ
30代	男性	経済的支援	社会的風潮の 変革	家族間の助 け合い	男性向けの 育児支援	長期間休暇 の給与保証	経済的支援と社会的風潮の変革が必要。家族間の助け合いや男性向けの育児支援も重要視。長期間休暇の給与保証も求める。
	女性	教育と意識 改革	経済的支援	社会的風潮 の変革	職場環境の 改善	家父長制の 解体	教育と意識改革、経済的支援、社会的風潮の変革が必要。職場環境の改善や家父長制の解体も求める。
40代	男性	家事・育 児・介護の 感謝	収入の安定	法的義務化	仕事の拘束 時間の減少	組織の役職 者の休暇取 得	家事・育児・介護に対する感謝と収入の安定が重要。法的義務化や仕事の拘束時間の減少を求める意見が多い。
	女性	理想の家庭 イメージの 排除	家事・育 児・介護の 評価	意識改革	収入の安定	教育の重要 性	理想の家庭イメージの排除と家事・育児・介護の評価が重要。意識改革や収入の安定、教育の重要性を強調。
50代	男性	啓発セミ ナーの必須 化	休業保障の 必要性	男女の労働 環境の平等	家庭ごとの バランスの 重要性	男女の給与 差の解消	男女平等の労働環境と家庭内のバランスを重視し、啓発活動や休業保障の必要性を訴える意見が多い。
	女性	思考の転換	経済的なゆ とり	家事育児の 教育	男性の家事 育児参加の 評価	男性の介護 参加の意識 改革	経済的なゆとりと教育の重要性を強調し、男性の家事育児参加の評価や意識改革を求める意見が多い。

社会のデジタル化

56. デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

- 全体では「肯定的」が最も多く49.0%
- 「否定的」と回答した人の否定理由は、「怖いから」と「面倒くさいから」が半々に近かった

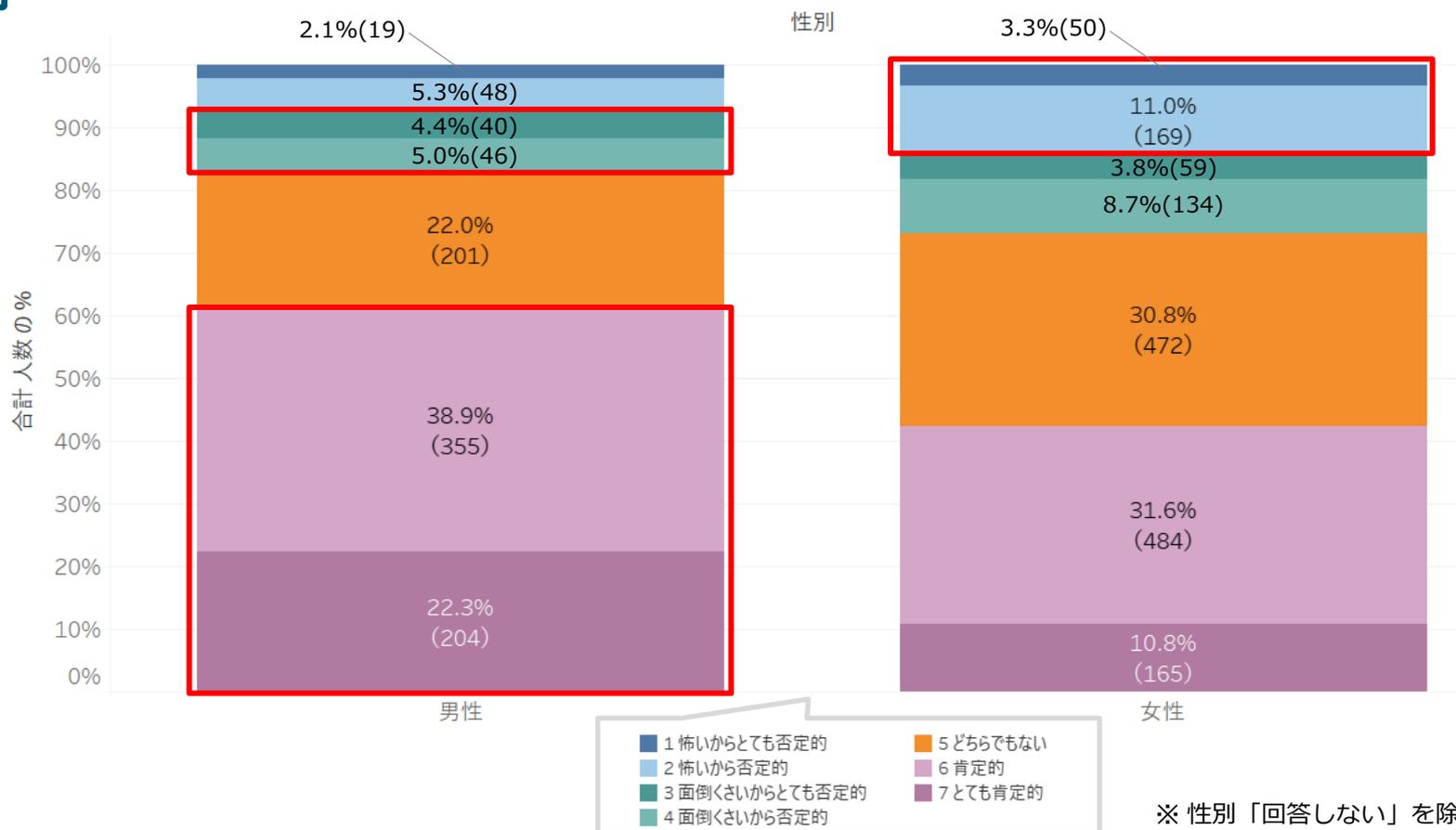
全体



56. デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

男性の方がデジタル化に肯定的な傾向。否定の理由として、男性は「面倒くさいから」の方がやや多く、女性は「怖いから」の方が多い。

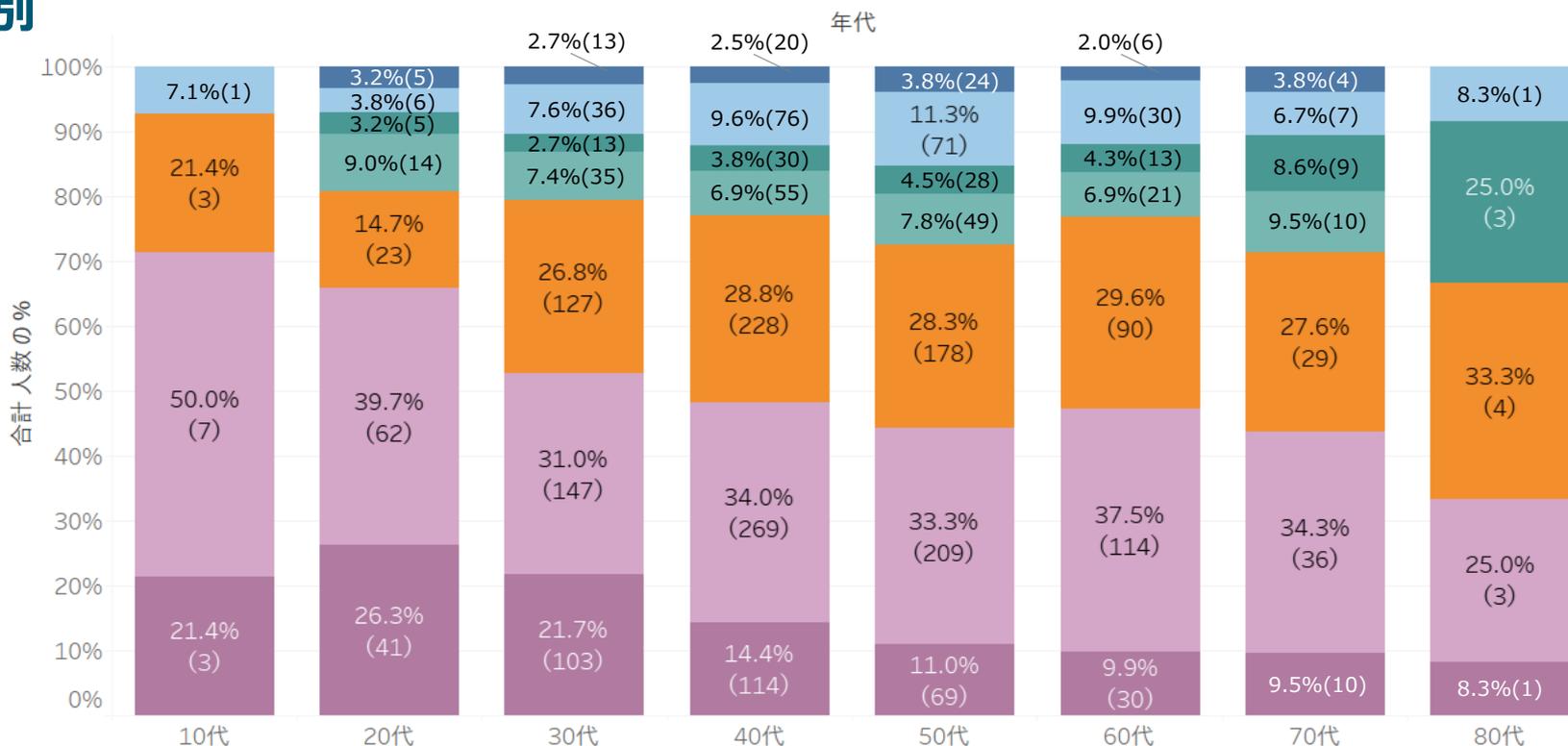
性別



56. デジタル化についてあなたの考えにあてはまるものを1つ選んでください。

若い世代の方が肯定的な傾向はあるものの、年代が上がるにつれて否定派が大きく増えるというわけでもない。「面倒くさいから否定的」はどの年代にも一定数おり、「怖いから（とても）否定的」という人は50代において割合が高い。

性別

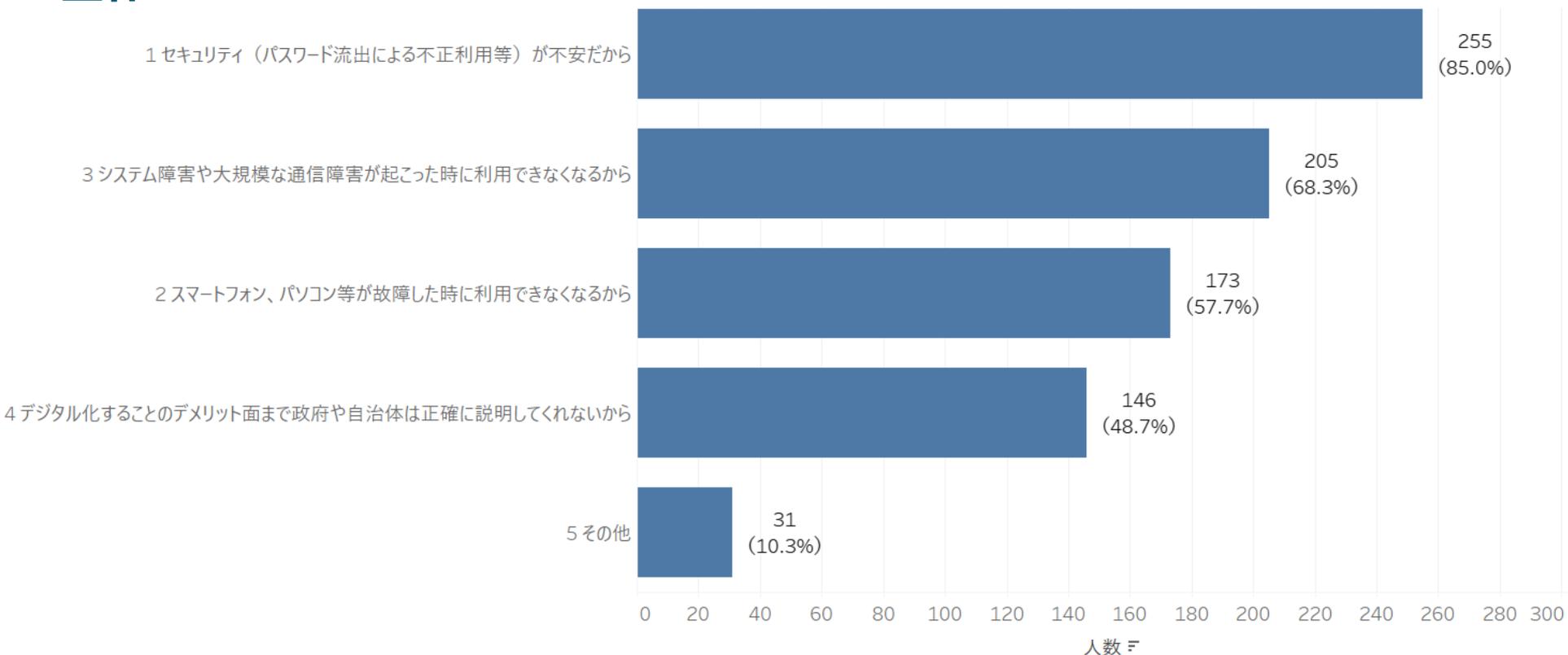


- 1 怖いからとても否定的
- 2 怖いから否定的
- 3 面倒くさいからとても否定的
- 4 面倒くさいから否定的
- 5 どちらでもない
- 6 肯定的
- 7 とても肯定的

57. 設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

「セキュリティ（パスワード流出による不正利用等）が不安だから」が最も多く、設問56で「怖いから」を選択した人の85.0%が理由として選択している。

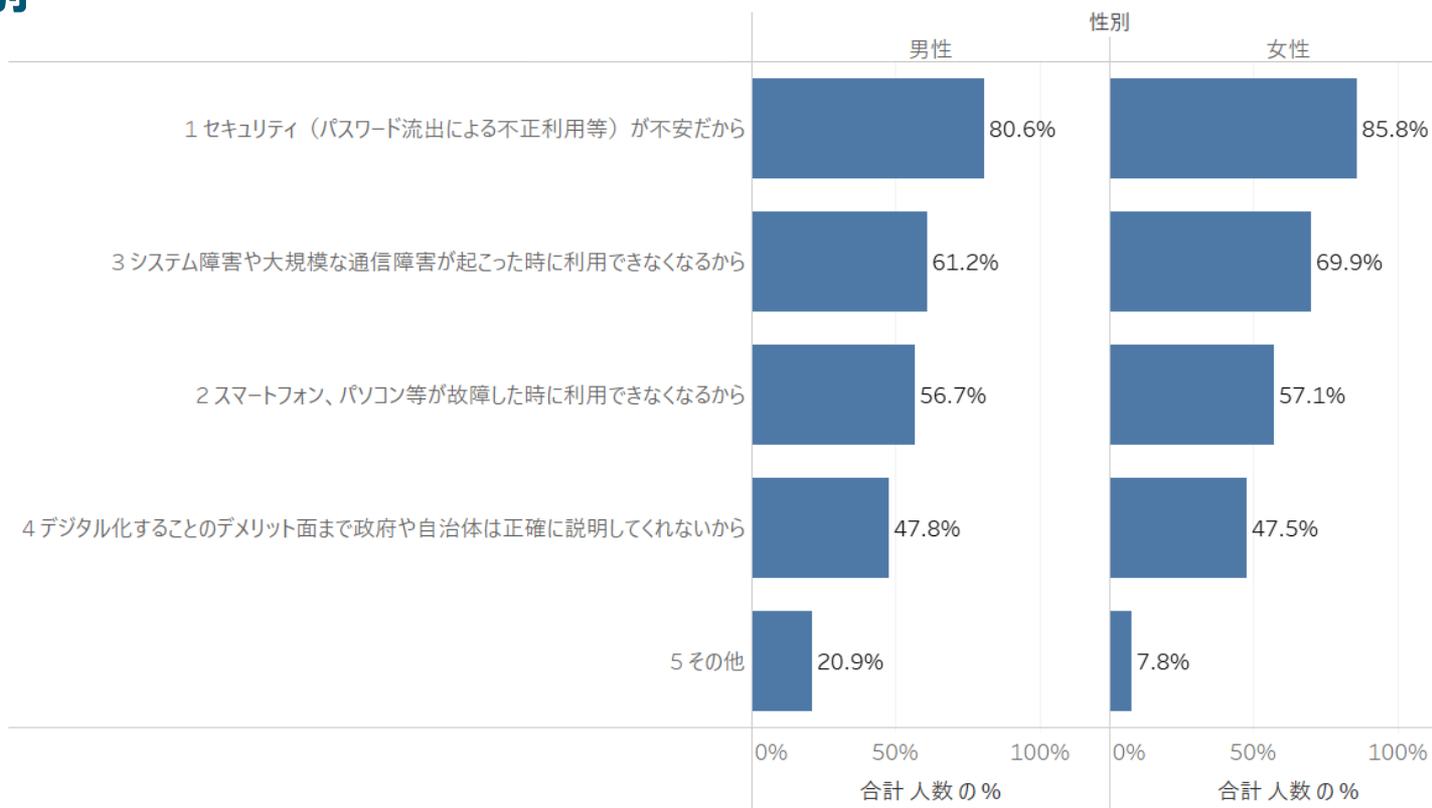
全体



57. 設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

性別ごとに比較しても、大きな傾向は全体と同様。女性の方がセキュリティに対する不安がやや高い。

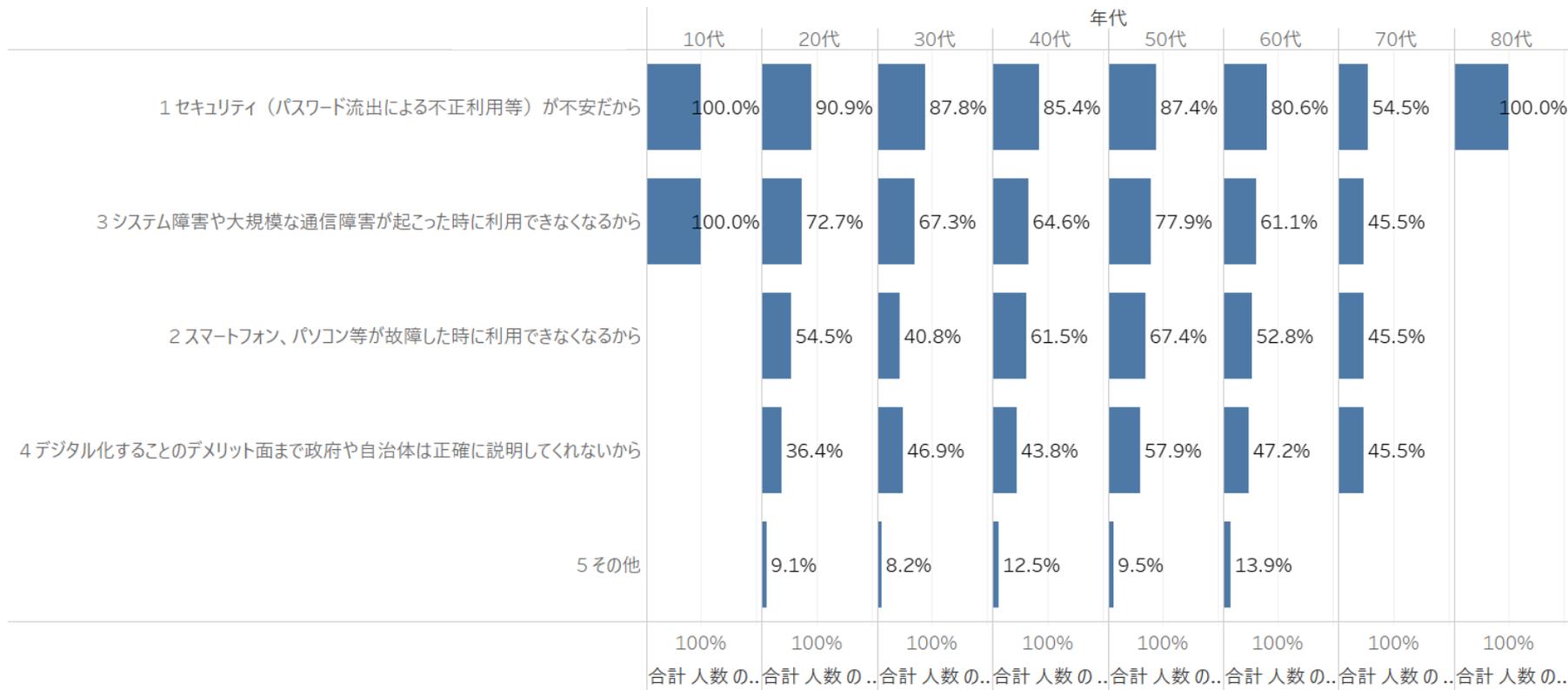
性別



57. 設問56について「怖いから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

セキュリティに対する不安は、どの年代においてもデジタル化が怖いと感じる一番の理由になっている。利用できなくなることに對する怖さを感じている人の割合が次に高い。

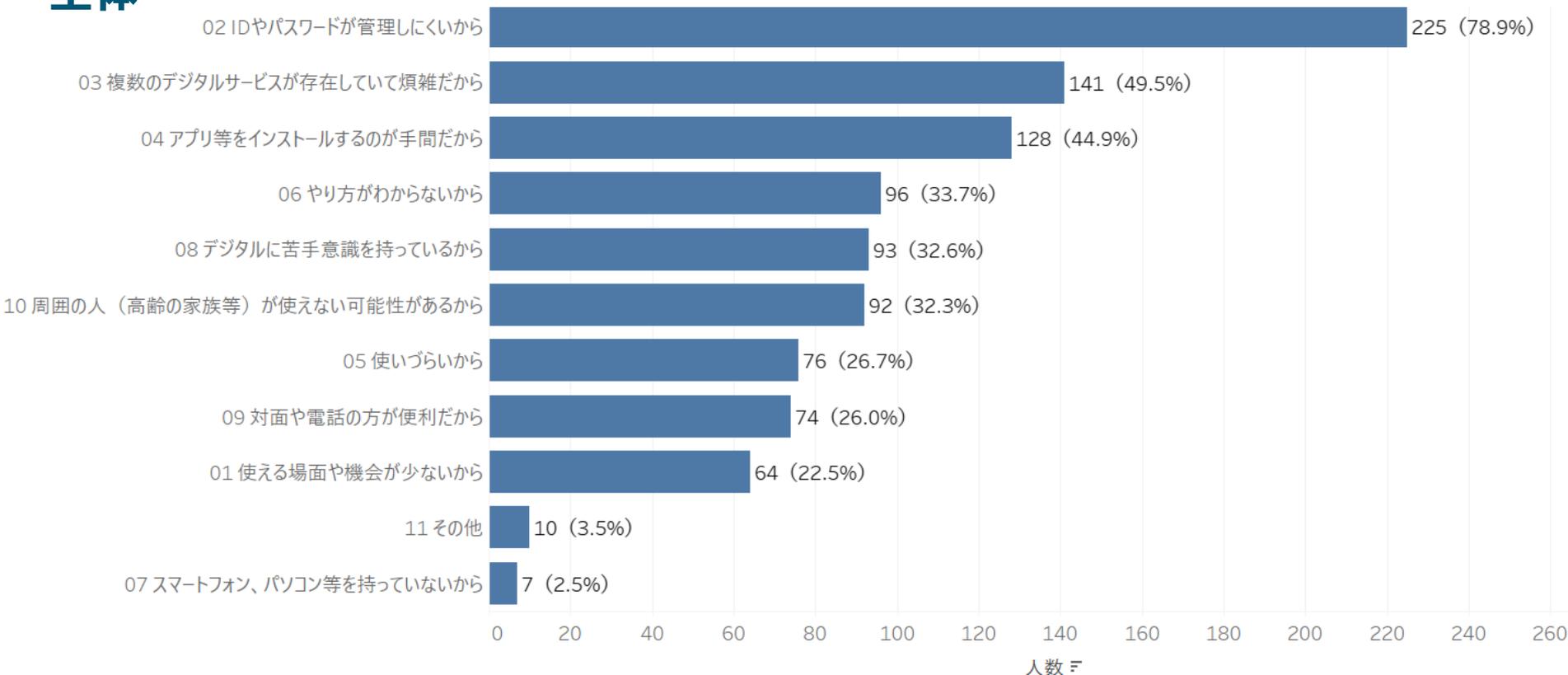
年代



58. 設問56について「面倒くさいから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

「IDやパスワードが管理しにくいから」が最も多く、設問56で「面倒くさいから」を選択した人の78.9%が理由として選択している。

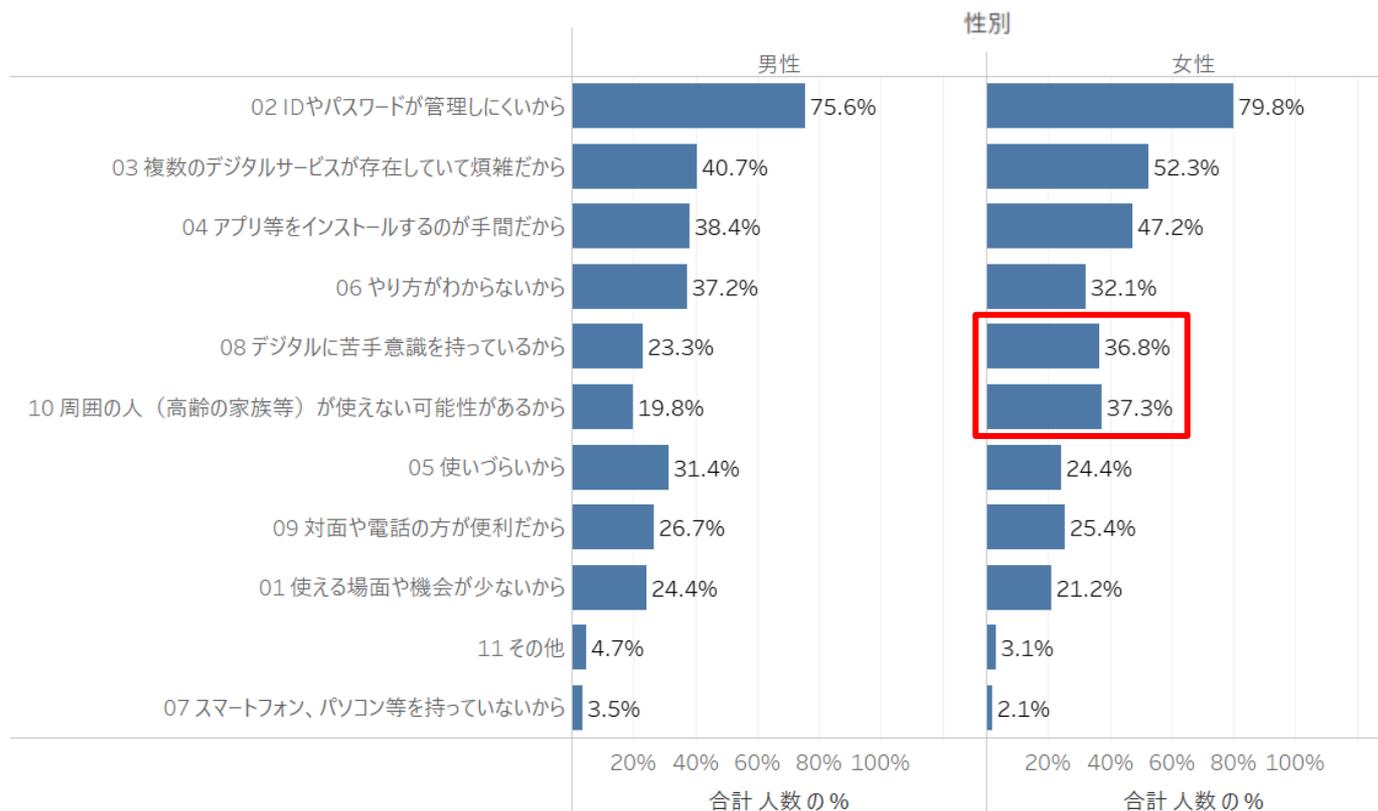
全体



58. 設問56について「面倒くさいから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

男性に比べ、女性の方がデジタル化に対する苦手意識が強い傾向く、周囲の家族等が使えないことに対する懸念も強い。

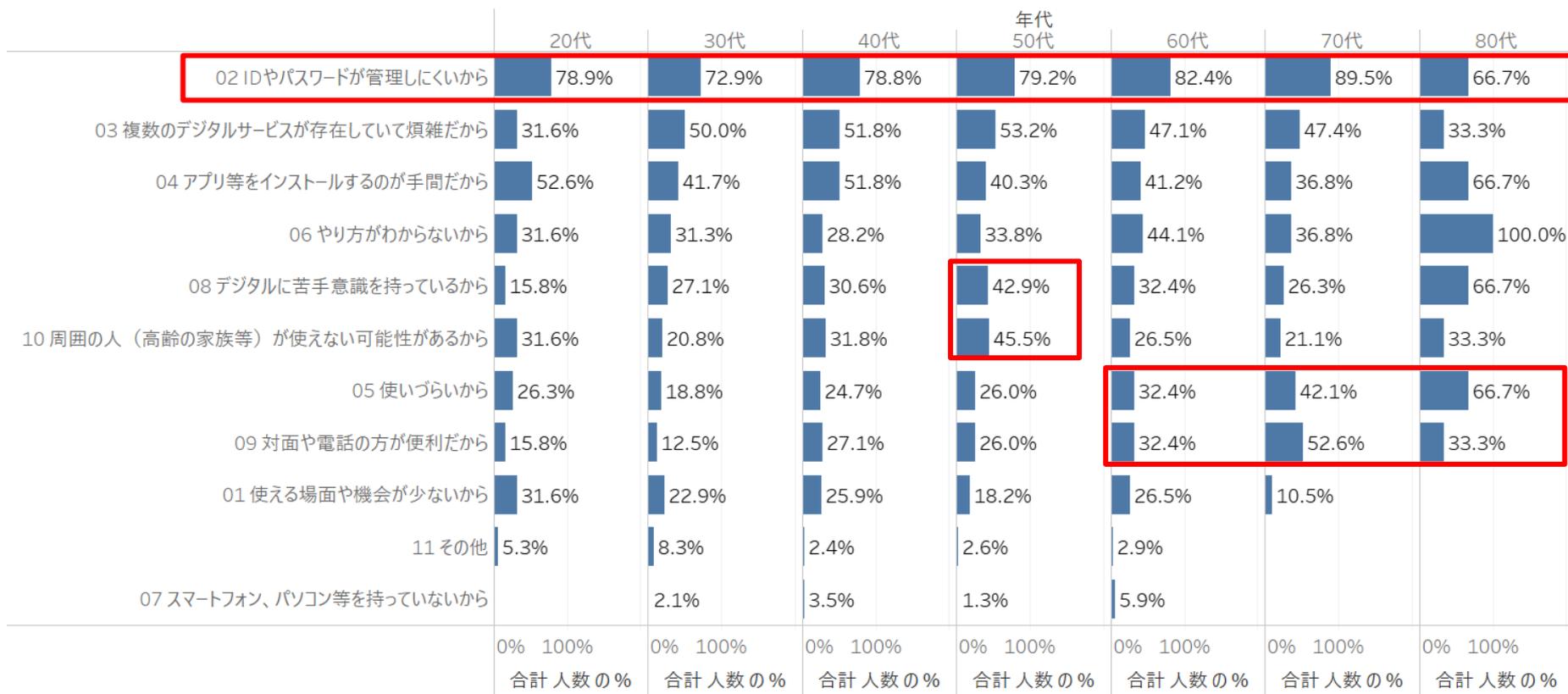
性別



58. 設問56について「面倒くさいから」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

- IDパスワードの管理はどの世代においても課題になっている
- 50代はデジタルへの苦手意識、60代以降は既存の対面や電話の方が便利と感じている傾向にある

年代

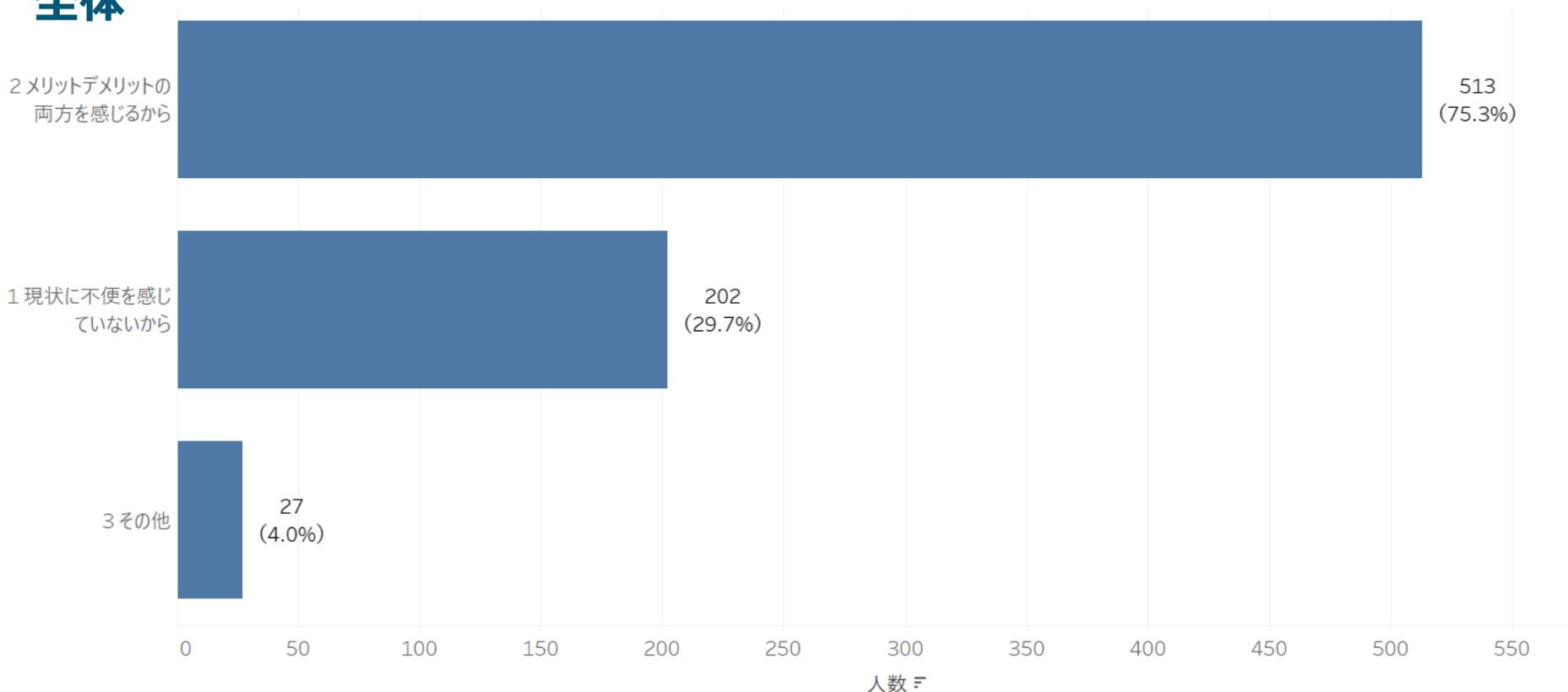


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

59. 設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

「メリットデメリットの両方を感じるから」が最も多く、設問56で「どちらでもない」を選択した人の75.3%が理由として選択している。不便を感じていないわけではないが、デジタル化のデメリットも感じるため肯定派ではない、という人が多いことがうかがえる。

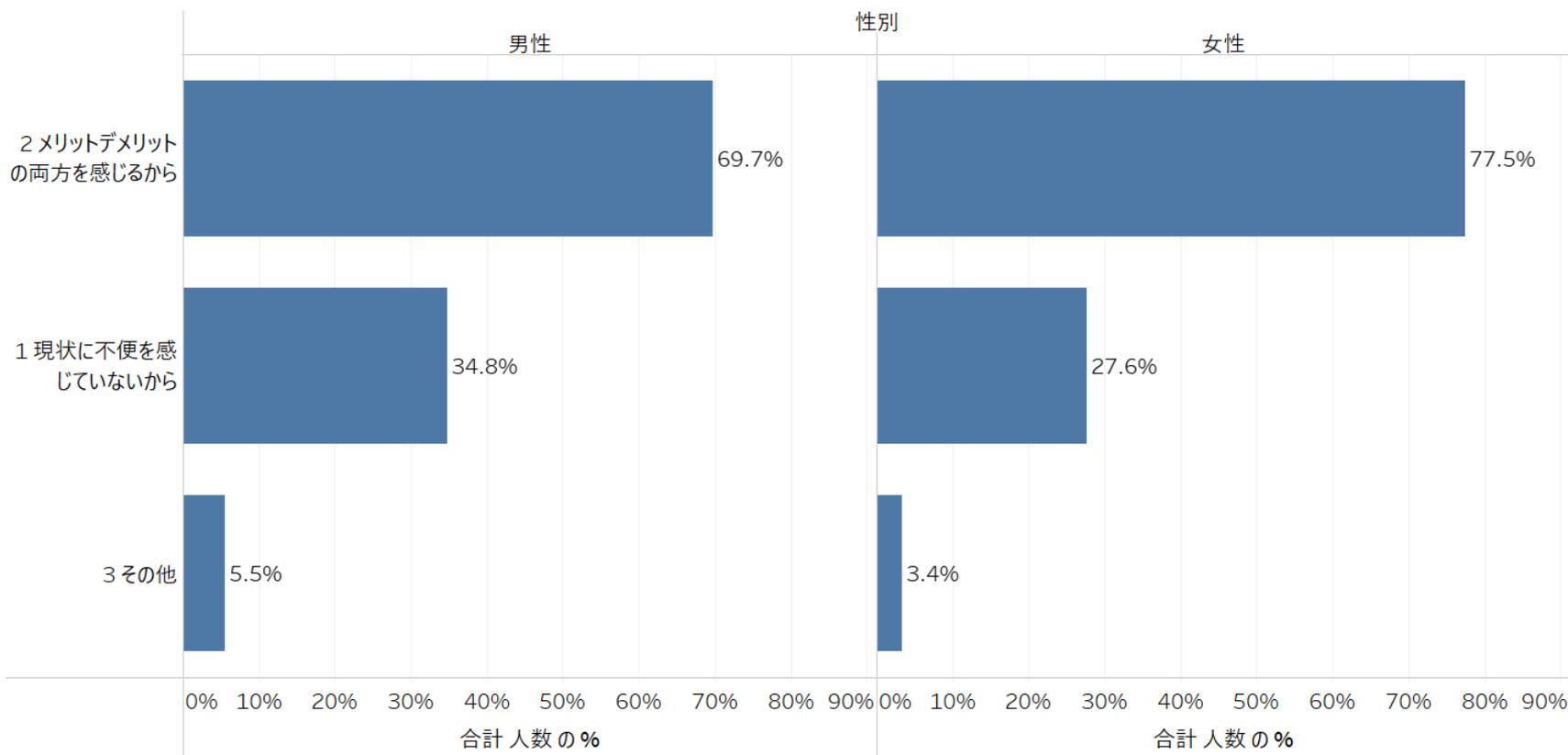
全体



59. 設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのかあなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

性別間では大きな傾向の差はなく、全体と同様に「メリットデメリットの両方を感じるから」が最も多い

性別

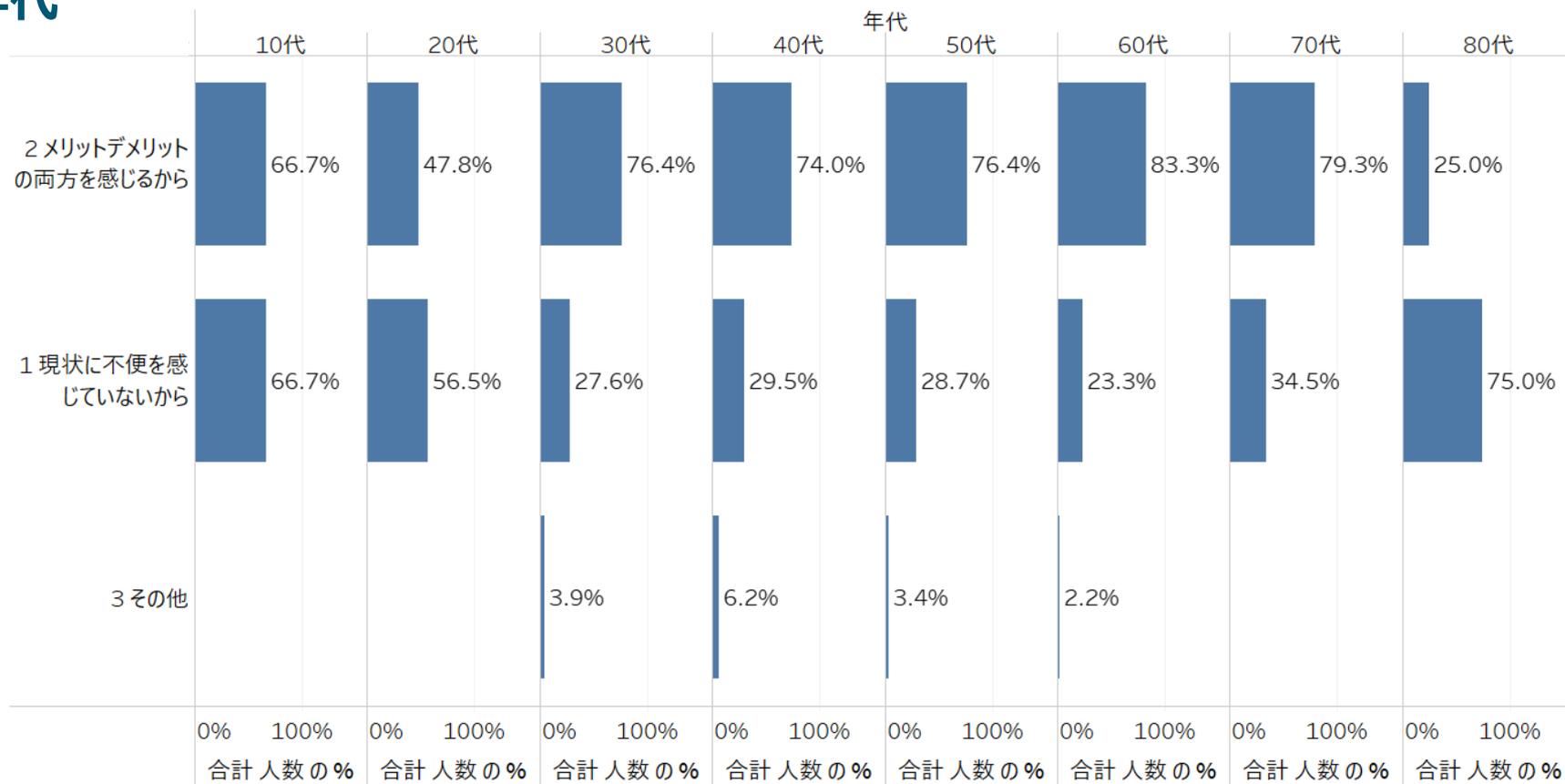


※ 性別「回答しない」を除く

59. 設問56について「どちらでもない」を選択した方。なぜそう考えているのか あなたの考えにあてはまるものを選んでください（当てはまるものを全て選択）

年代間では大きな傾向の差はなく、30代～70代における「メリットデメリットの両方を感じるから」「現状に不便を感じていないから」についての回答割合も大きな差異はない。

年代

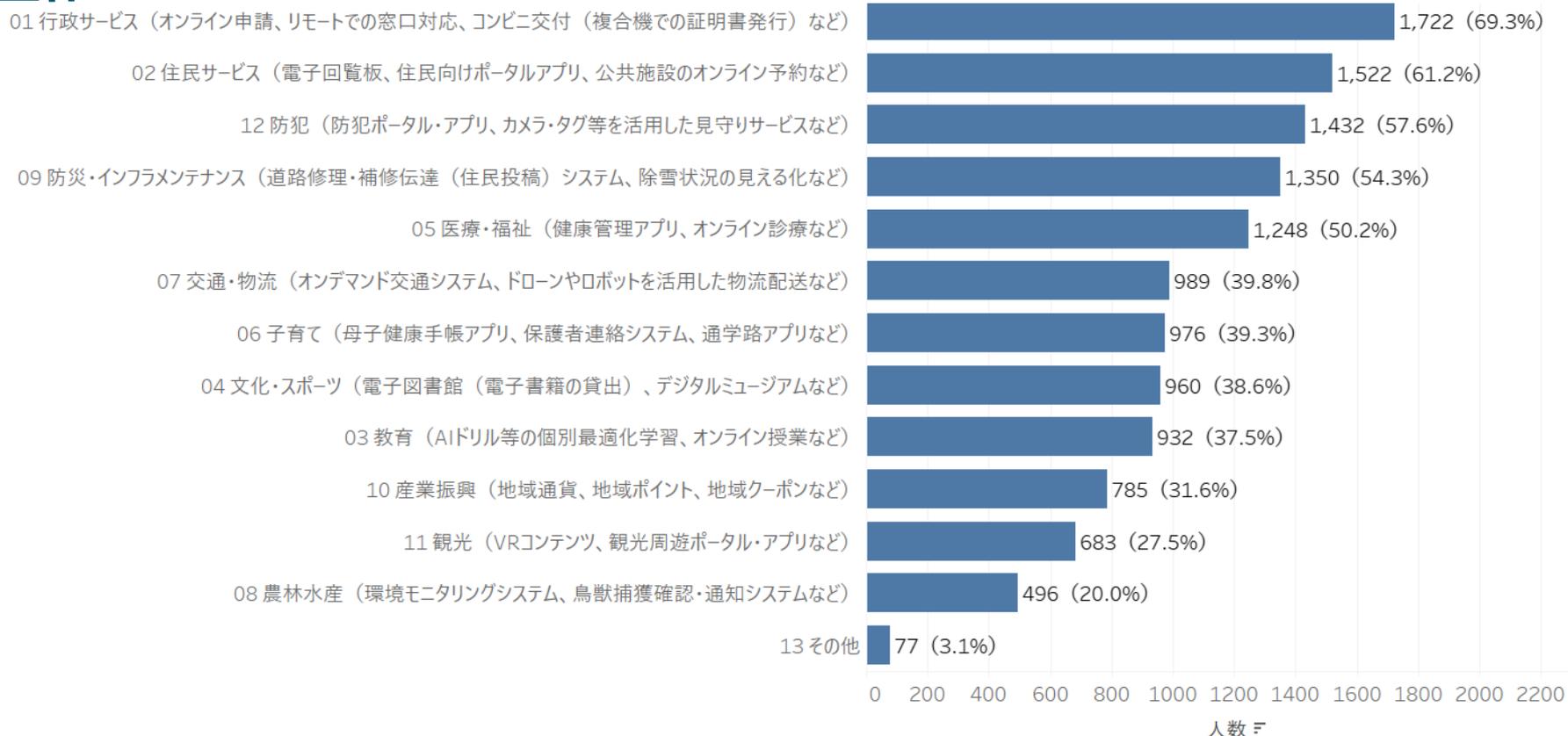


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

「行政サービス（オンライン申請、リモートでの窓口対応、コンビニ交付（複合機での証明書発行）など）」が最も多く69.3%

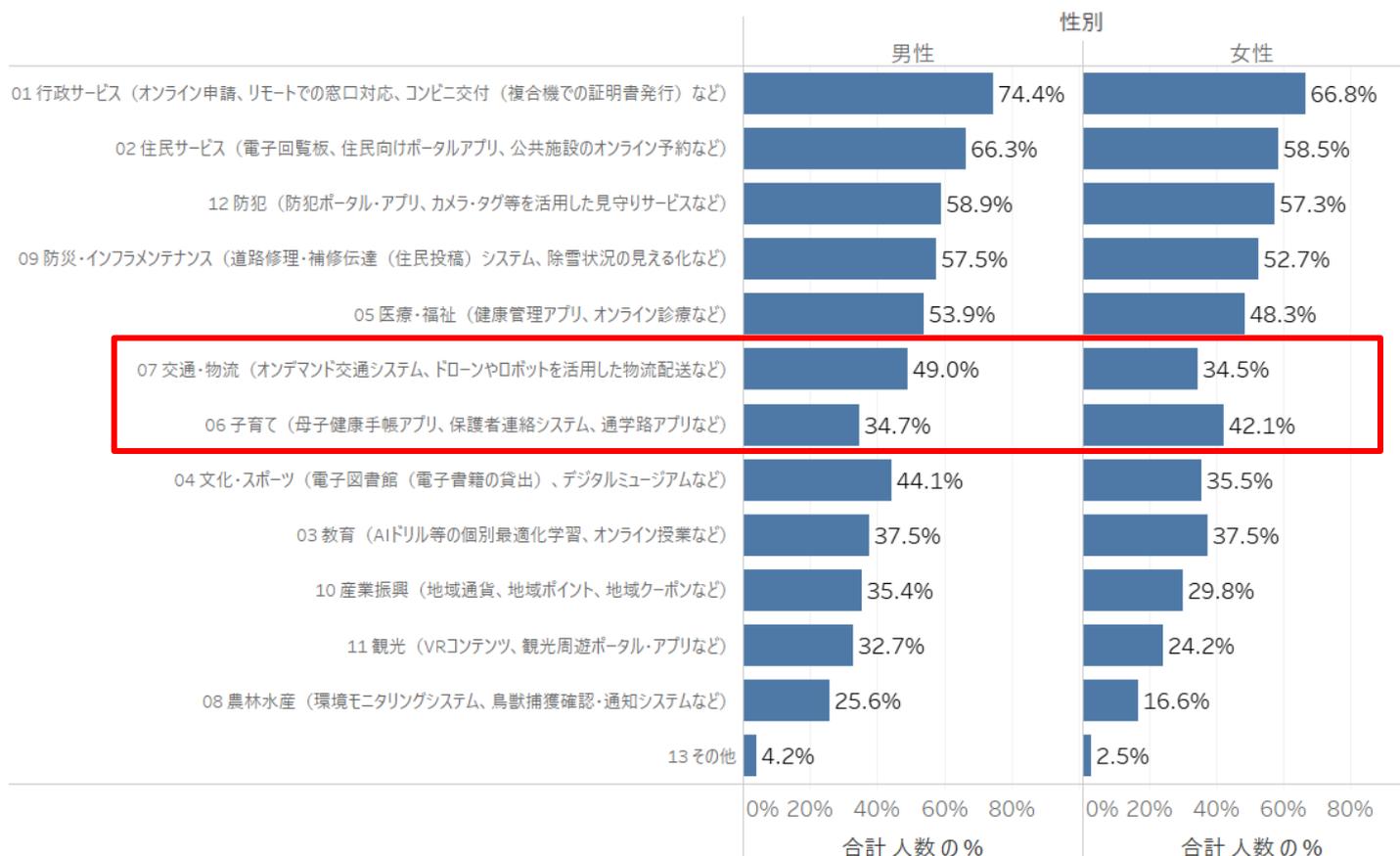
全体



60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

交通・物流系のデジタル化は男性の方が関心が高く、子育て分野では女性の方が関心が高い傾向にある。それぞれ生活の中で関わりが多い分野のデジタル化を期待しているともとれる。

性別

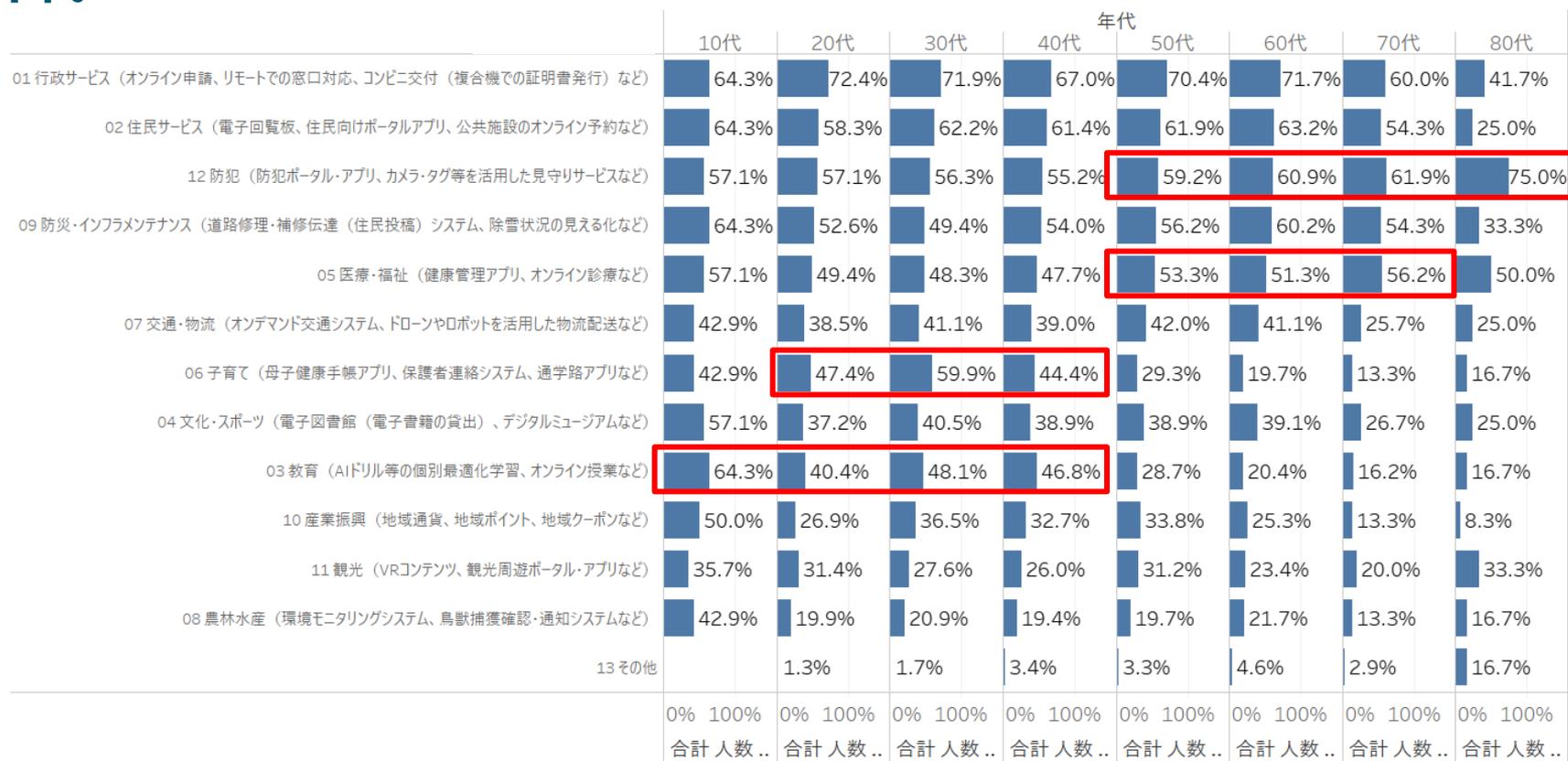


※ 性別「回答しない」を除く

60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

年代ごとに傾向が分かれる分野もあり、防犯や医療系は50代以上、子育て系は20-40代、教育系は10-40代の関心が高い。

年代



※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

60. あなたが使いたいデジタルサービス分野を選択してください（当てはまるものを全て選択）

その他（自由記述） ※生成AIによる傾向整理

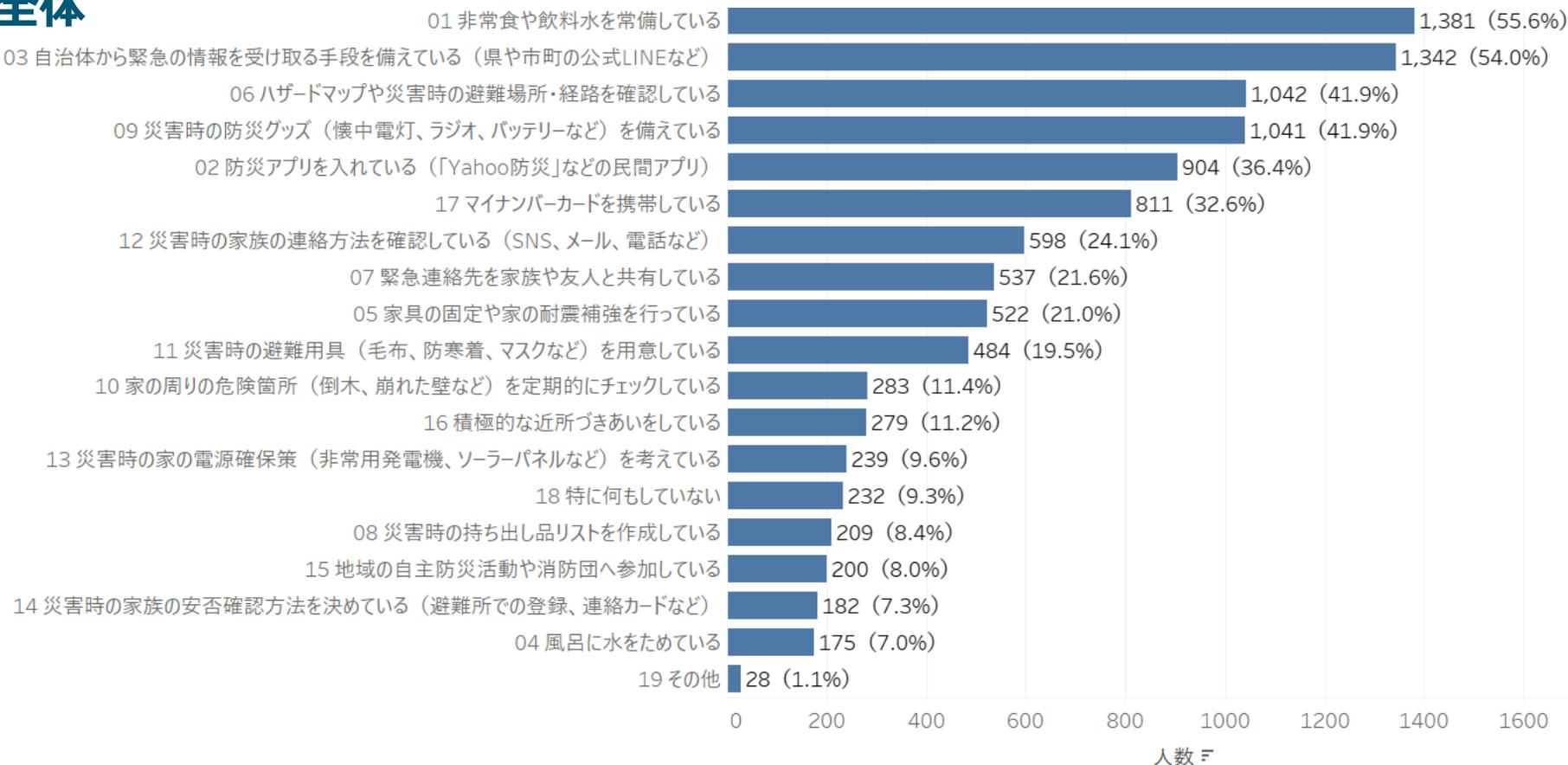
生成AIを用いて自由記述の意見をカテゴリ化

カテゴリ	意見
デジタル化の推進と懸念	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化が可能なものはすべてデジタル化して欲しい デジタル化自体は賛成だが、個人情報の取り扱いについてしっかりと方針を固めて欲しい デジタル機器には費用がかかるため、補助があればと思う デジタル化が進む中でアナログ的なサポートが必要 デジタル化が進むと公務員が困るため、物事が進まない可能性が高い
高齢者・弱者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のデジタルディバイドの解消を目的としたコミュニケーションツールが必要 外出できない老人にVRやゲームを推進して認知機能を上げて欲しい 操作が難しいため、年寄りには優しくない
安全・防犯	<ul style="list-style-type: none"> 女性と子どもの防犯にデジタル機器を活用して欲しい 性犯罪者・フェミサイドのGPS分布を見れるようにして欲しい
行政サービスのデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスをインターネットで印刷できるようにして欲しい 緊急時の連絡網をデジタル化して欲しい 警察署でも証明書の発行ができるようにして欲しい 被災時に一度入力すれば全ての給付を自動で申請できるシステムが欲しい
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> アナログも残して欲しい リモートワーク 子育ての不安等を相談する窓口が欲しい 体育館や公民館の予約をウェブで行えるようにして欲しい

61. 災害に向けて日頃心掛けていたり準備していることを教えてください (当てはまるものを全て選択)

- ・ 「非常食や飲料水を常備している」が最も多く55.6%
- ・ 次いで「自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている」が54.0%

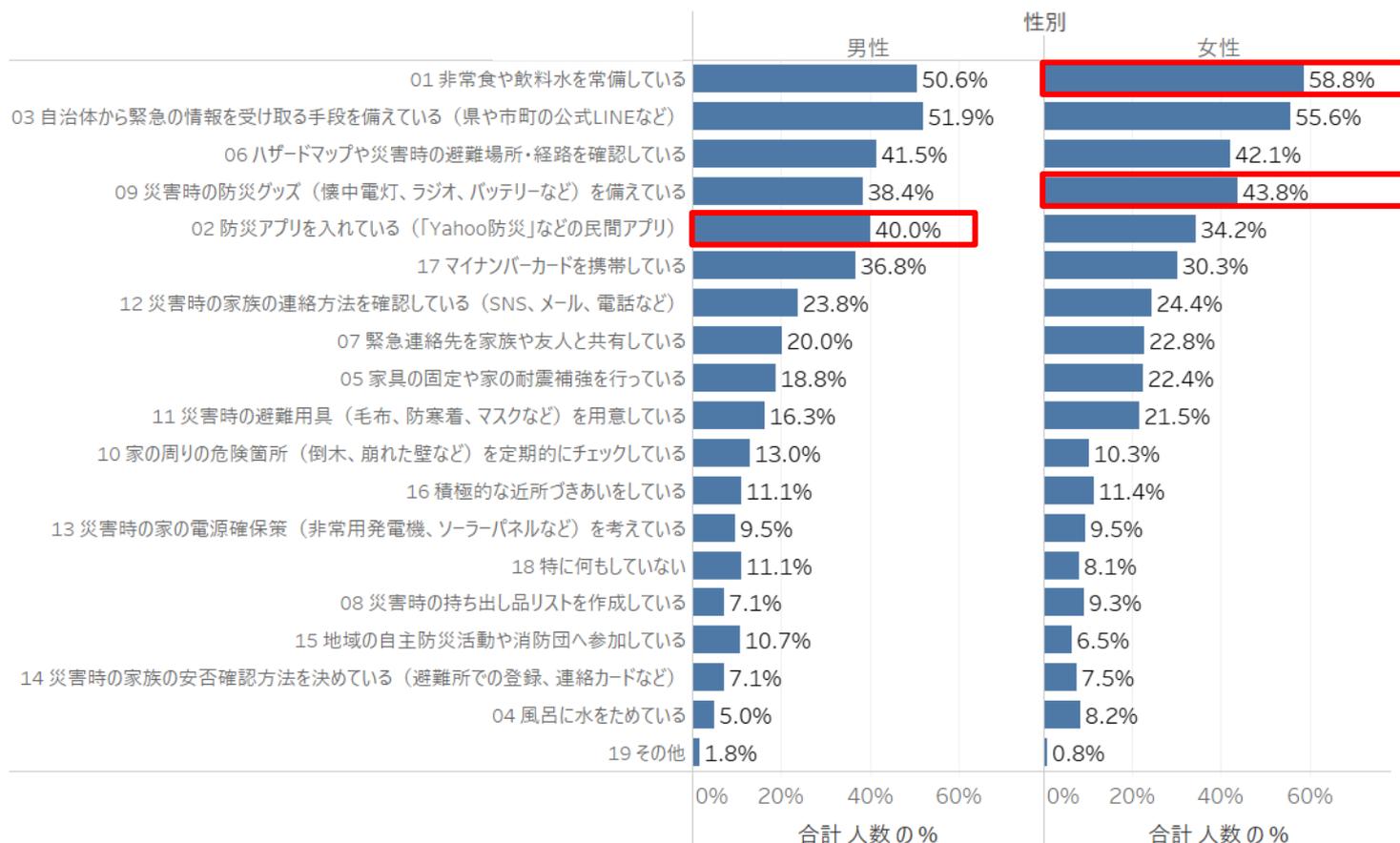
全体



61. 災害に向けて日頃心掛けていたり準備していることを教えてください (当てはまるものを全て選択)

非常食、飲料水、防災グッズなどの物の備えは女性の方が積極的に取り組み、男性は情報収集の方に比較的取り組んでいる傾向がみられる。

性別



※ 性別「回答しない」を除く

61. 災害に向けて日頃心掛けていたり準備していることを教えてください (当てはまるものを全て選択)

「非常食や飲料水を常備している」、「自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている」はどの年代でも40%以上が取り組んでいる。それ以外の項目は年代によって取り組み具合が異なり、上位5項目までは50代、60代の割合が高い傾向にある。

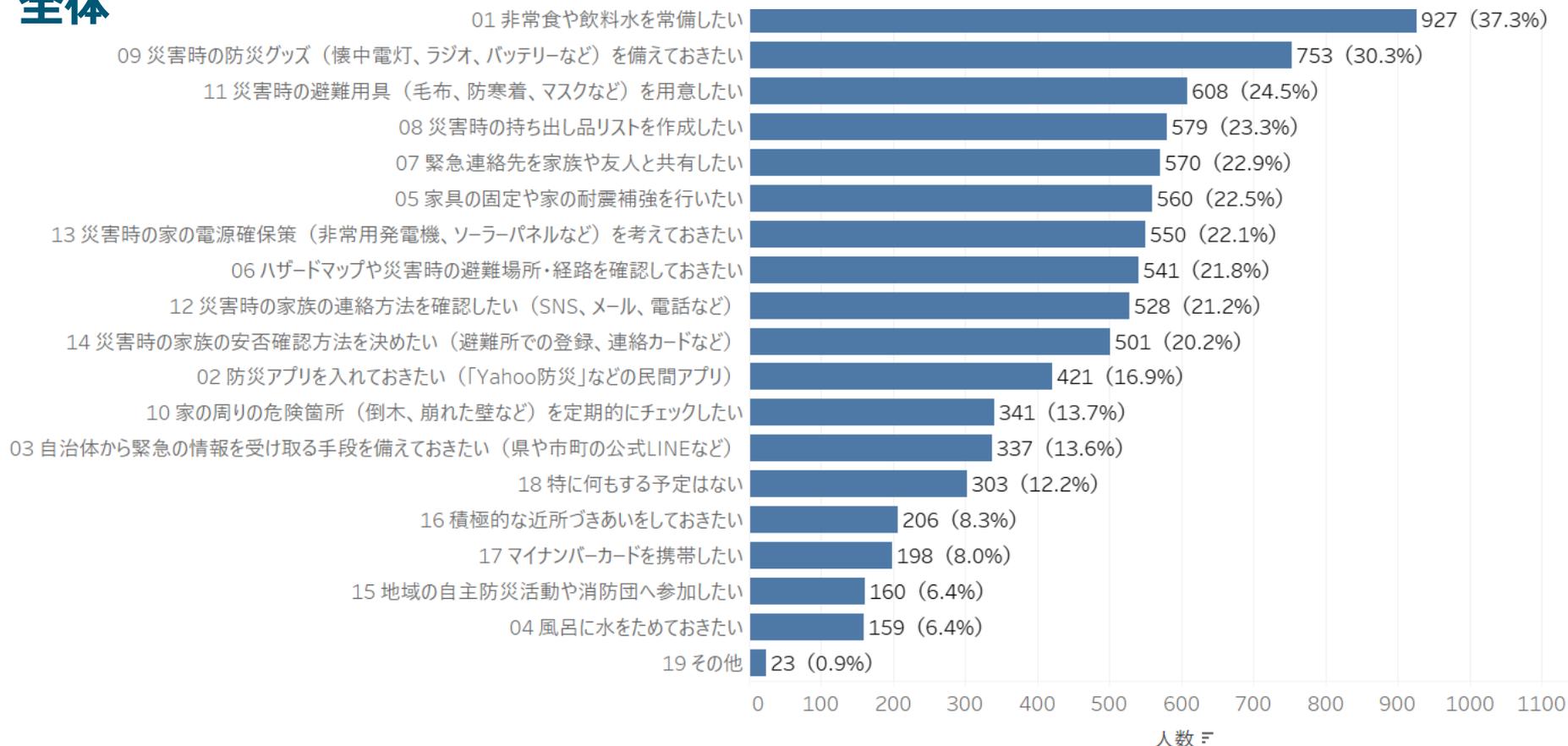
年代	年代							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
01 非常食や飲料水を常備している	42.9%	43.6%	55.7%	57.8%	56.8%	56.3%	48.6%	50.0%
03 自治体から緊急の情報を受け取る手段を備えている (県や市町の公式LINEなど)	42.9%	45.5%	51.5%	51.5%	59.1%	61.5%	47.6%	41.7%
06 ハザードマップや災害時の避難場所・経路を確認している	57.1%	26.9%	40.5%	39.6%	44.4%	52.3%	41.0%	41.7%
09 災害時の防災グッズ (懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど) を備えている	28.6%	34.0%	39.0%	40.8%	44.7%	45.7%	46.7%	58.3%
02 防災アプリを入れている (「Yahoo防災」などの民間アプリ)	35.7%	32.1%	27.2%	31.1%	44.9%	49.0%	37.1%	33.3%
17 マイナンバーカードを携帯している	21.4%	42.9%	30.2%	26.8%	34.1%	40.8%	38.1%	66.7%
12 災害時の家族の連絡方法を確認している (SNS、メール、電話など)	28.6%	21.2%	20.7%	20.3%	28.5%	27.3%	31.4%	58.3%
07 緊急連絡先を家族や友人と共有している	35.7%	30.8%	21.3%	18.3%	21.2%	26.3%	21.0%	25.0%
05 家具の固定や家の耐震補強を行っている	28.6%	16.0%	20.3%	19.9%	21.0%	26.0%	23.8%	25.0%
11 災害時の避難用具 (毛布、防寒着、マスクなど) を用意している	14.3%	14.7%	20.7%	18.4%	21.2%	20.7%	16.2%	16.7%
10 家の周りの危険箇所 (倒木、崩れた壁など) を定期的にチェックしている	7.1%	8.3%	9.9%	10.0%	12.4%	16.4%	11.4%	25.0%
16 積極的な近所づきあいをしている	21.4%	6.4%	11.8%	11.4%	9.9%	12.5%	16.2%	25.0%
13 災害時の家の電源確保策 (非常用発電機、ソーラーパネルなど) を考えている	7.1%	7.7%	9.1%	10.5%	9.7%	10.2%	6.7%	8.3%
18 特に何もしていない	14.3%	12.8%	10.5%	10.0%	8.4%	4.6%	12.4%	8.3%
08 災害時の持ち出し品リストを作成している		10.3%	9.9%	6.6%	8.3%	9.2%	12.4%	8.3%
15 地域の自主防災活動や消防団へ参加している		3.8%	8.4%	7.4%	7.8%	10.5%	13.3%	
14 災害時の家族の安否確認方法を決めている (避難所での登録、連絡カードなど)		7.7%	7.8%	6.8%	8.1%	8.9%	1.0%	
04 風呂に水をためている		3.2%	5.7%	5.7%	8.3%	11.8%	8.6%	8.3%
19 その他		0.6%	0.8%	1.0%	1.3%	1.6%	1.0%	8.3%
	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
	合計人数の..							

※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

62. これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）

- 「非常食や飲料水を常備したい」が37.3%、次いで「災害時の防災グッズ（懐中電灯、ラジオ、バッテリーなど）を備えておきたい」が30.3%
- 設問61の準備していることに対して、設問62では準備に手間やお金がかかる内容が上位にくる傾向

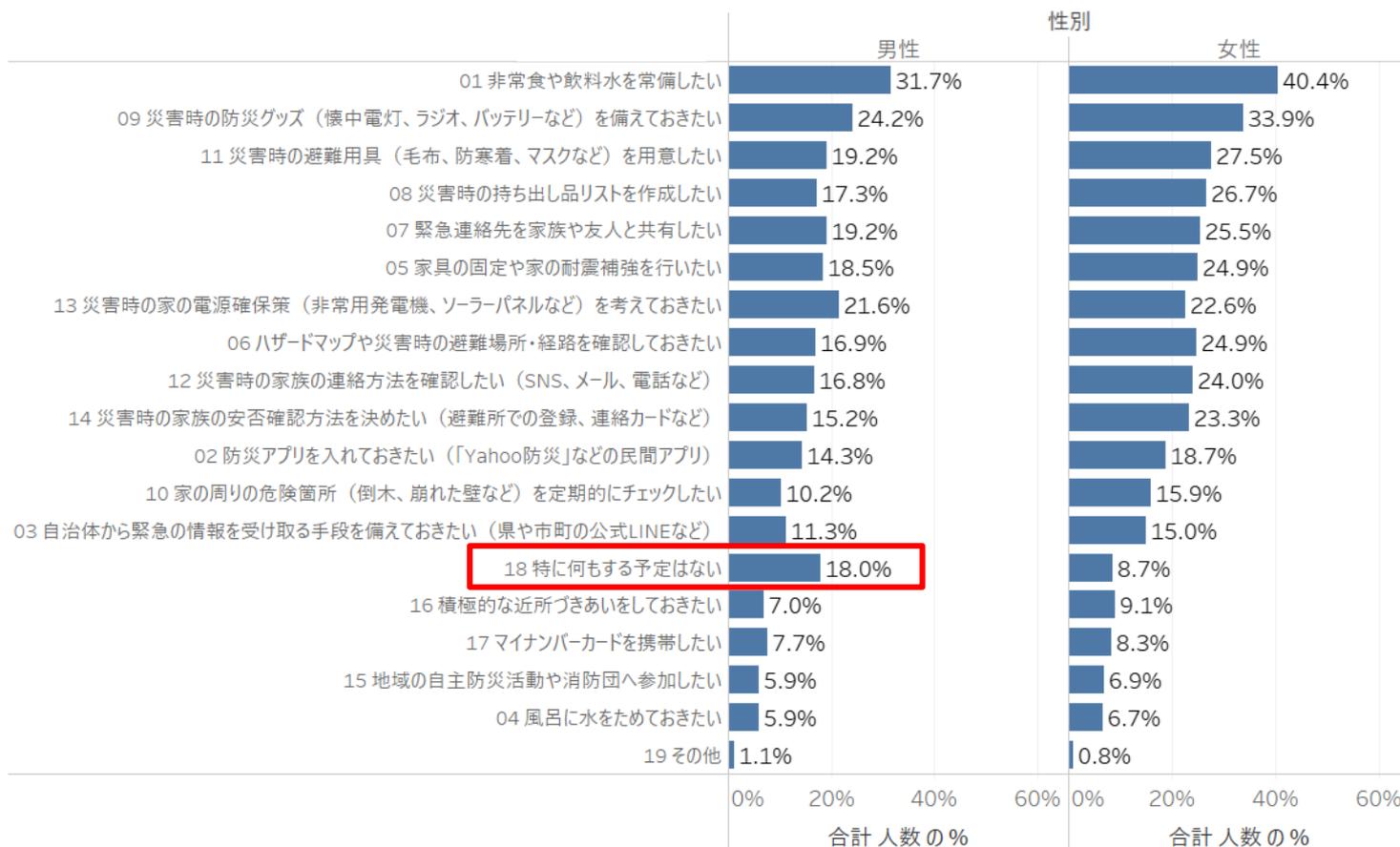
全体



62. これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）

- 全体的に女性の方が取り組みたいと考えている割合が高い
- 一方で「特に何もする予定はない」としたのは男性が18%と、女性よりも高い傾向

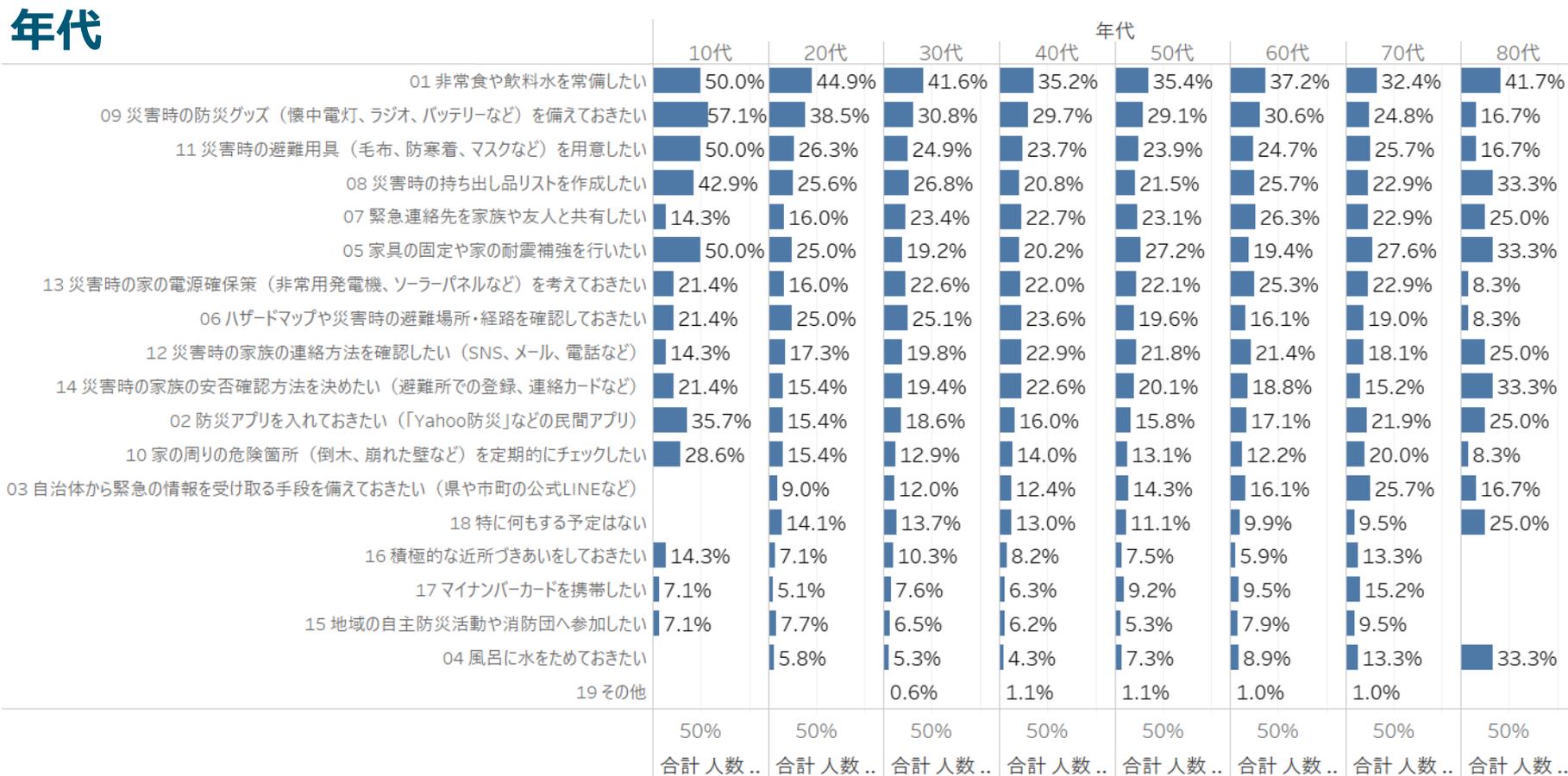
性別



※ 性別「回答しない」を除く

62. これから取り組みたいと思っていることを教えてください（当てはまるものを全て選択）

全体上位項目の割合は各年代で大きな差異はみられない

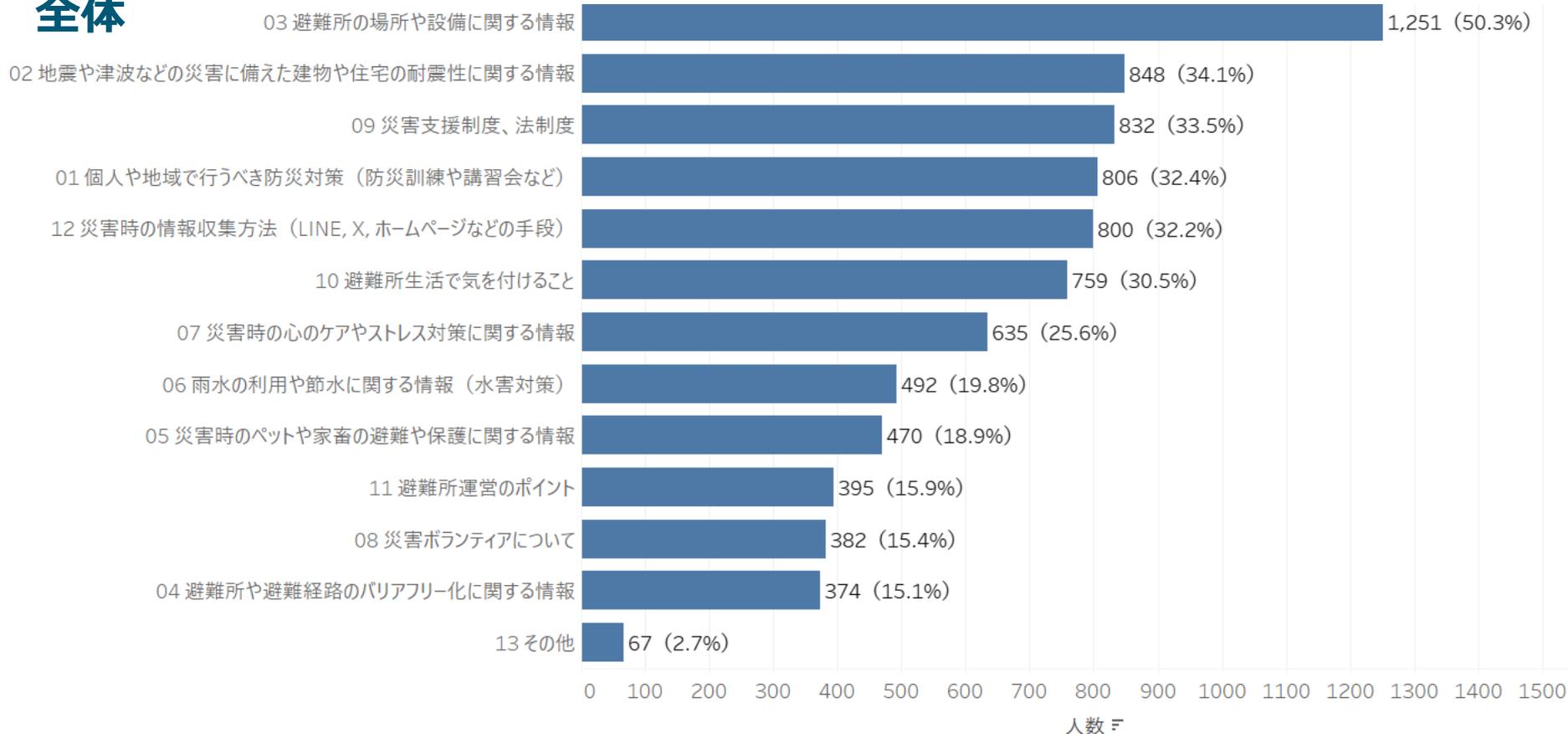


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

- 「避難所の場所や設備に関する情報」が最も多く50.3%
- 「地震や津波などの災害に備えた建物や住宅の新体制に関する情報」「災害支援制度、法制度」の二つも高く、それぞれ30%を超えている

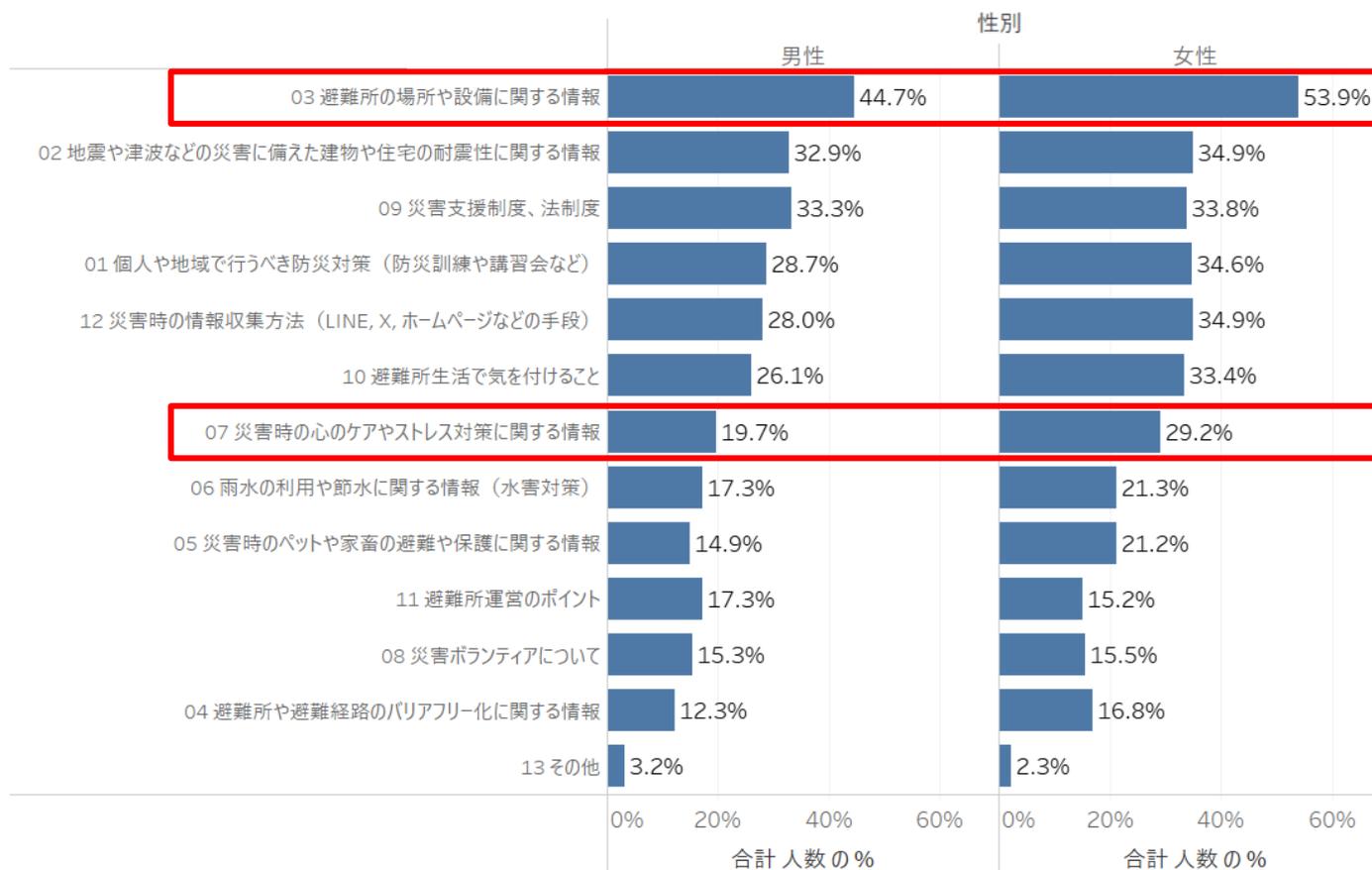
全体



63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

- 全体的にどの情報も割合は女性の方が高い
- 男女で10ポイント近く差がある項目は「避難所の場所や設備に関する情報」「災害時の心のケアやストレスに関する情報」

性別

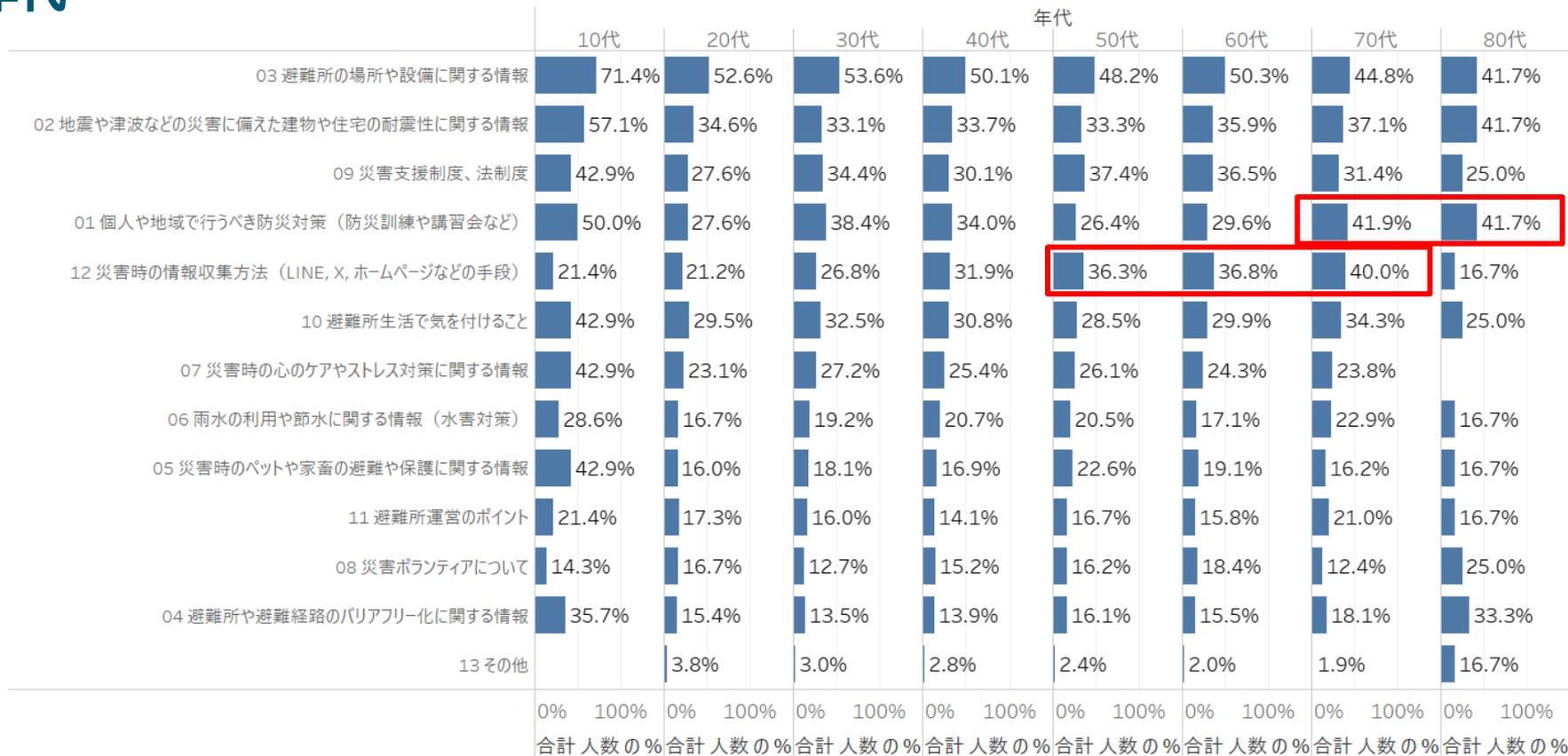


※ 性別「回答しない」を除く

63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

「個人や地域で行うべき防災対策」「災害時の情報収集方法」などは高い年代で選択される割合が多く、若年層と取得したい情報に一部差異がみられる。

年代



※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

63. あなたが取得したい防災関連の情報は何ですか（当てはまるものを全て選択）

その他（自由記述） ※生成AIによる意見の集約

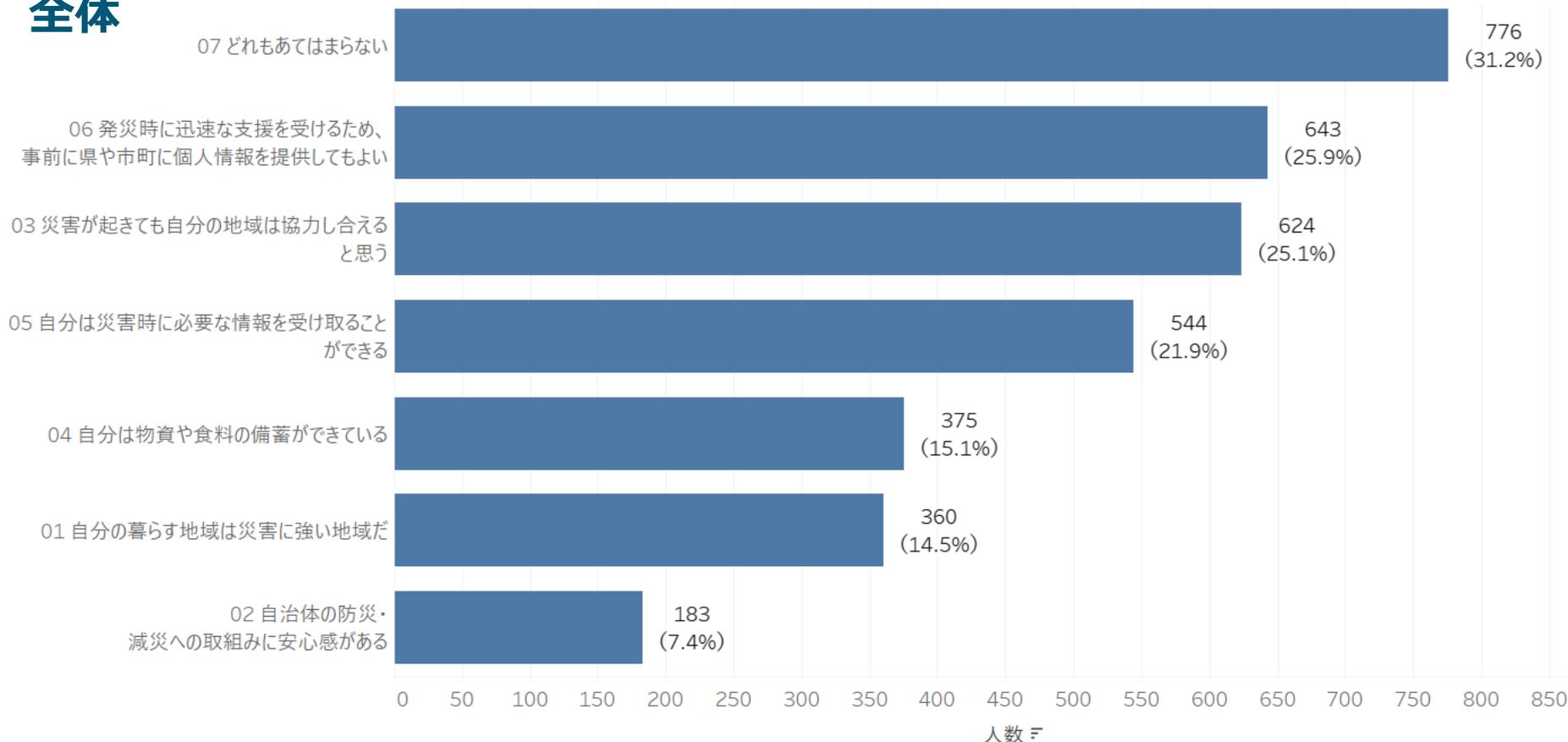
生成AIを用いて自由記述の意見をカテゴリ化

カテゴリ	意見
災害時の避難所運営	<ul style="list-style-type: none"> 避難所での運営方針（特に男女参画の視点から具体的な指針） 避難所での性被害予防策 子連れ（特に発達障害のある子ども）でも過ごしやすい避難所の情報 障害者や女性向けの避難情報 パーテーションの有無
災害時の医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の医療制度(薬がないなどないようにしてほしい) 身体障害者の避難所対応 福祉避難所について 体が不自由な高齢者がいる家庭で出来る事
災害時の情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 災害時,ネットが繋がらない場合の情報収集手段 町内会の情報が全く入ってこない 地域の女性防災士の数と担当範囲の把握 自治体の防災準備物の公開
防災教育・体験	<ul style="list-style-type: none"> 防災体験教室の実施 防災士の研修情報 防災士を検討しているが,募集の案内が回ってこない
その他の災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道の耐震性能 大雨による冠水時の対策 日本海近海の活断層による新しい地震評価(津波ハザードマップ) 利用可能なトイレの情報

64. あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）

- 「どれもあてはまらない」が最も多く31.2%
- 次いで「発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供しても良い」が25.9%

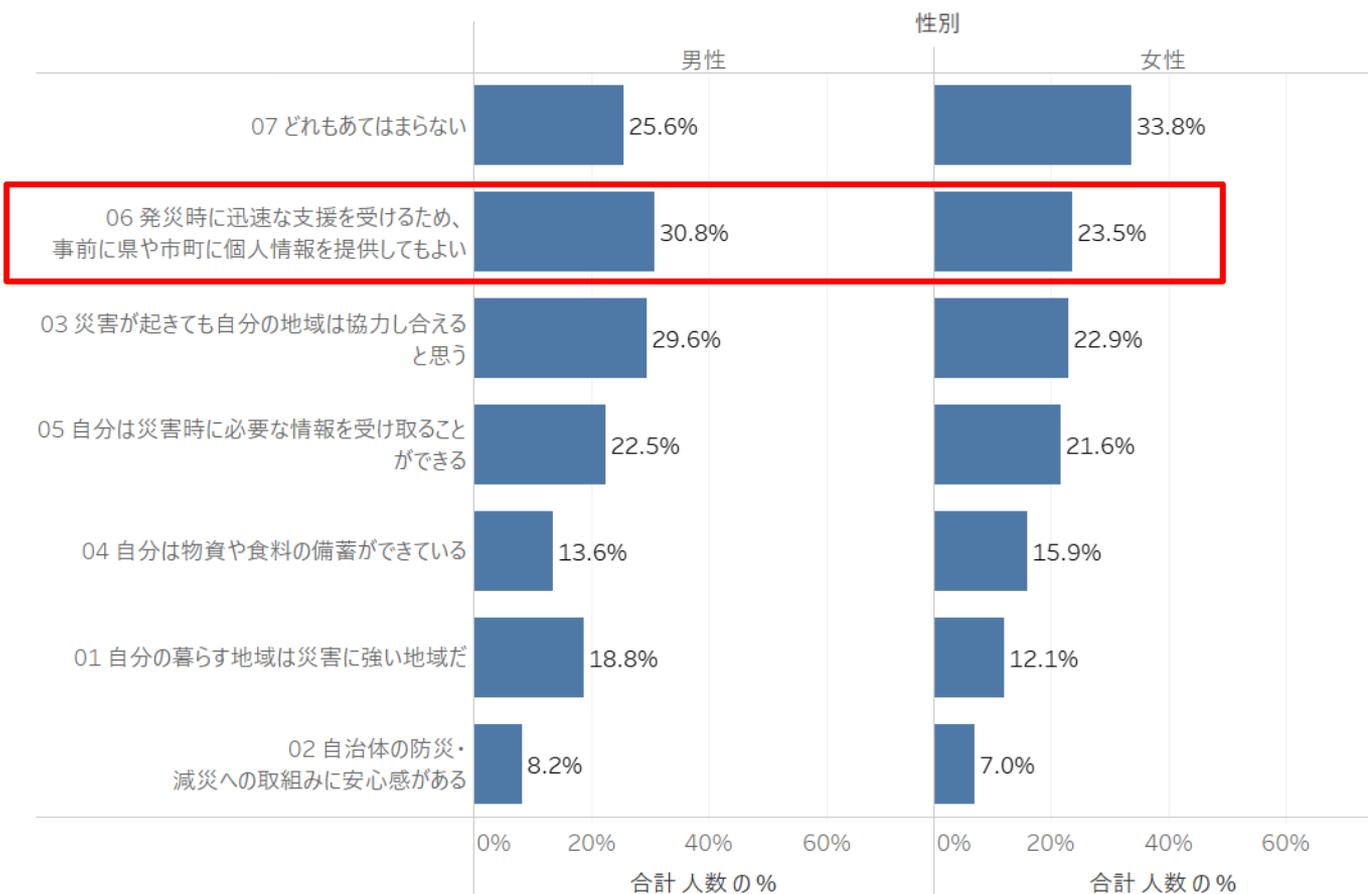
全体



64. あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）

「発災時に迅速な支援を受けるため、事前に県や市町に個人情報を提供してもよい」については、男性30.8%、女性23.5%と、男性の方が情報提供に積極的な傾向がある。

性別

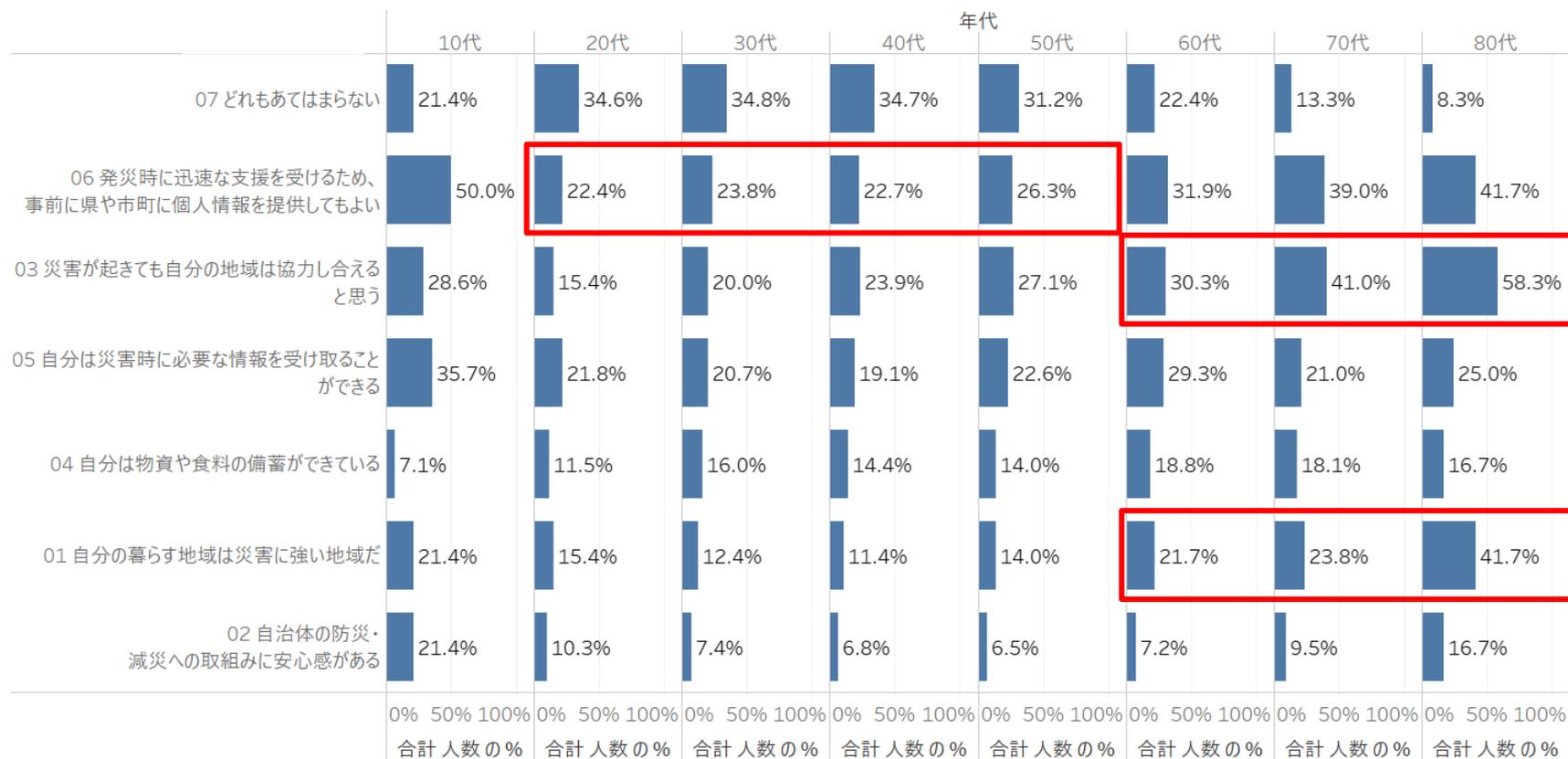


※ 性別「回答しない」を除く

64. あなたの考えと近いものを選択してください（当てはまるものを全て選択）

- 20～50代は60代以上に比べ、「個人情報の提供」の割合が低く、抵抗があることがうかがえる
- 60代以上は「災害がおきても自分の地域は協力し合える」「災害に強い地域だ」という考えが高い傾向にある

年代

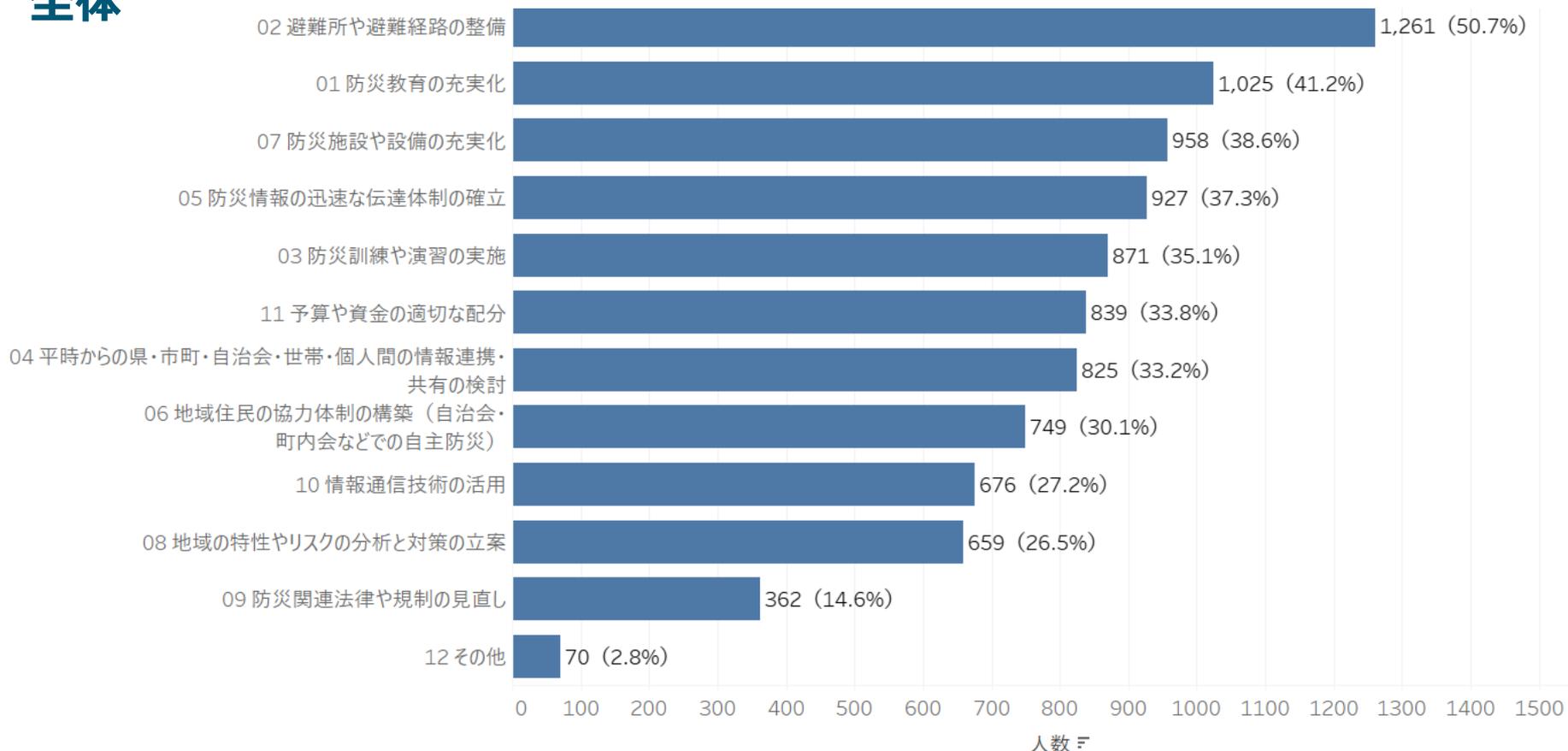


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

- 「避難所や避難経路の整備」が最も多く50.7%
- 次いで「防災教育の充実化」が41.2%

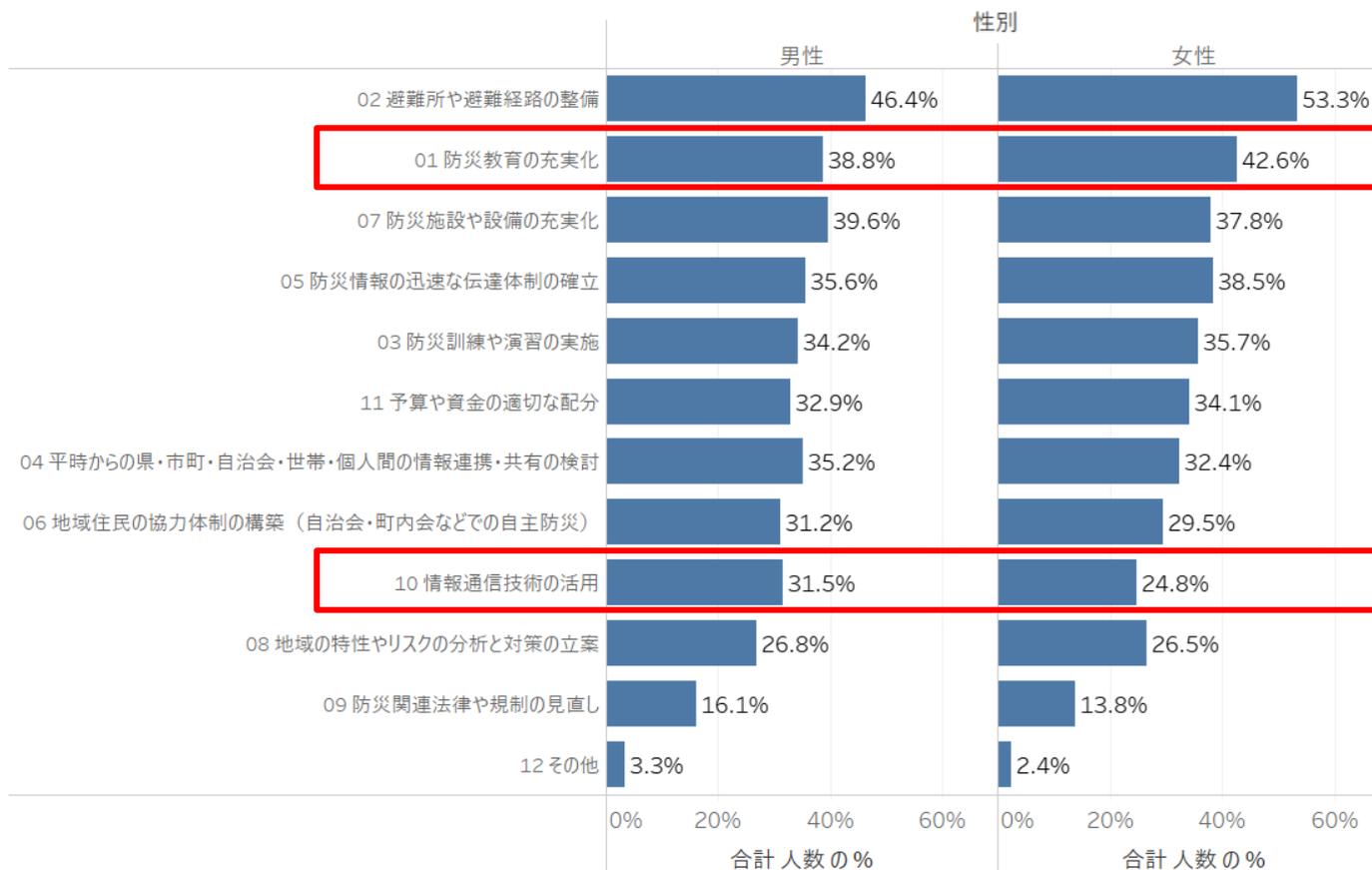
全体



65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

性別による大きな差異はないが、「防災教育充実化」は女性の方が割合が高く、「情報通信技術の活用」は男性の方が割合が高い傾向にある。

性別

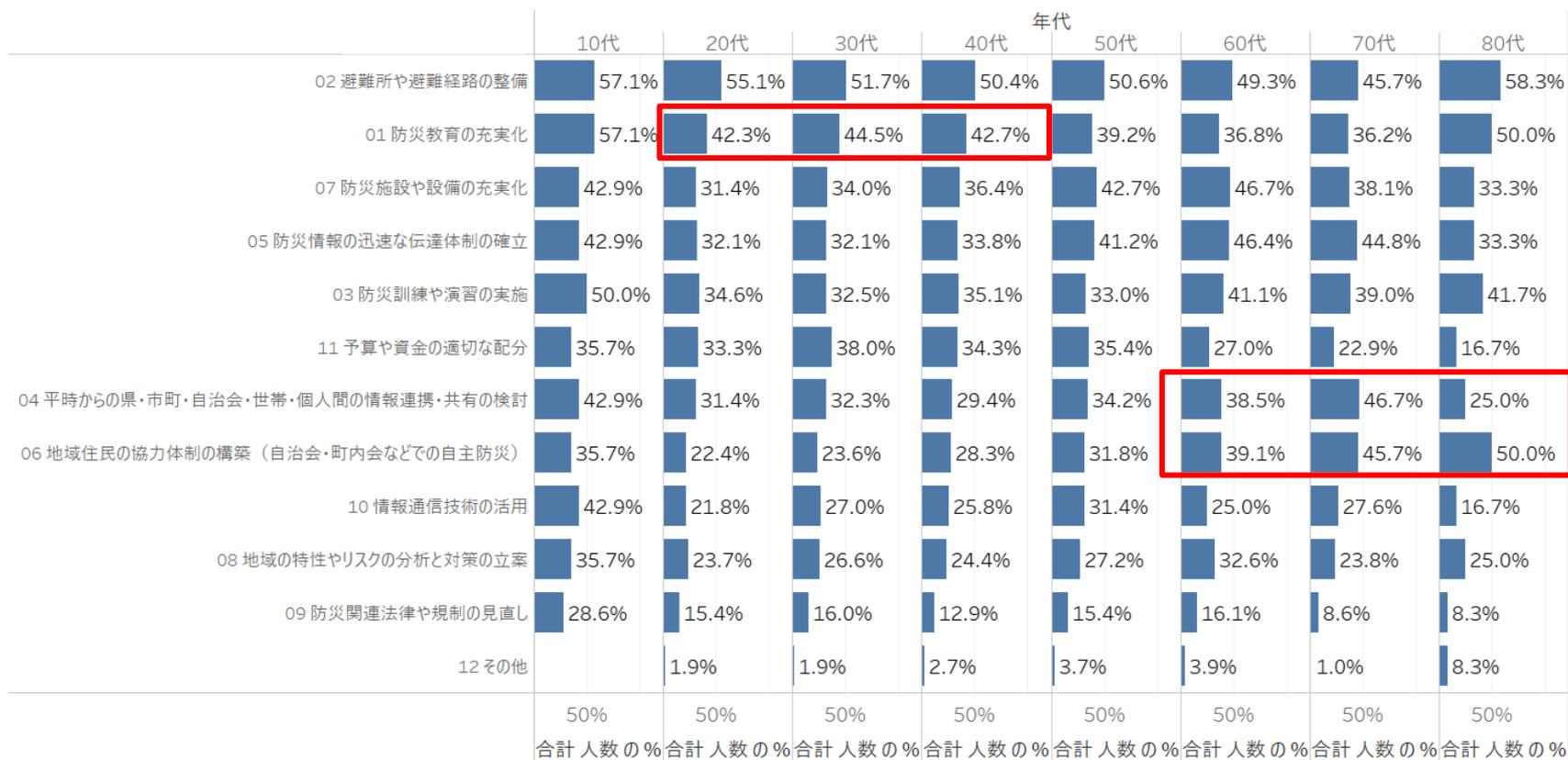


※ 性別「回答しない」を除く

65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当てはまるものを全て選択）

20～40代は「防災教育の充実化」を選択する割合が比較的高く、世代が上がると「平時からの県・市町・自治会・世帯・個人間の情報連携・共有の検討」「地域住民の協力体制の構築」が必要だと考える人の割合が高くなる傾向にある。

年代



※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

65. 地域の防災力を高めるにはどのような取り組みが必要だと思いますか（当 てはまるものを全て選択）

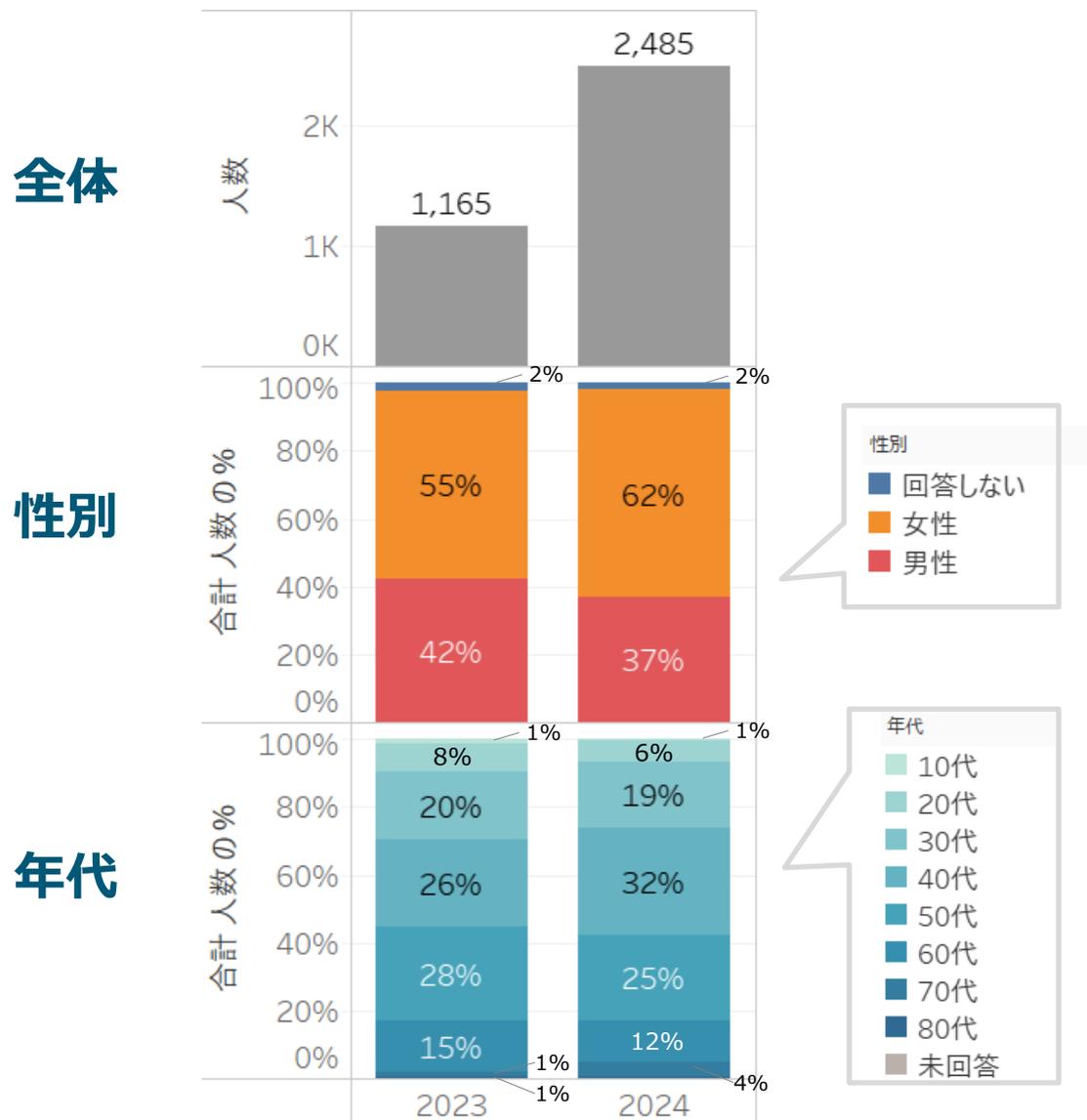
その他（自由記述）※生成AIによる意見の集約

生成AIを用いて自由記述の
意見をカテゴリ化

カテゴリ	意見
災害対策と準備	避難訓練と経路の把握: 地域全体で避難訓練を行い、避難所や防災倉庫の場所、備蓄品の把握を徹底することが重要。
	備蓄品とインフラ整備: 自治体の備蓄量が少ないため、増加が必要。公共施設の避難所としての環境整備も求められる。
	リスク分散と情報収集: リスクを分散させるための対策や、事前の情報収集が重要。特に液状化地域の対策が必要。
災害時の対応と運営	避難所運営: 避難所の運営が悪いとの指摘があり、リーダーの育成や運営体制の改善が求められる。
	支援物資の配布: 支援物資の配布が遅れることが多く、迅速な対応が必要。役割分担を明確にし、市と町が連携して動ける体制を整えるべき。
コミュニケーションと情報伝達	情報の迅速な伝達: 防災情報の迅速な伝達体制の確立と周知が必要。防災放送の音量を上げることや、公式LINEなどのシステム導入が求められる。
	地域の連携: 地域と学校、市との避難練習や災害マニュアルの共有が重要。地域力を高め、顔の見える関係を築くことが求められる。
特定のニーズと配慮	女性と子供の対策: 災害対策本部に女性を増やすことや、子供だけでも対応できる対策が必要。女性専用やペット専用の避難部屋の確保も求められる。
	豪雪地帯の支援: 豪雪地帯の支援対策が劣化しているため、改善が必要。
政府と行政の役割	行政のリーダーシップ: 県や市町村が先頭に立ち、災害時の対応を迅速に行うことが求められる。特に復旧作業の遅れを防ぐための対策が必要。
	防災士の育成: 防災士の資格取得の緩和や育成が求められる。防災DXの加速化も必要。

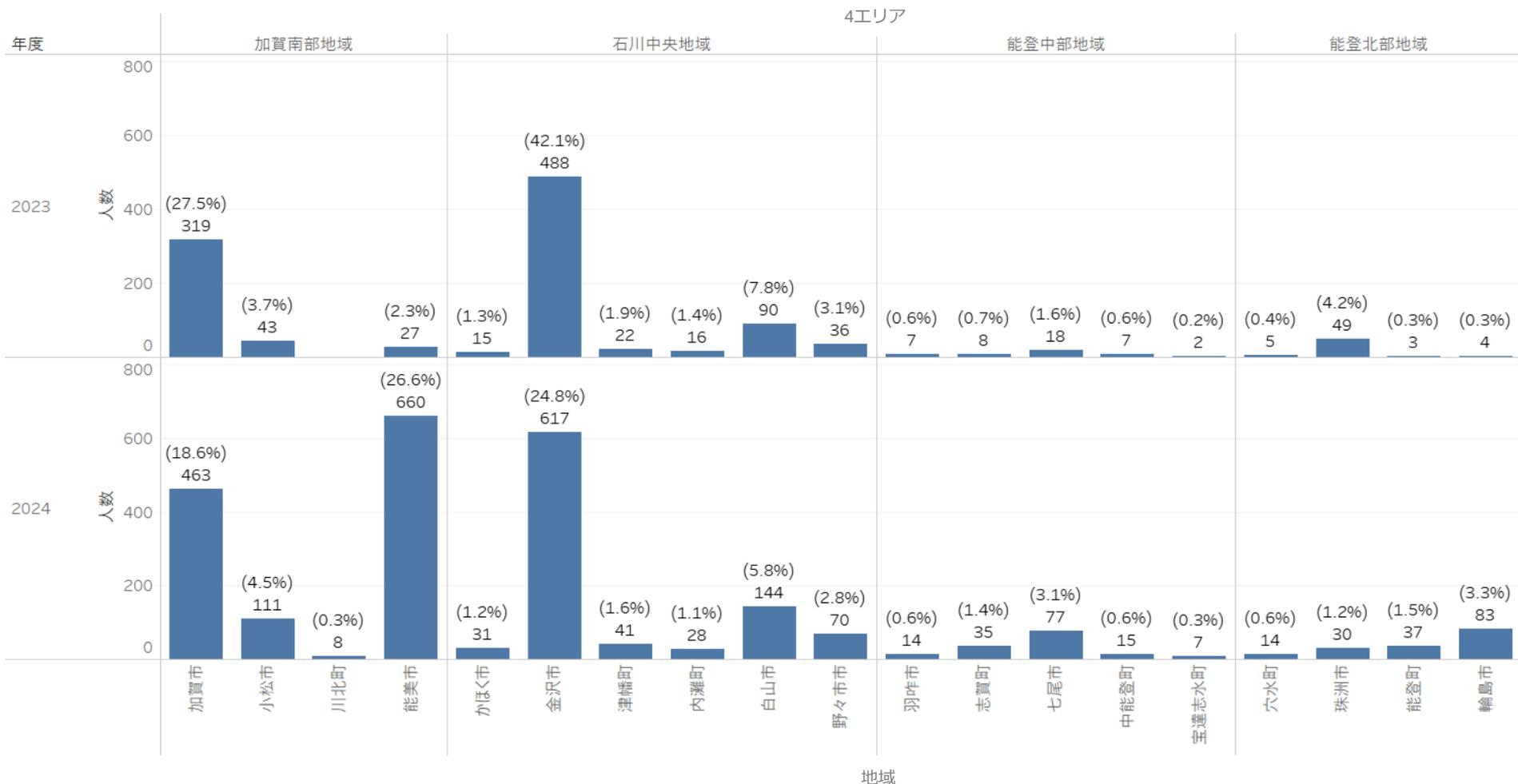
3. 幸福感（Well-being）の昨年度比較

2023年度, 2024年度の回答数概要



2023年度, 2024年度の回答数概要

地域



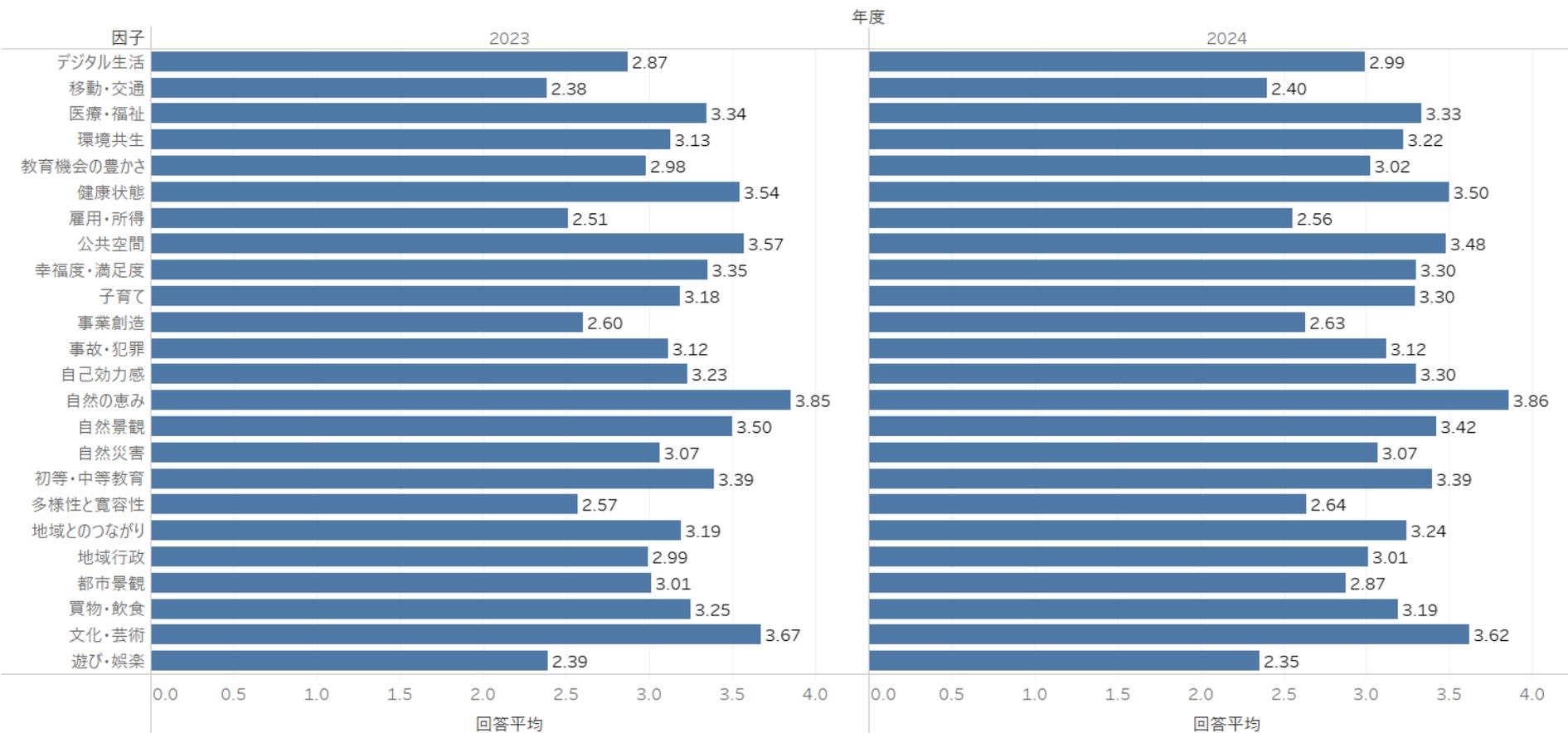


因子別の昨年度比較

2023年度、2024年度の因子別平均

LWCI設問の回答（非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1）の点数平均をグラフ化

全体



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
※ 住宅環境因子を除く

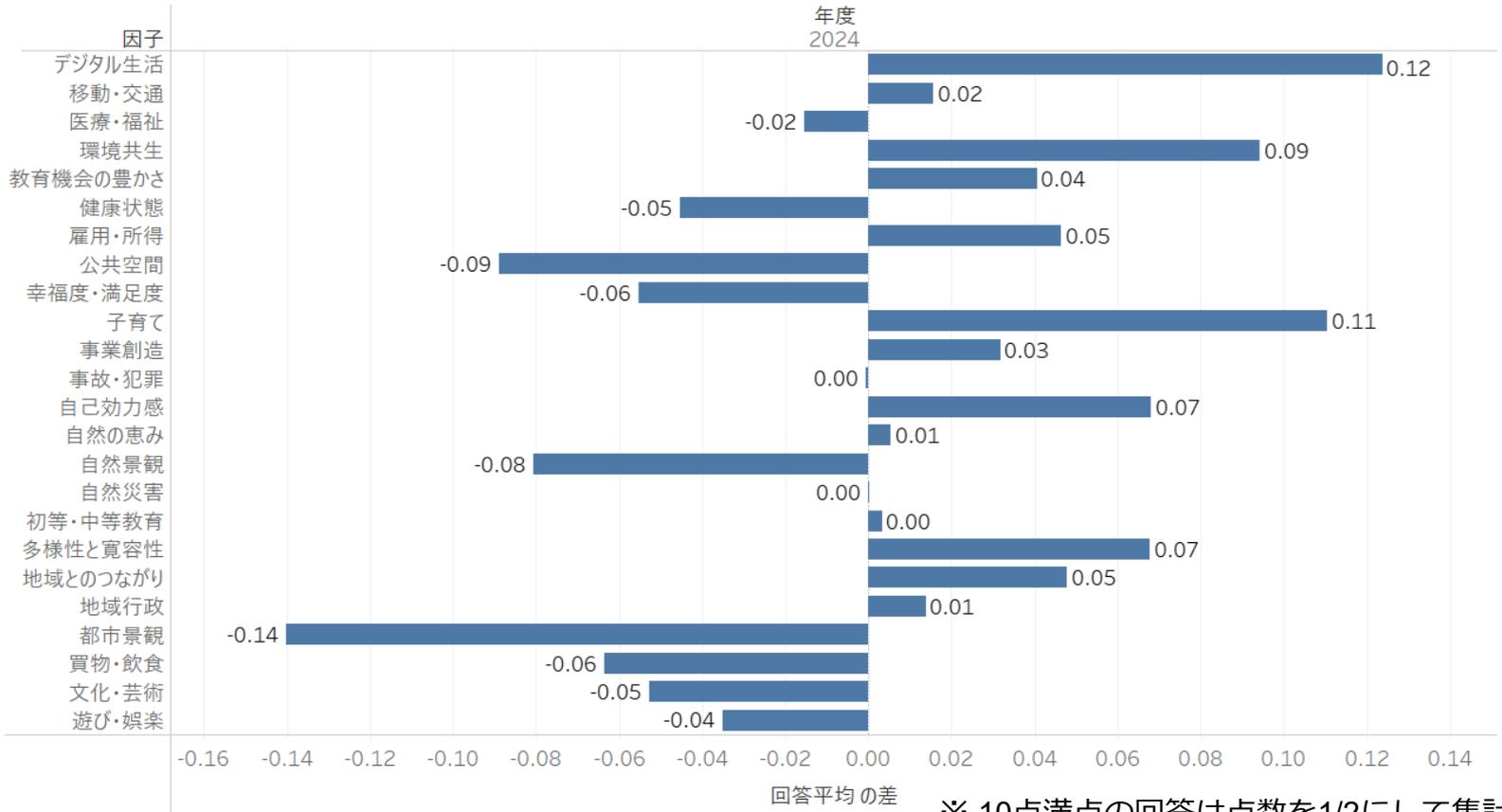
因子別の昨年度比較

2023年度の平均に対する2024年度の平均差分（プラス=改善、マイナス=悪化）

LWCI設問の回答（非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1）の点数平均をとり、昨年度との差分をグラフ化

全体では、デジタル生活、子育て因子が大きくプラスに伸び、都市景観が最もマイナスとなった。

全体



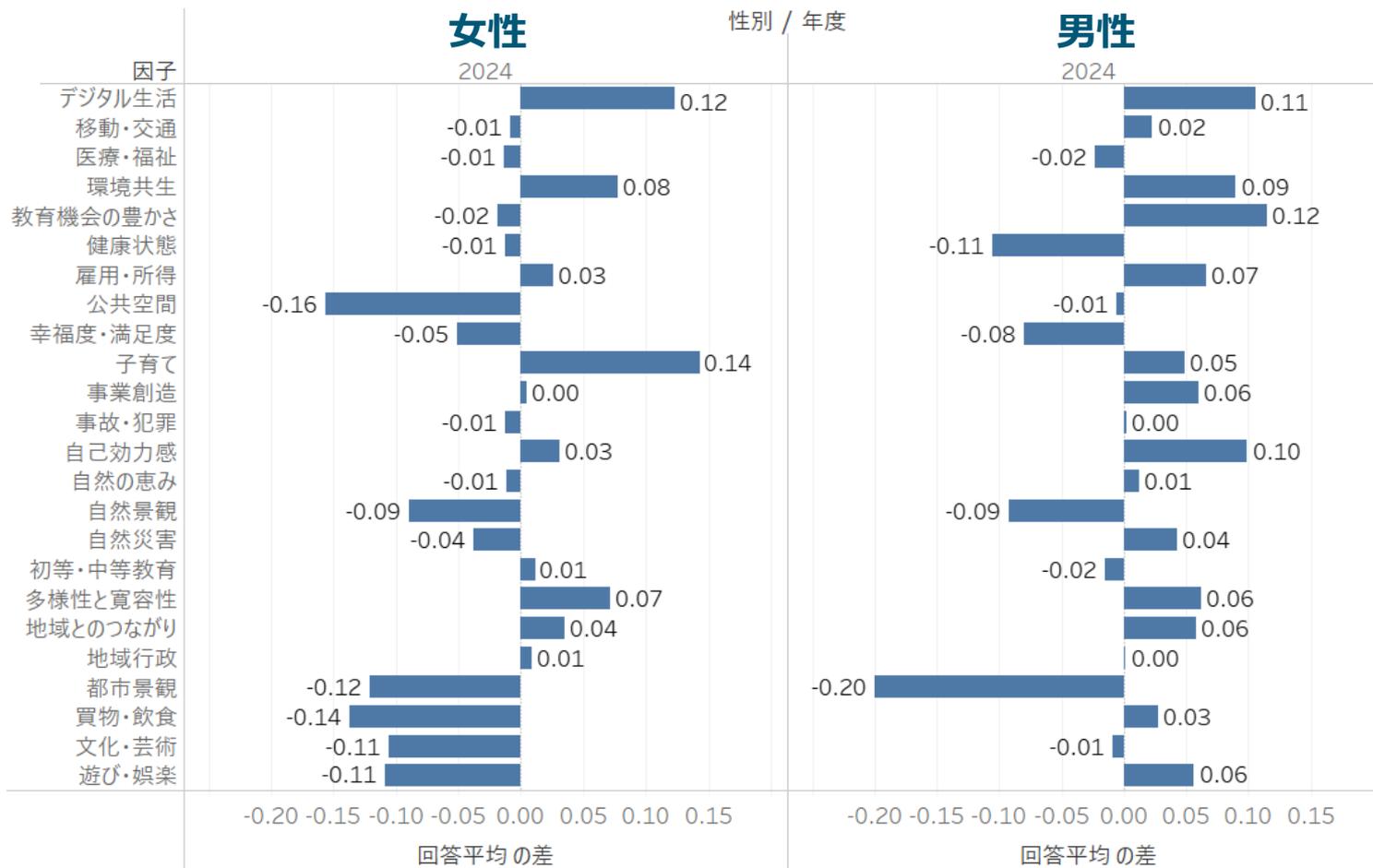
※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
 ※ 住宅環境因子を除く

因子別の昨年度比較

2023年度の平均に対する2024年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）

- 女性は「子育て」が0.14プラス、「公共空間」が0.16マイナスとなった。
- 男性は「教育機会の豊かさ」が0.12プラス、都市景観が0.20マイナスと突出して下がった。

性別



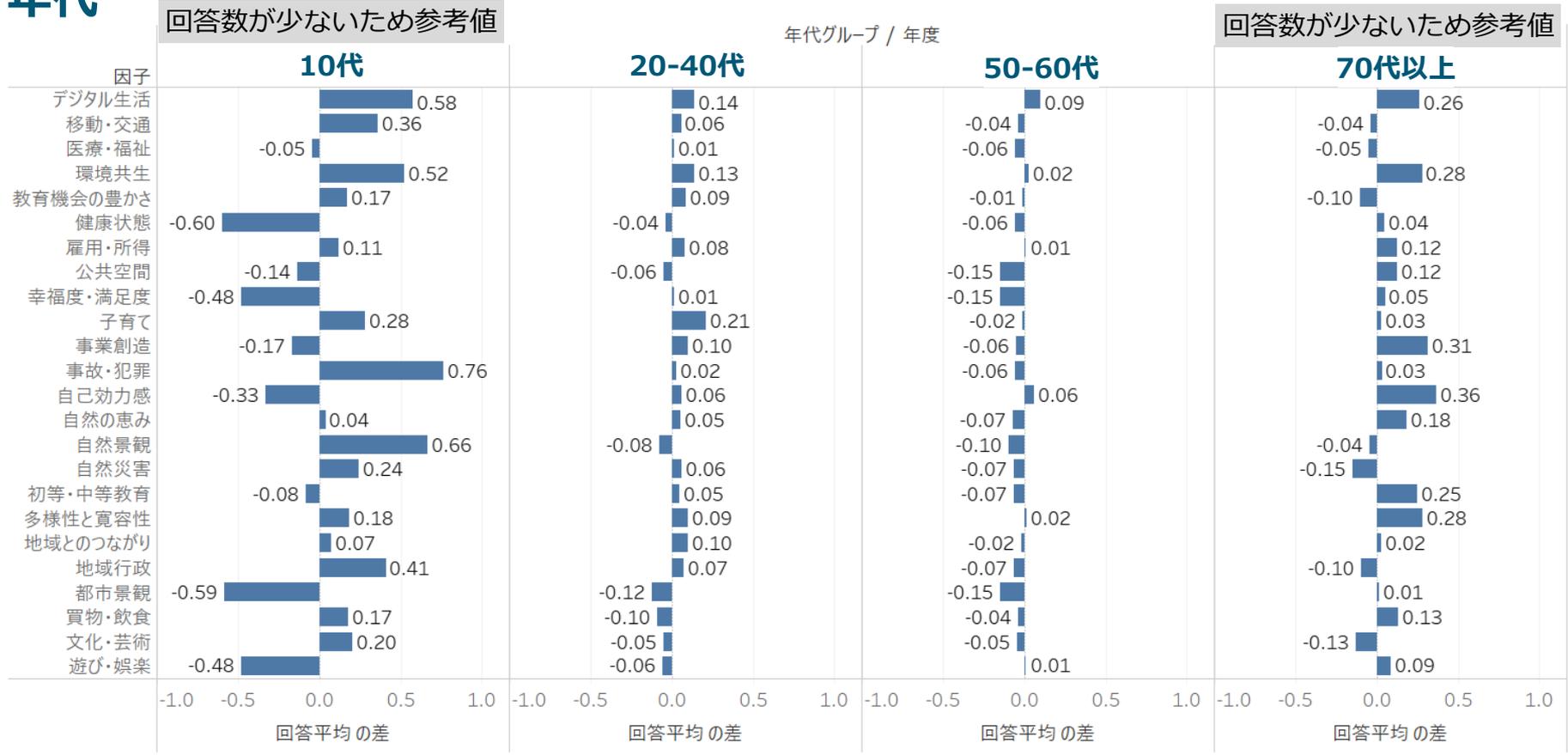
※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
 ※ 住宅環境因子を除く

因子別の昨年度比較

2023年度の平均に対する2024年度の平均差分（プラス=改善、マイナス=悪化）

- 20-40代は「子育て」が最もプラスになった。
- 50-60代では「公共空間」「幸福度・満足度」「都市景観」が0.15マイナスとなった。

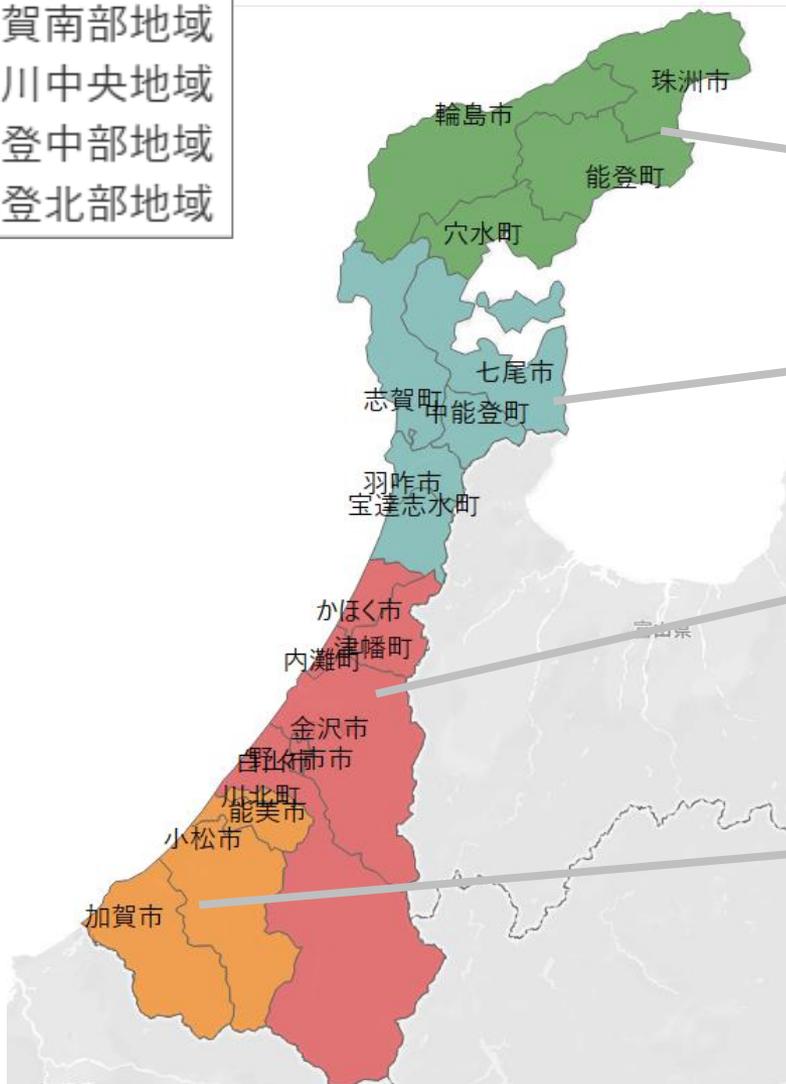
年代



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
 ※ 住宅環境因子を除く

4エリアの区分けによる因子別の昨年度比較

- 加賀南部地域
- 石川中央地域
- 能登中部地域
- 能登北部地域



4エリアの構成地域	
4エリア	地域
能登北部地域	穴水町
	珠洲市
	能登町
	輪島市
能登中部地域	羽咋市
	志賀町
	七尾市
	中能登町
	宝達志水町
石川中央地域	かほく市
	金沢市
	津幡町
	内灘町
	白山市
	野々市市
加賀南部地域	加賀市
	小松市
	川北町
	能美市

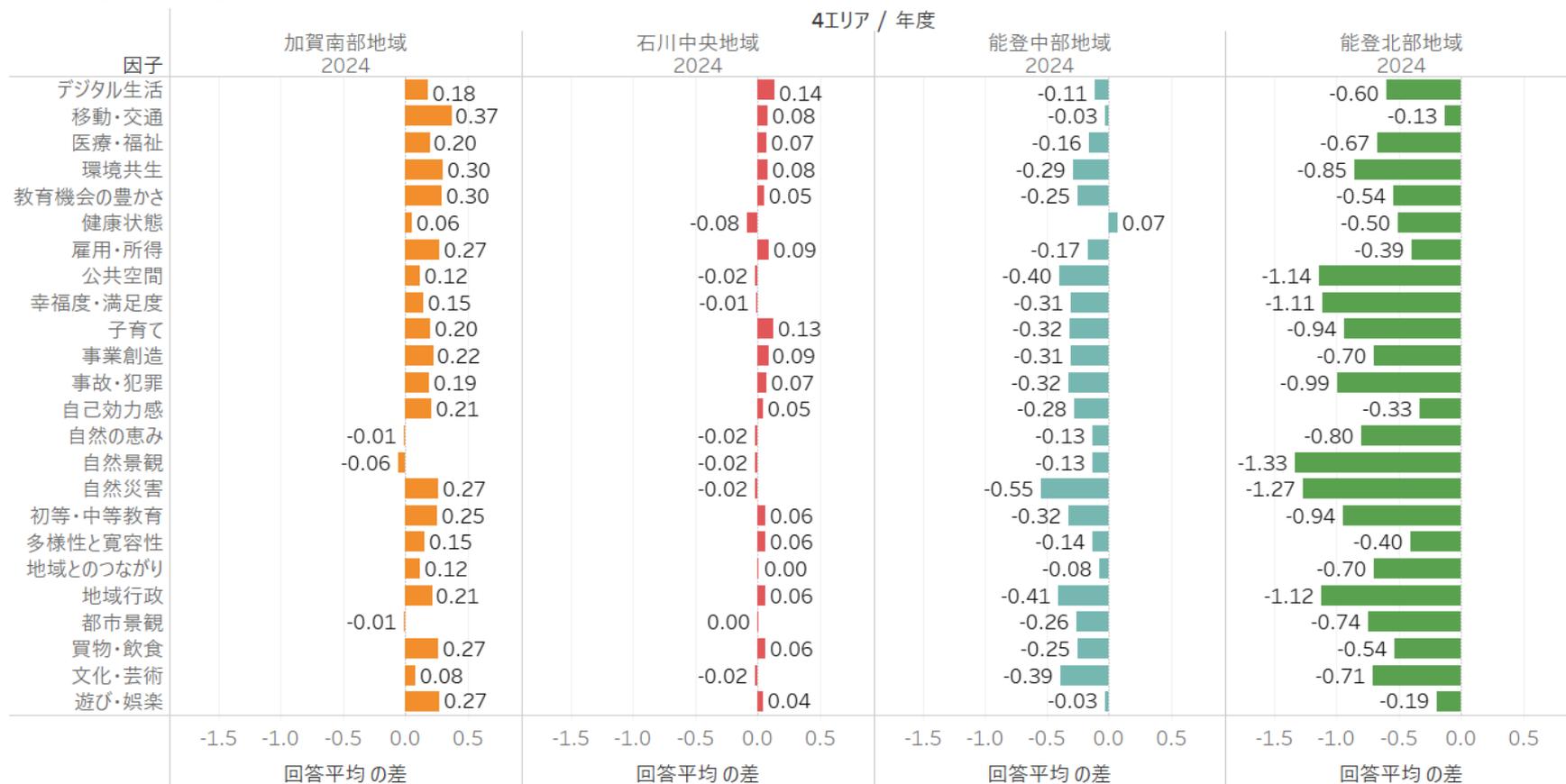


4エリアの区分けによる因子別の昨年度比較

2023年度の平均に対する2024年度の平均差分（プラス＝改善、マイナス＝悪化）

- 加賀南部地域はプラス、能登北部地域はマイナスになった因子が多い傾向。
- ※昨年度のアンケート回答者が少なかったエリアもあるため、回答者が増えたことによる変動も含まれる

4エリア別



※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
 ※ 住宅環境因子を除く

4. 幸福感（Well-being）の主観・客観の ギャップが大きい因子の把握

分析対象の2因子とLWCI設問

令和6年度のWell-Being指標にて、主観偏差値が客観偏差値よりも特に低かった、「雇用・所得」「移動・交通」の2因子を対象とし、アンケート結果を用いて2因子の特徴を様々な視点から分析した。

【2因子のLWCI設問】

因子	設問番号	設問
移動・交通	13	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる
雇用・所得	49	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい
	50	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある

※アンケート回答は設問ごとに以下から選択

非常にあてはまる=5、ある程度あてはまる=4、どちらとも言えない=3、あまりあてはまらない=2、全くあてはまらない=1

令和6年度におけるWell-Being指標を活用した調査概要

Well-Being指標を活用した具体的な調査手法	成果物																												
<p>■ アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間：令和6年度8月13日～9月12日 対象者：県内に居住する満18才以上の方 実施方法：WEBアンケート (設問数 LWCI標準51問+独自設問14問) 	<p>カテゴリ別</p>																												
<p>調査から得た具体的な示唆・独自の分析結果</p>	<p>【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査</p>																												
<ul style="list-style-type: none"> 全体：昨年度に続き文化・芸術、健康状態の主観指標が高い一方で、移動・交通、雇用・所得の主観が客観指標よりも低い傾向にある。 注力指標（女性活躍・デジタル化・防災）： 女性活躍については昨年度に引き続き男女の家事・育児・介護に対する認識差異が大きく、環境整備だけではなく全世代の意識改革も含めて改善が必要ながかった。デジタル化は昨年度と同様に肯定派の割合が多いものの、否定派が増加。また、年代により求められるデジタルサービスにおいても違いがみられた。防災については県民が取り組みたいと考える対策、取得したい防災関連情報が明らかとなった。 客観>主観 因子： ギャップが大きい移動・交通、雇用・所得因子は特に居住エリアによる差異が大きいことが明確になった。住みやすさにつながる指標であるため、今後も注視および深掘りを検討する。 	<p>主観指標と客観指標の上位・下位3因子、および主観客観ギャップの上位3因子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>主観上位</th> <th>主観下位</th> <th>客観上位</th> <th>客観下位</th> <th>客観 > 主観</th> <th>主観 > 客観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文化・芸術</td> <td>移動・交通</td> <td>健康状態</td> <td>環境共生</td> <td>移動・交通</td> <td>文化・芸術</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>健康状態</td> <td>遊び・娯楽</td> <td>移動・交通</td> <td>都市景観</td> <td>雇用・所得</td> <td>地域とのつながり</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>自己効力感</td> <td>買物・飲食</td> <td>地域行政</td> <td>地域とのつながり</td> <td>遊び・娯楽</td> <td>環境共生</td> </tr> </tbody> </table> <p>※客観指標は2024年12月公開のデータ</p>	No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観	1	文化・芸術	移動・交通	健康状態	環境共生	移動・交通	文化・芸術	2	健康状態	遊び・娯楽	移動・交通	都市景観	雇用・所得	地域とのつながり	3	自己効力感	買物・飲食	地域行政	地域とのつながり	遊び・娯楽	環境共生
No	主観上位	主観下位	客観上位	客観下位	客観 > 主観	主観 > 客観																							
1	文化・芸術	移動・交通	健康状態	環境共生	移動・交通	文化・芸術																							
2	健康状態	遊び・娯楽	移動・交通	都市景観	雇用・所得	地域とのつながり																							
3	自己効力感	買物・飲食	地域行政	地域とのつながり	遊び・娯楽	環境共生																							

4-1. 移動・交通因子の分析

移動・交通因子の回答平均値（2023年度、2024年度）

移動・交通の2024年度回答平均値は2.4と、昨年度の2.38から若干上がったものの、中間の3を下回る。

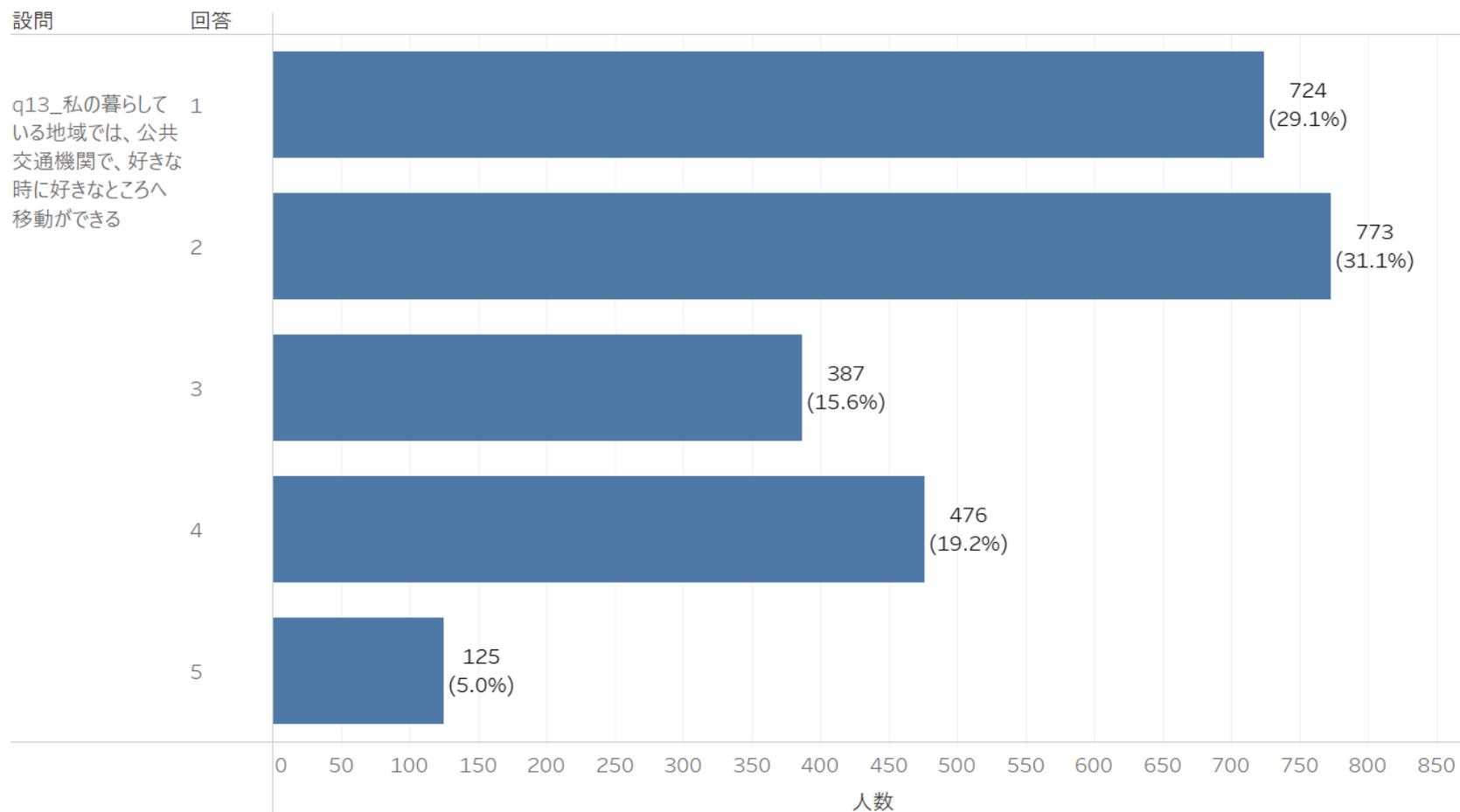


※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
 ※ 住宅環境因子を除く

選択肢ごとの回答者

選択肢1、2の回答者が半数以上を占め、全体の平均が下がる要因となっている。

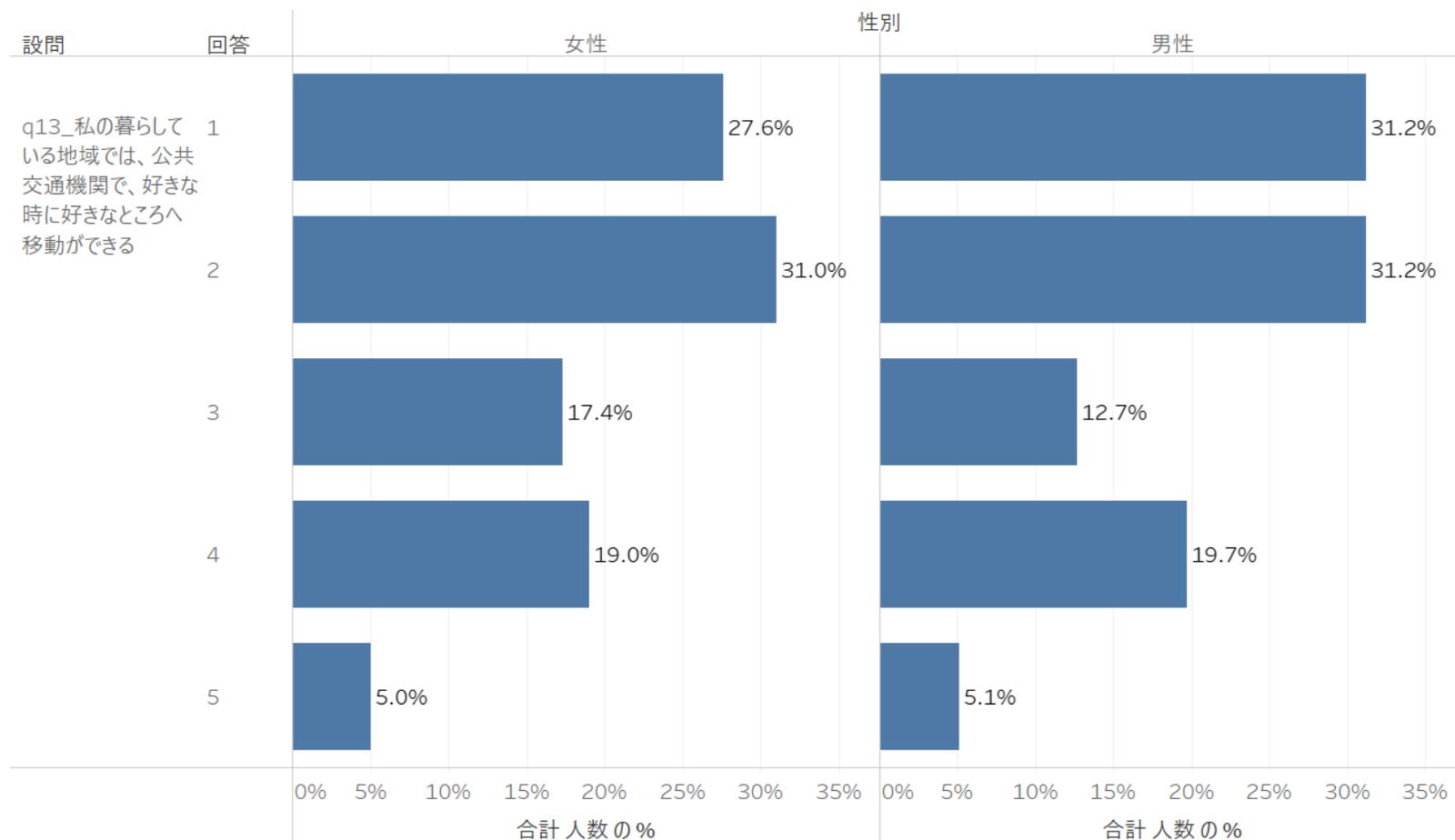
全体



選択肢ごとの回答者

性別による傾向の大きな違いは見られず、男女共に全体と同様の分布である。

性別

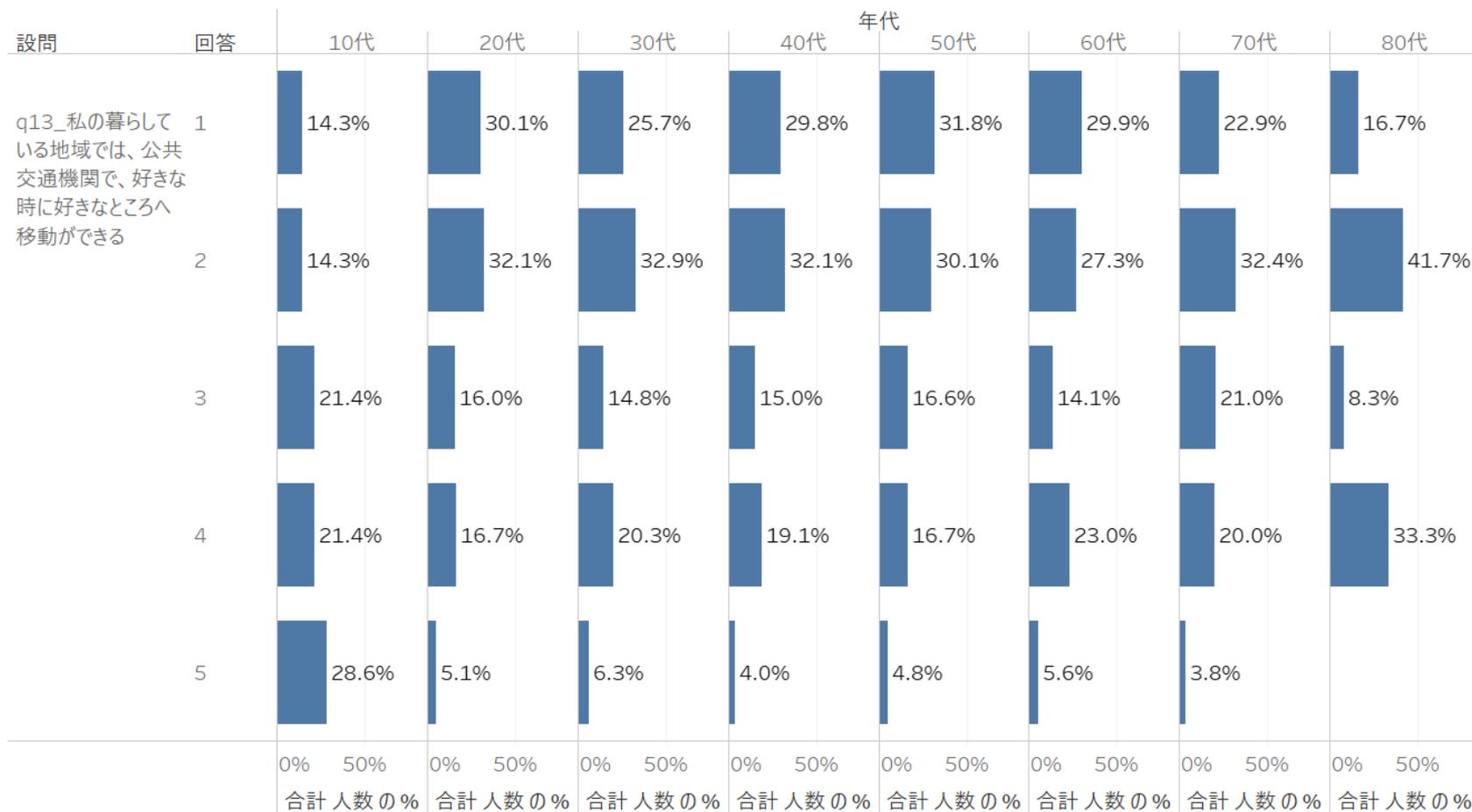


※ 性別「回答しない」を除く

選択肢ごとの回答者

年代ごとでも大きな違いは見られず、全体と同様の傾向となっており、移動・交通に対する不満は年代間で大きな差異はないとみられる。

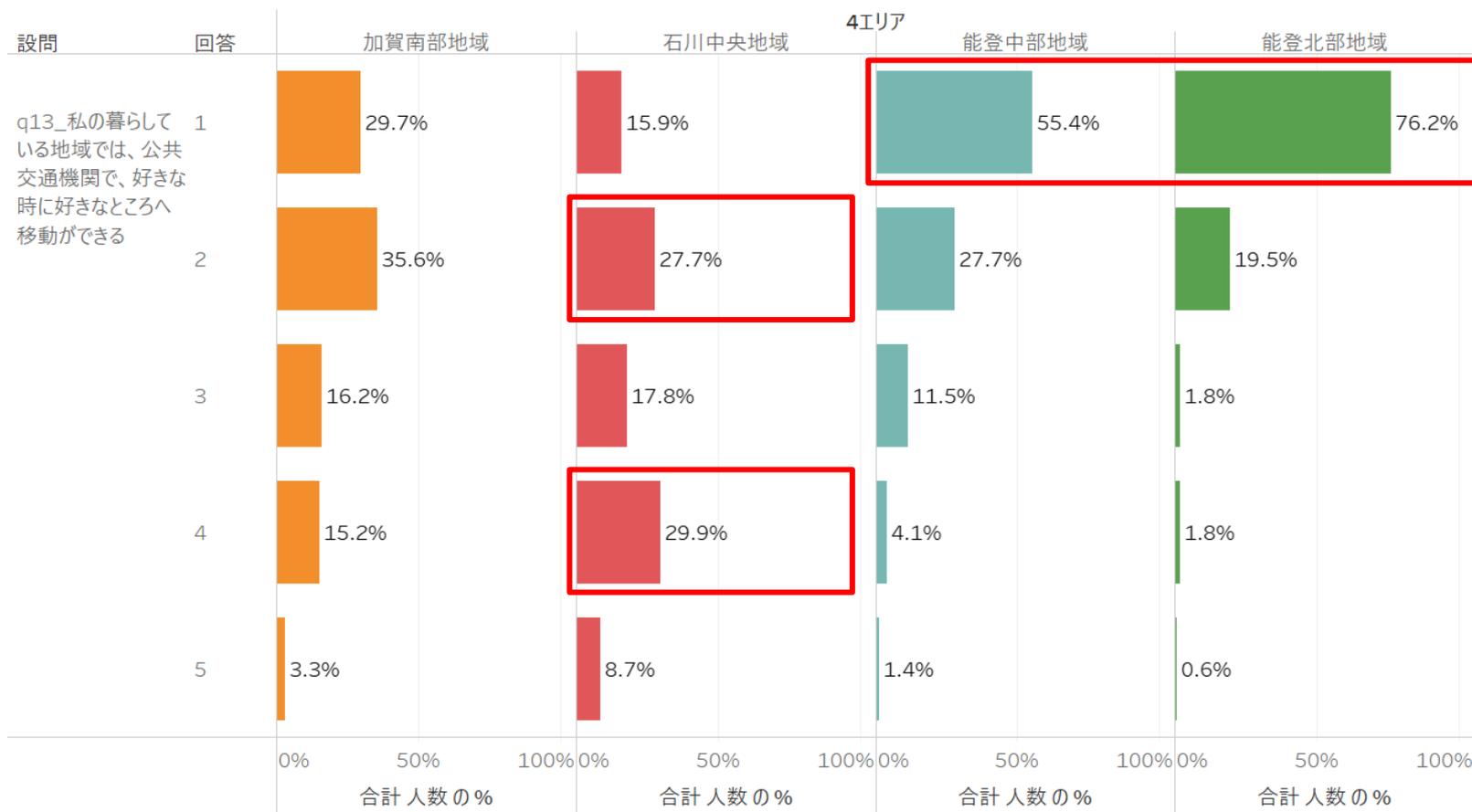
年代



選択肢ごとの回答者

エリアごとに分けてみると差が明確となった。能登中部地域と能登北部地域で点数が特に低い傾向であり、主観偏差値への影響が大きいことがうかがえる。また、石川中央地域では選択肢2と4で2つの峰ができており、公共交通機関が便利な地域とそうでない地域の両方が存在すると推測される。

4エリア

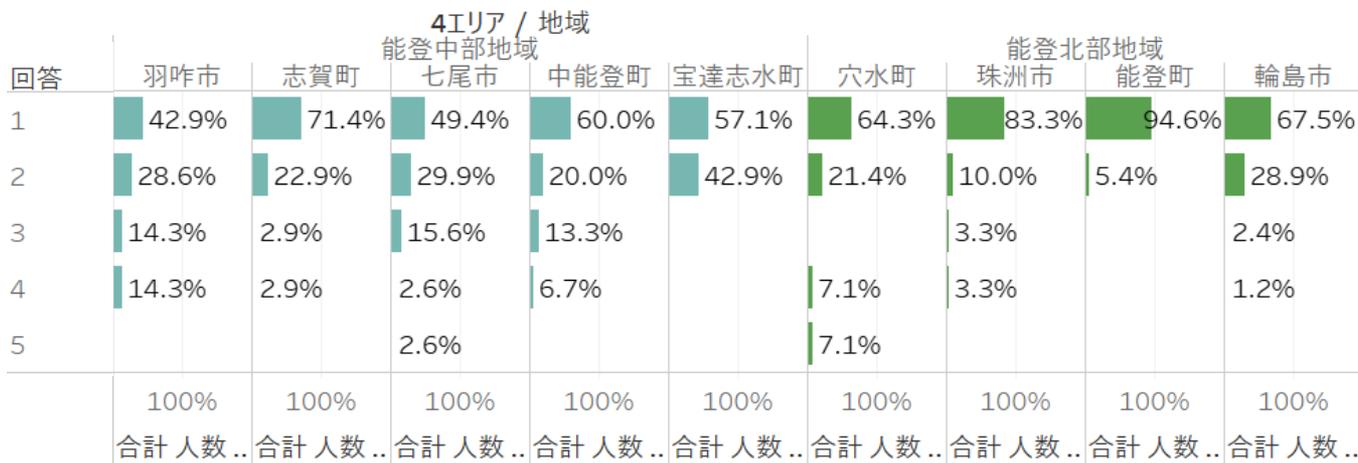
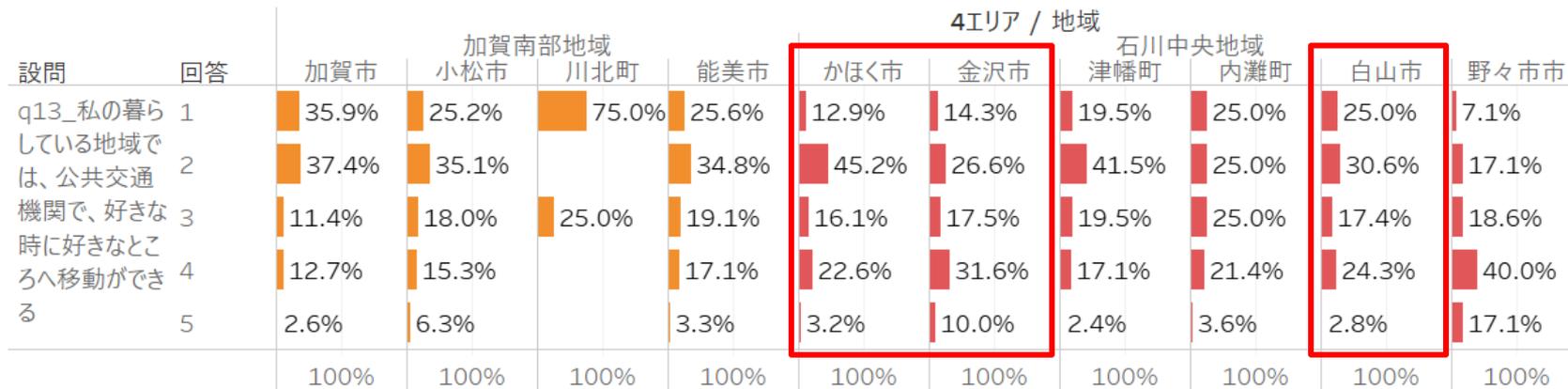




選択肢ごとの回答者

能登中部地域と能登北部地域はどの市町においても1の選択割合が多く、同様の傾向がみられる。石川中央地域では、かほく市、金沢市、白山市で2峰に分かれる傾向があるため、さらに市内での便利・不便が分かれる地区があると推測される。

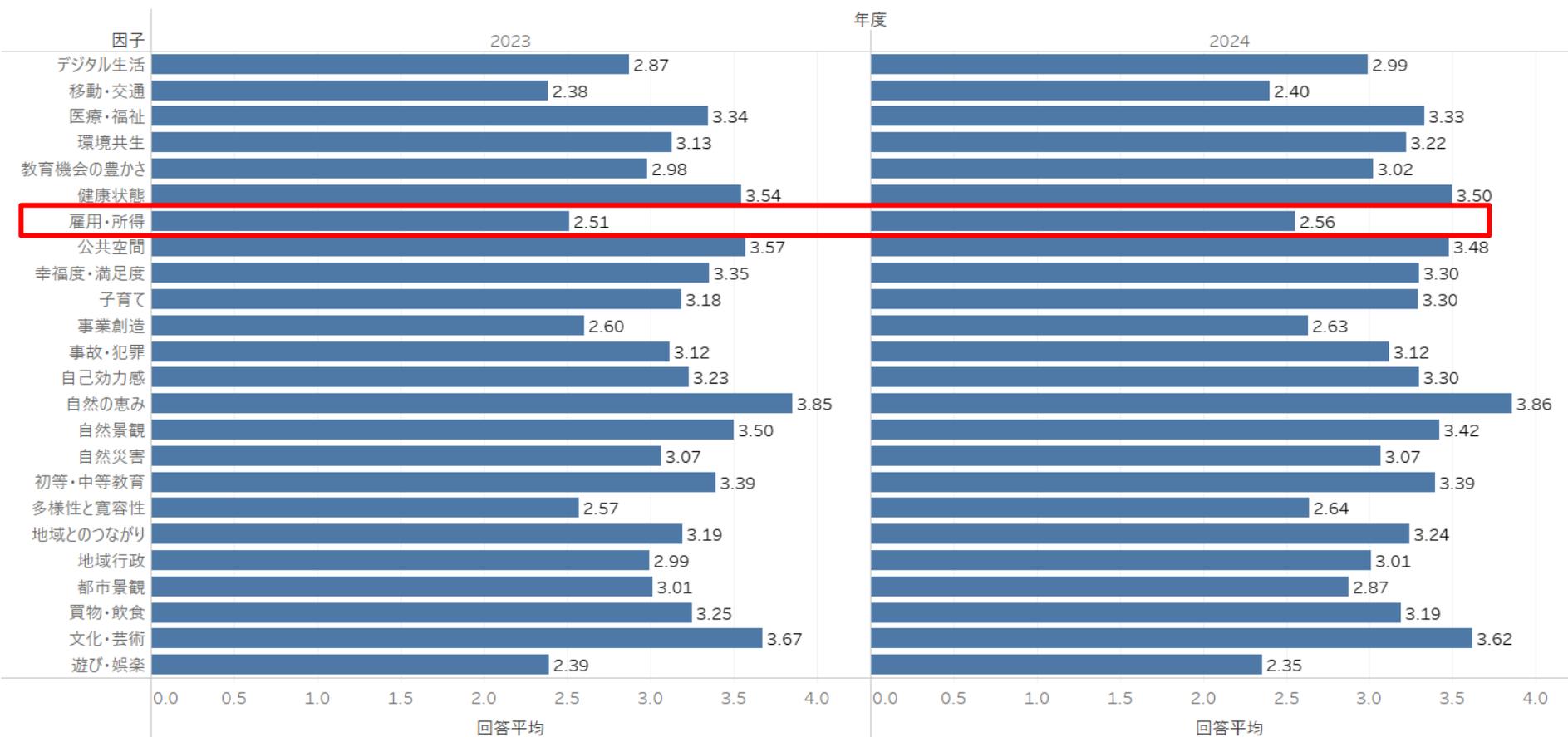
地域



4-2. 雇用・所得因子の分析

雇用・所得因子の回答平均値（2023年度、2024年度）

雇用・所得の2024年度回答平均値は2.56と、昨年度の2.51から若干上がったものの、中間の3を下回る。

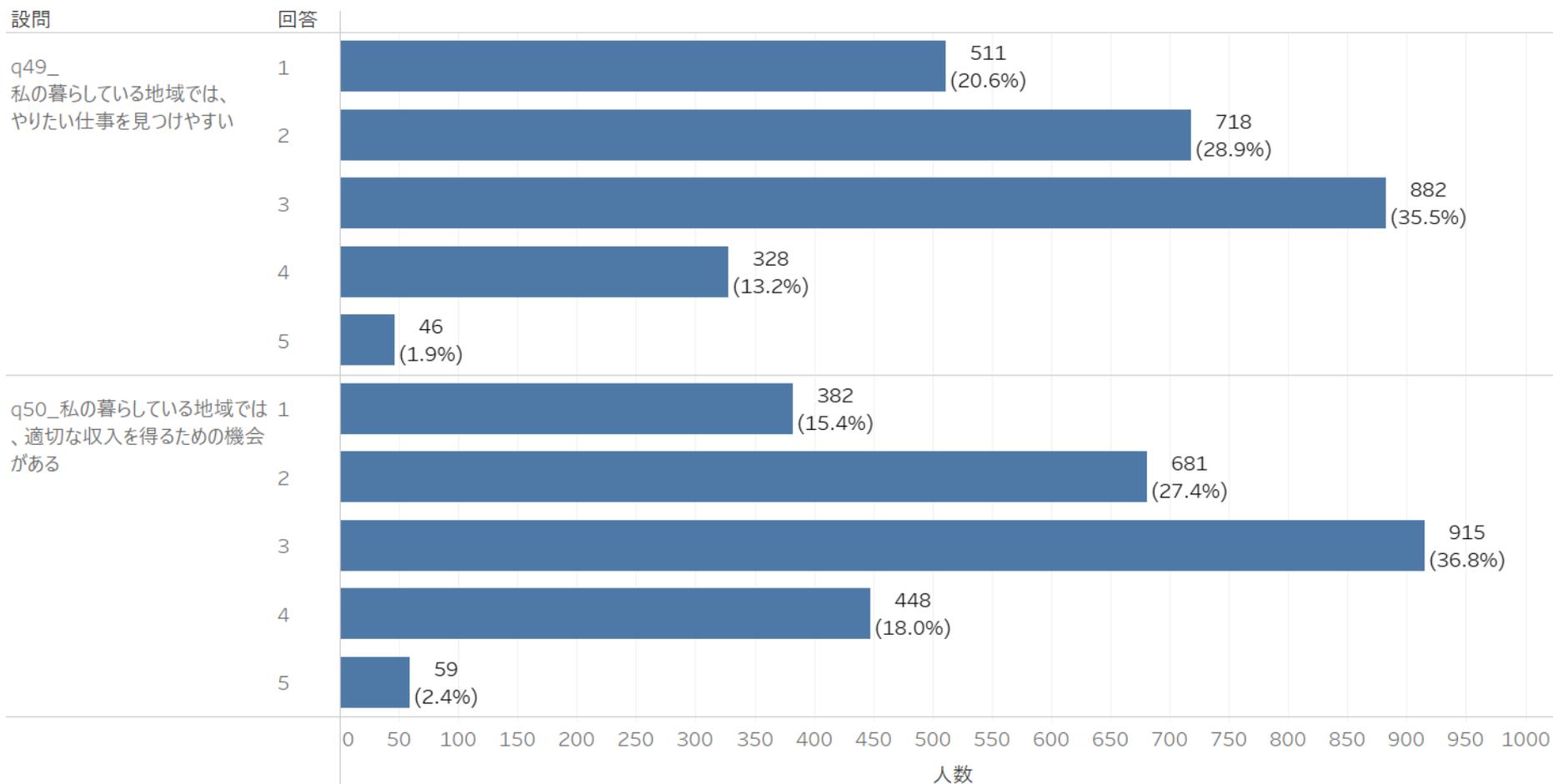


※ 10点満点の回答は点数を1/2にして集計
 ※ 住宅環境因子を除く

選択肢ごとの回答者

設問49、50ともに選択肢2、3の回答者割合が多く、全体の平均が下がる要因となっている。

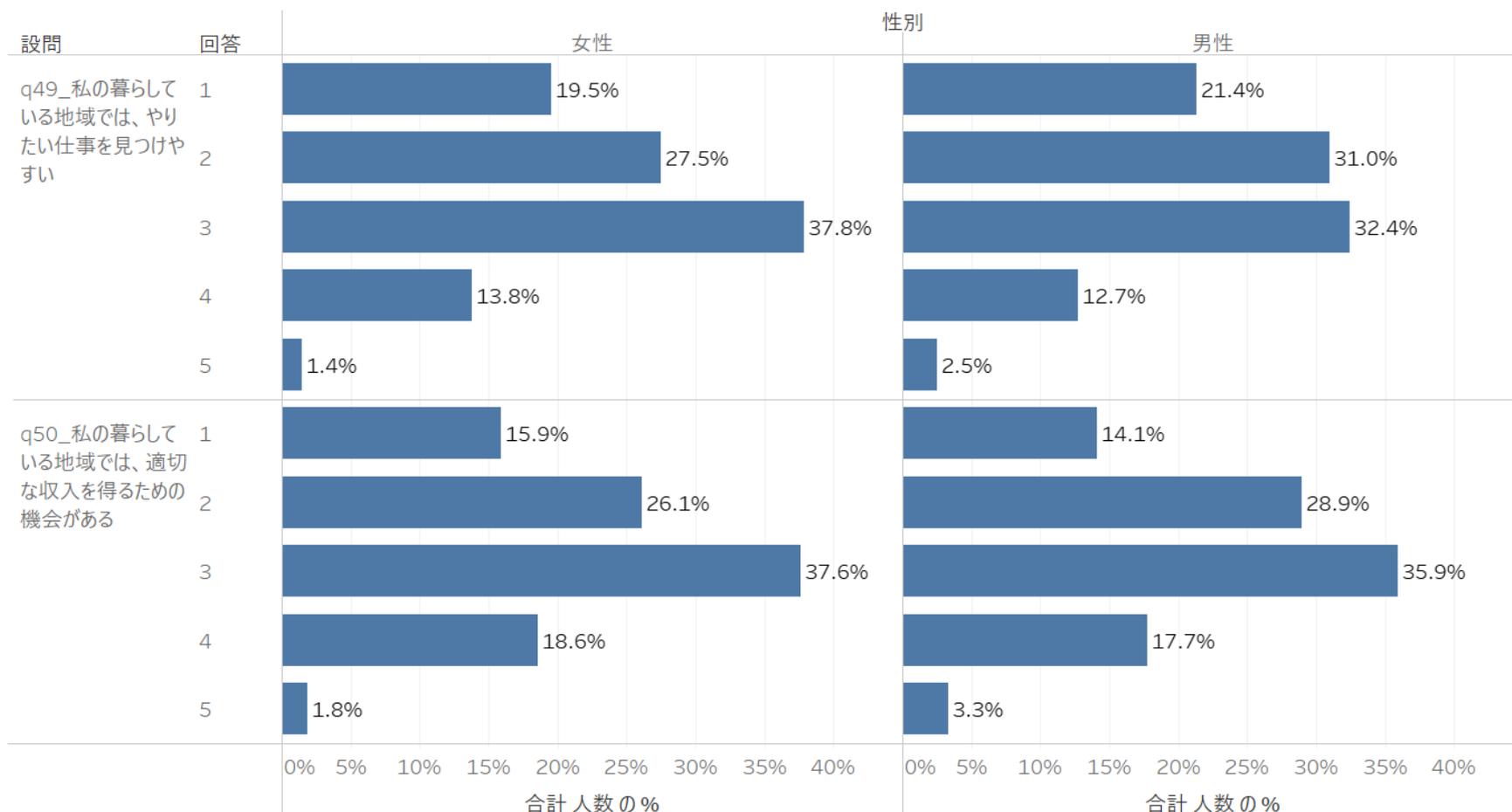
全体



選択肢ごとの回答者

設問49では、選択肢2と3の割合に男女で若干差異は見られるものの、3以下を選択する割合としては、両設問とも男女で大きな差異は見られない。

性別

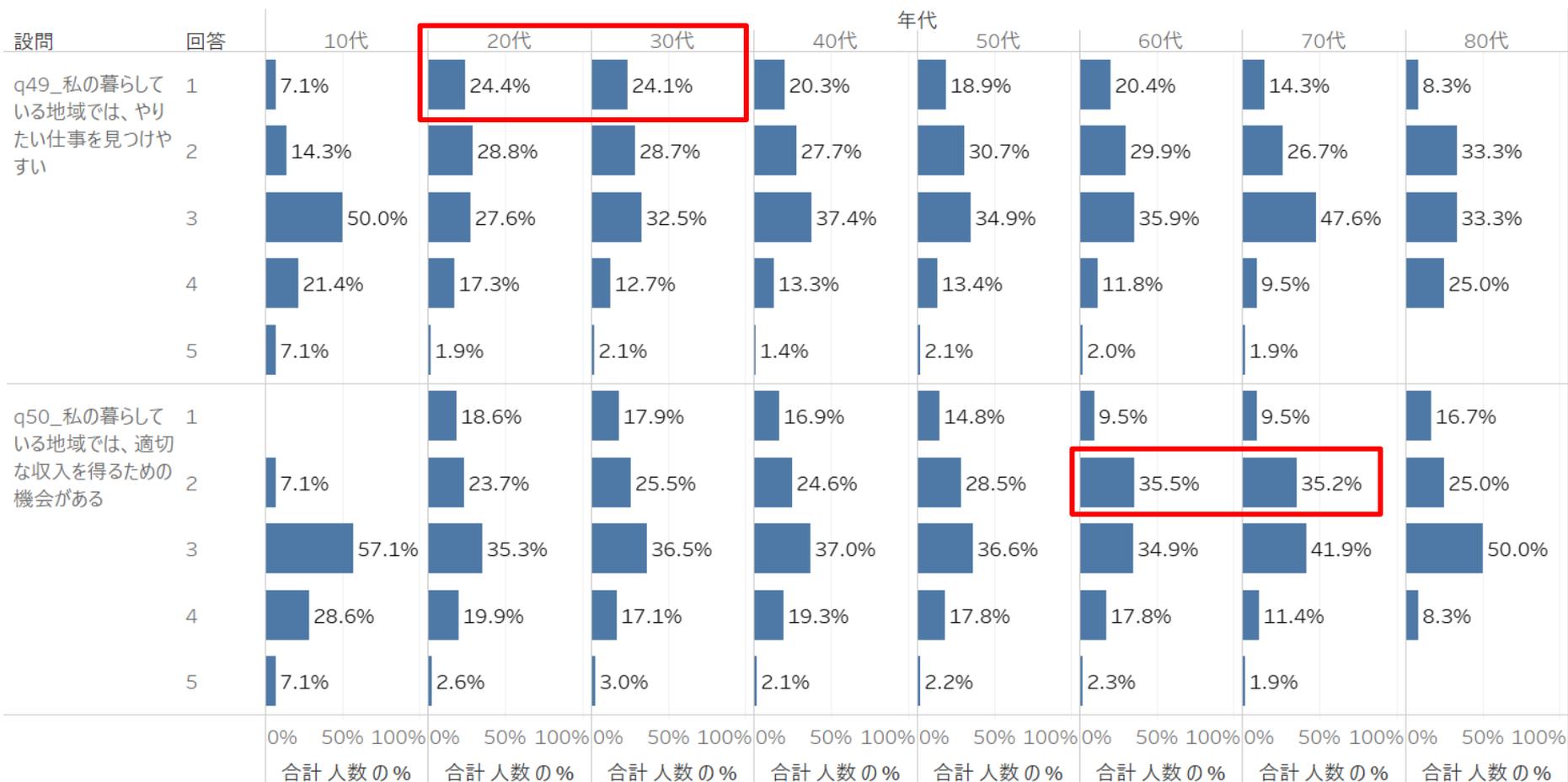


※ 性別「回答しない」を除く

選択肢ごとの回答者

全体の傾向と大きな差異は見られないが、20,30代は他の年代に比べて選択肢1の割合が若干高く、やりたい仕事を見つけにくいと感じている人が多い。一方60、70代では収入を得るための機会が少ないと感じている人がより多い傾向がみられる。

年代

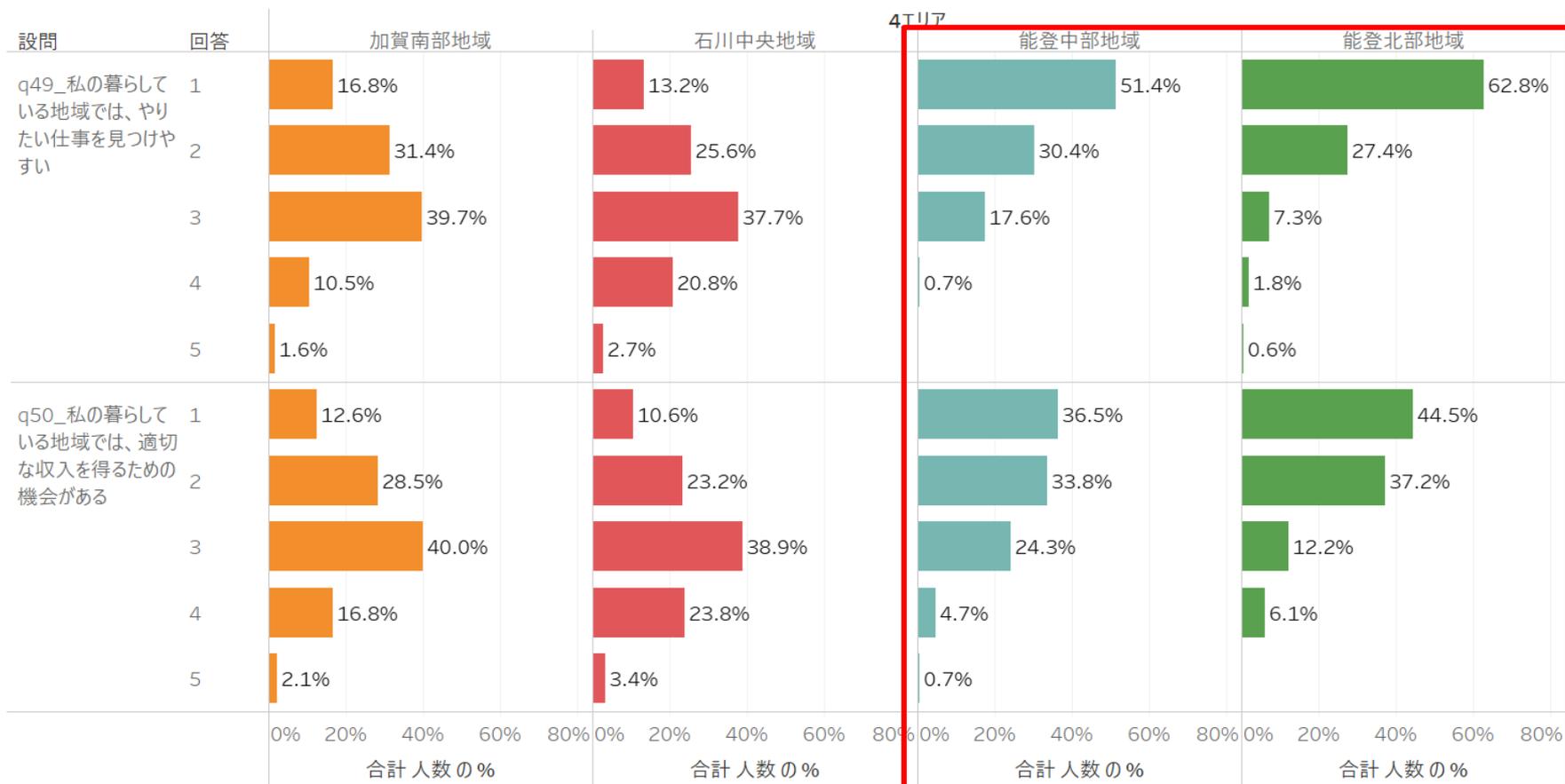


※10代、80代は回答人数が少ないため参考値

選択肢ごとの回答者

移動・交通と同様にエリアでの差が明確となった。特に能登中部地域と能登北部地域で点数が低い傾向があり、やりたい仕事以前に適切な収入を得るための機会が少ないと感じている人が多いと考えられる。因子の主観偏差値が低い理由は、主に能登中部・北部の点数が大きく影響しているとみられる。

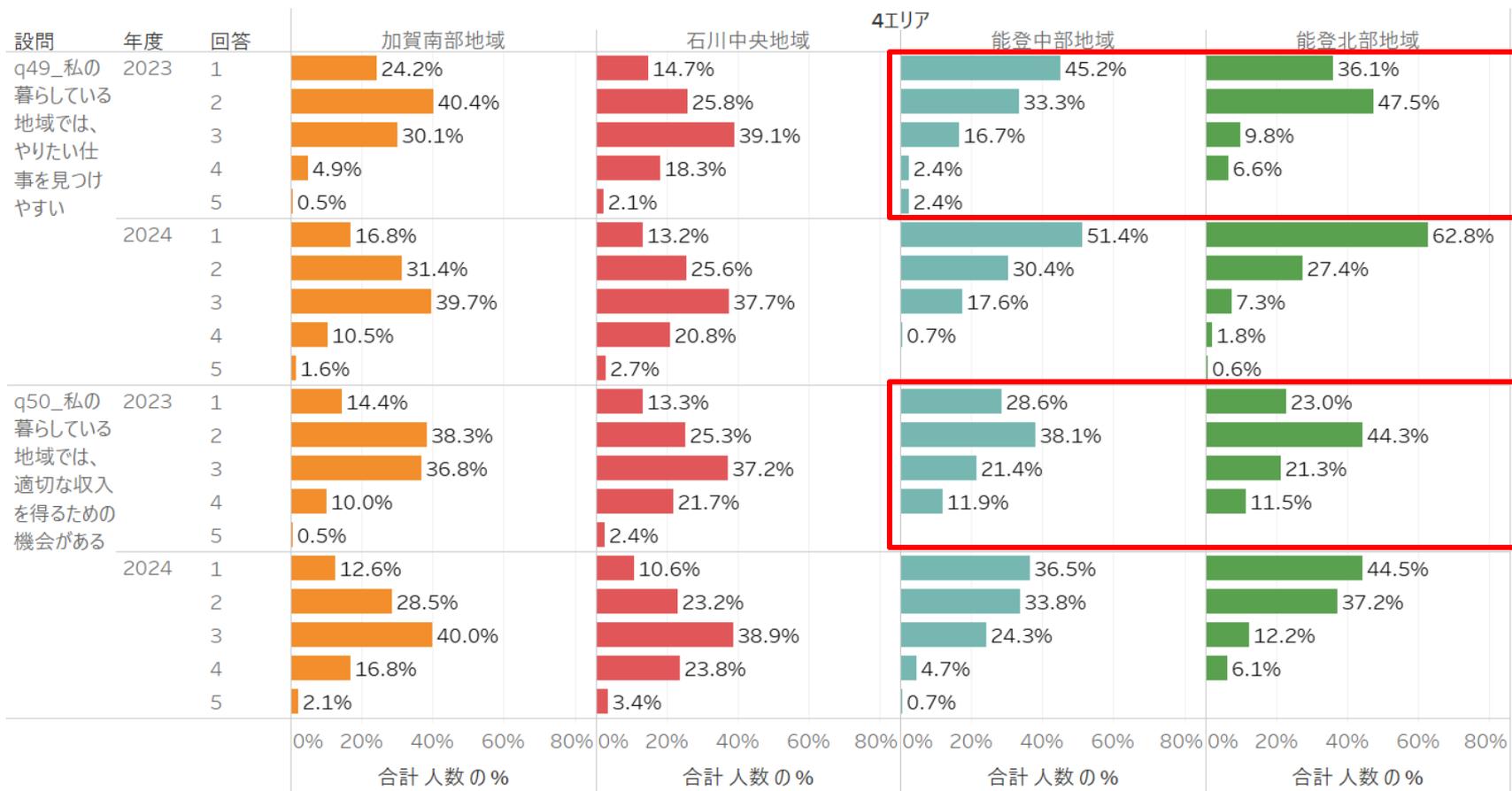
4エリア



選択肢ごとの回答者

2023年度時点でも能登中部地域と能登北部地域の点数は低く、震災前からの傾向であることが確認できる。ただし、当該地域で1を選択する割合は2024年度の方が増えており、やりたい仕事や適切な収入を得る機会がさらに減っている可能性があることが伺える。

4エリア 2023年度-2024年度比較



以上